令和元年度 四日市市 三重大学 共同研究

北嶋組神社丸一隻実測調査報告書

目 次

概要
01 …… 調査概要
02 …… 組立概略図・部材表　①船体
03 …… 組立概略図・部材表　②船体
04 …… 組立概略図・部材表　③艫
05 …… 組立概略図・部材表　④屋形
船体
06 …… 船体 - 平面図
07 …… 船体 - 台車見上平面図
08 …… 船体 - 桁行断面図
09 …… 船体 - 梁間断面図
10 …… 船体 - 立面図
① 船体に設置する部材 1
11 …… ①船体 - 横幕・波幕
12 …… ①船体 - 横幕おさえ・差板
13 …… ①船体 - 寄掛かり装飾板・水押後
② 船体に設置する部材 2
14 …… ②船体 - 下貫木・銛もたせの芯棒・閂
15 …… ②船体 - 銛もたせ
16 …… ②船体 - コベリ・コベリ抑え
17 …… ②船体 - 馬乗立・水押の鳳凰装飾
18 …… ②船体 - 五尺下
19 …… ②船体 - 五尺上
20 …… ②船体 - 水押
21 …… ②船体 - 水押御紋・水押サガリ
22 …… ②船体 - 銛もたせに設置するモリ・トドメノモリ
③ 艫を構成する部材
23 …… ③艫 - 艫立柱
24 …… ③艫 - 艫立の飾り彫刻
25 …… ③艫 - 艫立
26 …… ③艫 - 艫車装飾・扁額
④ 屋形を構成する部材
27 …… ④屋形 - 屋根伏図・天井伏図
28 …… ④屋形 - 立面図
29 …… ④屋形 - 断面図
30 …… ④屋形 - 柱
31 …… ④屋形 - 無目鴨居
32 …… ④屋形 - 欄間
33 …… ④屋形 - 頭貫
34 …… ④屋形 - 虹梁
35 …… ④屋形 - 大棟・棟木・棟木下の梁
36 …… ④屋形 - 屋根・妻飾
37 …… ④屋形 - 屋根庇
38 …… ④屋形 - 降棟竜彫刻
39 …… ④屋形 - 隅棟竜彫刻（1）
40 …… ④屋形 - 隅棟竜彫刻（2）
41 …… ④屋形 - 横幕
⑤ その他の部材
42 …… ⑤付属 - 太鼓・提灯
43 …… ⑤付属 - サンパライ・番傘・銛
44 …… ⑤付属 - 梵天（板）・旗
45 …… ⑤付属 - 団扇・吹流し
鯨ハリボテ
46 …… 鯨ハリボテ

（1）調査参加者

本研究は、四日市市と三重大学との共同研究（令和元年度）である。担当者及び研究者は以下の通りである。

四日市市
堀越光信氏（四日市市教育委員会社会教育・文化財課　主事・学芸員）
三厨浩希氏（四日市市教育委員会社会教育・文化財課）

三重大学：実測および作図
研究代表者：大井隆弘（三重大学大学院工学研究科建築学専攻　助教）
研究協力者：菅原洋一（三重大学　名誉教授）
研究補助者：原理花子、越野景子、荒木菜月海、大河原剛（大学院）
荻野真雪、田宮もも、中島宏徳（学部）
＊図化作業のみの参加を含む。

（2）日程

実測調査：令和元年９月６日（金）～令和元年９月１０日（火）
補足調査：令和元年１１月１０日（日）
図化作業：令和元年９月～令和２年２月

場所
実測調査：北嶋組神社丸鯨船格納庫前
（三重県四日市市東富田町３２）
作図　　：三重大学総合工学科建築学コース（4 号棟）
（三重県津市栗真町屋町 1577）

（3）調査方法

調査は以下４つの方法によって実施した。

調査①　パーツの取り外し
パーツの取り外しの様子を動画撮影し記録した。また、取外したパーツは、『北勢鯨船行事調査報告書』（四日市市教育委員会 ,2002）所収の古川町の実測調査記録を参照し、整理番号としてナンバリングを行った上でビニールシート上に整列した。なお、動画撮影は、一眼レフカメラ（nikon D3300）を使用している。

調査②　撮影記録
鯨船格納庫側面に模造紙を貼り付けて背景とし、パーツ各面を正面から撮影した。撮影は、一眼レフカメラ（canon EOSm6）を使用し、スナップ撮影としてコンパクトデジタルカメラ（casio EXILIM.HS）も使用した。

調査③　実測 A：輪郭の把握
特に曲面のあるパーツを対象として、原寸で輪郭を確認した。輪郭は、模造紙（50mm 方眼）上にパーツを置き、画用紙で保護した上でなぞって確認している。複数面に彫刻が施されたパーツは適宜厚手のスポンジで保護して進めた。また、輪郭をなぞることが困難なパーツは、部分的に点で位置をおさえた。なお、布や縄類、台船本体はこの調査を省略している。輪郭図も撮影記録を残している。

調査④　実測 B：野帳図による記録
調査②による写真データを印刷し、これを野帳図として各部寸法を記録した。形状が単純なパーツについては、方眼紙（5mm）を用いて野帳図を作成した。船体については、レーザー水平器を用いて台車部分の水平を確保して計測を行った。

（4）　図化作業

アドビ･イラストレータを使用してパソコン上で図化作業を行った。彫刻などの複雑な部分は、調査②の写真を下敷きとして図像をトレースし、輪郭図および野帳図の寸法に整合させた。図中には、下記の凡例の通り、実測寸法と仕上げ、色、材料、墨書等の内容を加えている。

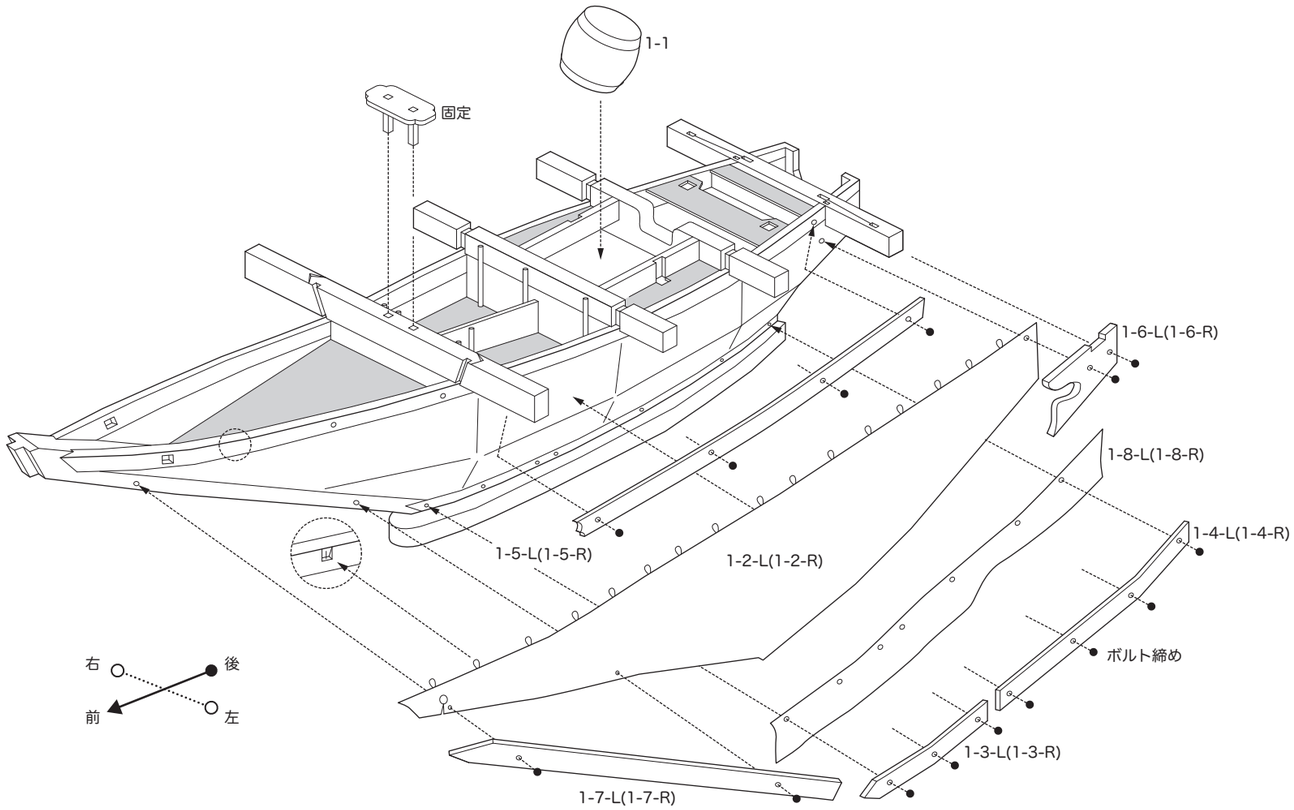
数字：寸法（mm）を示す
塗装（色）：表面の仕上と色を示す
墨書「表記内容」：墨書の内容を示す
油性ペン「表記内容」：主に油性ペンによる表記の内容を示す

なお、全体を通じた図面の表現方法は、『北勢鯨船行事調査報告書』（四日市市教育委員会 ,2002）を参考にしている。

（5）提出データ

①北嶋組神社丸実測調査報告書
：本報告書
②北嶋組神社丸全パーツ記録写真一式
：ファイル名は本報告書 P.2-5 の「整理番号」と一致
③北嶋組神社丸解体記録映像一式

謝辞
調査にあたって、北嶋組の皆様には大変お世話になりました。この場を借りて深謝いたします。



①船体部分（1）

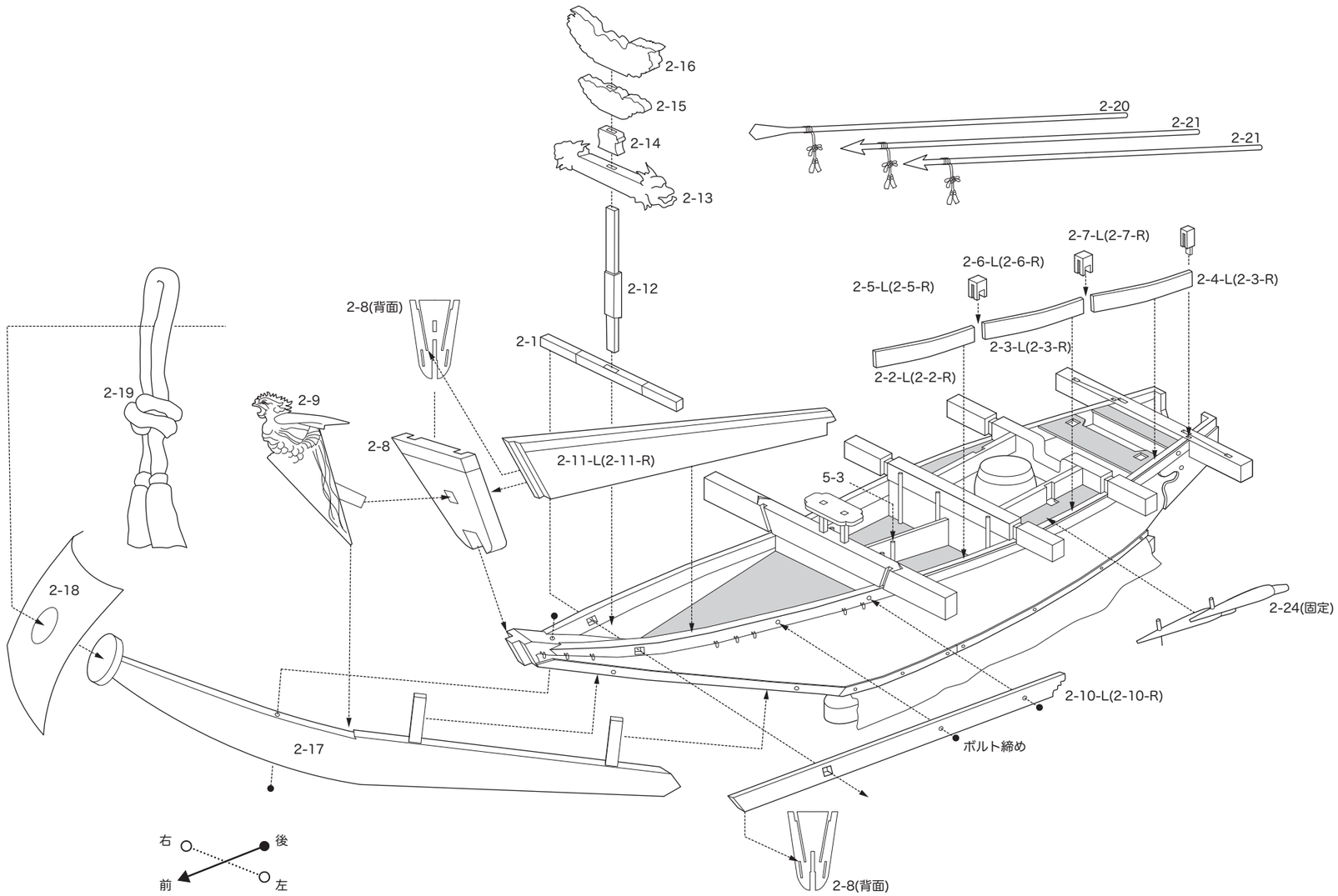
番号	整理番号	部材名称	頁
1-1	1-3	太鼓	42
1-2-L	1-12-1	船体横幕（左・緋羅紗に波千鳥と鯱）	11
1-2-R	1-12-2	船体横幕（右・緋羅紗に波千鳥と鯱）	11
1-3-L	1-13-1F	横幕おさえ　（左前）	12
1-3-R	1-13-2F	横幕おさえ　（右前）	12
1-4-L	1-13-1B	横幕おさえ　（左後）	12
1-4-R	1-13-2B	横幕おさえ　（右後）	12
1-5-L	1-15-1	差板（左前）	12
1-5-R	1-15-2	差板（右前）	12
1-6-L	1-17-1	寄掛かり装飾板（左）	13
1-6-R	1-17-2	寄掛かり装飾板（右）	13
1-7-L	1-19-1	水押後（左・波間に鯉）	13
1-7-R	1-19-2	水押後（右・波間に鯉）	13
1-8-L	1-20-1	波幕（左）	11
1-8-R	1-20-2	波幕（右）	11

整理番号は、『北勢鯨船行事調査報告書』（四日市市教育委員会 ,2002）所収の古川町の実測調査記録を参照して、実測時に仮に割り振ったもの。写真データの番号は、整理番号による。

⑤その他

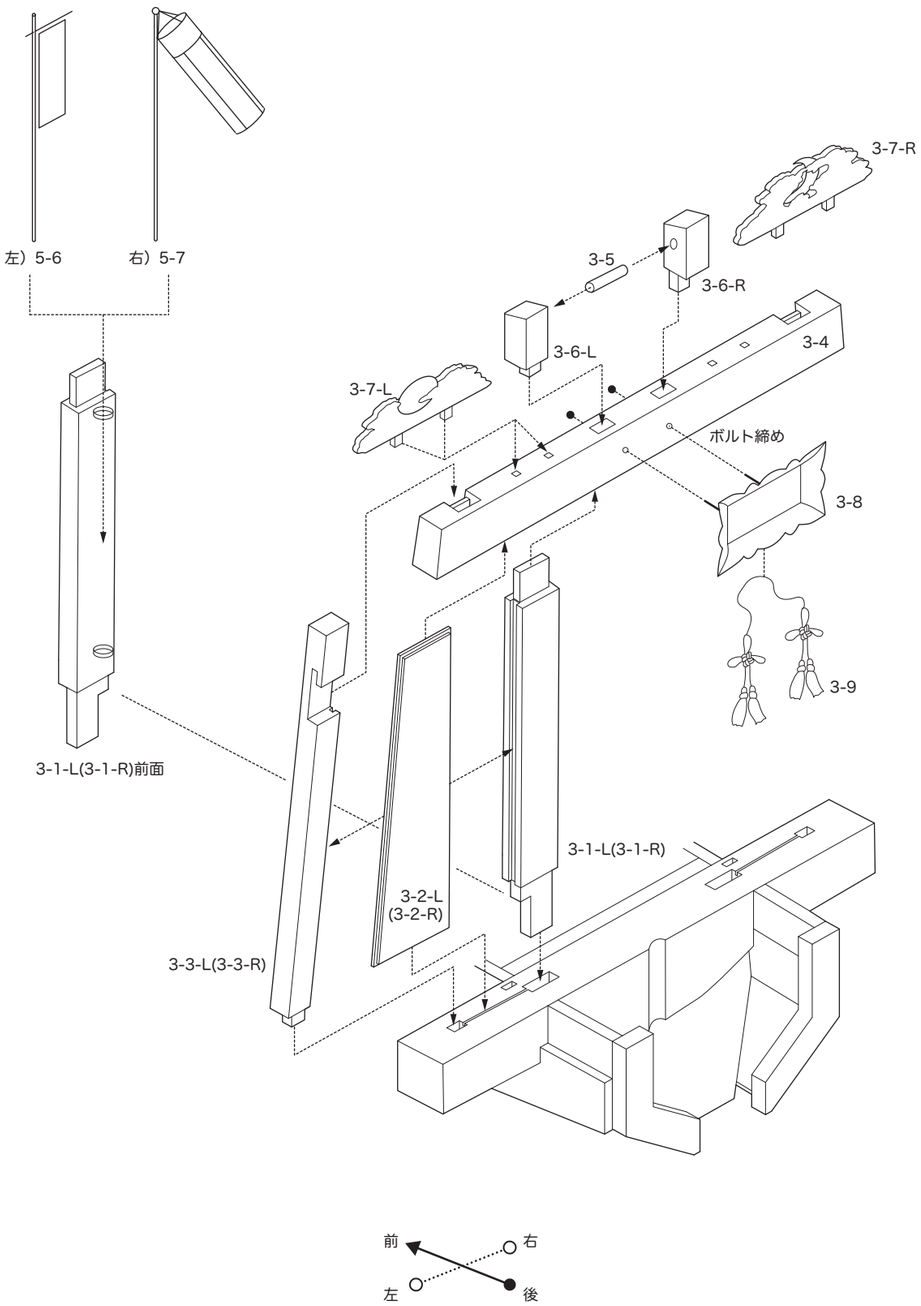
番号	整理番号	部材名称	頁
5-1	5-10	団扇	45
5-2	5-3-1	サンバライ（ハタキの意）	43
5-3	5-4	番傘	43
5-4	5-5	梵天（板）「北島組 神社丸」	44
5-5	5-7	羽刺の使用する銛	43
5-6	5-8	旗「神社丸」	44
5-7	5-9	吹流し	45
5-8	5-1	扇子	―
5-9	5-12	提灯	42

梵天や旗、番傘等の道具は１～４の図中に分けて表示している。ただし、船体に固定しない道具は図中に示していない。



②船体部分（2）

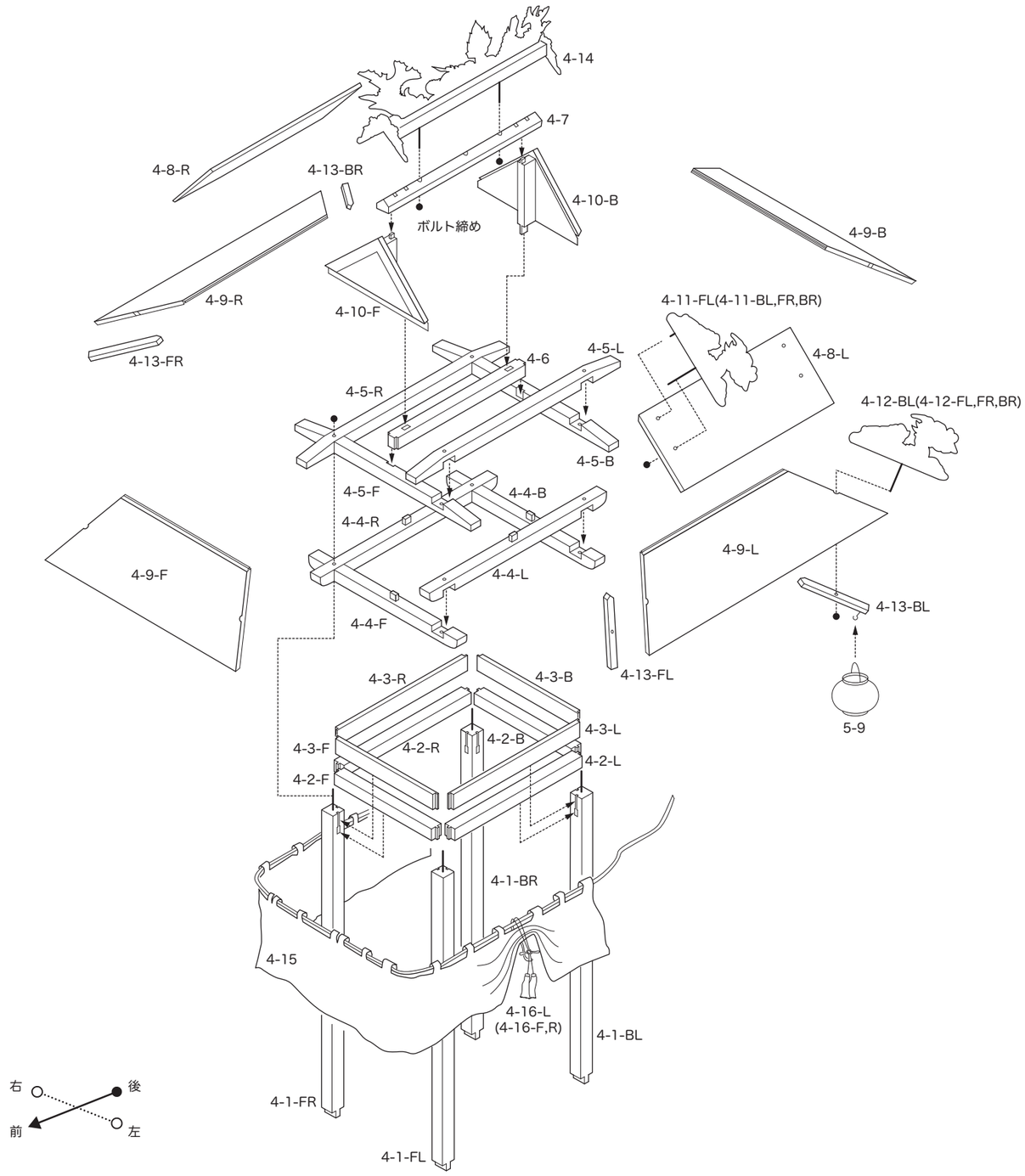
番号	整理番号	部材名称	頁
2-1	2-1	下貫木	14
2-2-L	2-6-1	コベリ（左前・波彫刻）	16
2-2-R	2-6-2	コベリ（右前・波彫刻）	16
2-3-L	2-7-1	コベリ（左中・波彫刻）	16
2-3-R	2-7-2	コベリ（右中・波彫刻）	16
2-4-L	2-8-1	コベリ（左後・波彫刻）	16
2-4-R	2-8-2	コベリ（右後・波彫刻）	16
2-5-L	2-6-1-1	コベリ抑え（左前）	16
2-5-R	2-6-2-1	コベリ抑え（右前）	16
2-6-L	2-7-1-1	コベリ抑え（左中）	16
2-6-R	2-7-1-2	コベリ抑え（右中）	16
2-7-L	2-8-1-1	コベリ抑え（左後）	16
2-7-R	2-8-1-2	コベリ抑え（右後）	16
2-8	2-9	馬乗立	17
2-9	2-10	水押の鳳凰彫刻	17
2-10-L	2-11-1	五尺（左下・波に竜体彫刻）	18
2-10-R	2-11-2	五尺（右下・波に竜体彫刻）	18
2-11-L	2-12-1	五尺（左上・波に竜彫刻・阿）	19
2-11-R	2-12-2	五尺（右上・波に竜彫刻・阿）	19
2-12	2-13	銛もたせの芯棒	14
2-13	2-14	木鼻に竜頭彫刻の閂（左阿・右吽）	14
2-14	2-15-1	銛もたせ（上・雲気文に竜の彫刻、左吽・右阿）	15
2-15	2-15-2	銛もたせ（中・雲気文の彫刻）	15
2-16	2-15-3	銛もたせ（下・雲気の彫刻）	15
2-17	2-16	水押（波千鳥と竜、左吽・右阿）	20
2-18	2-18	水押御紋（三つ巴紋）	21
2-19	2-19	水押サガリ	21
2-20	2-21	銛もたせに設置するトドメノモリ	22
2-21	2-22-1	銛もたせに設置するモリ	22



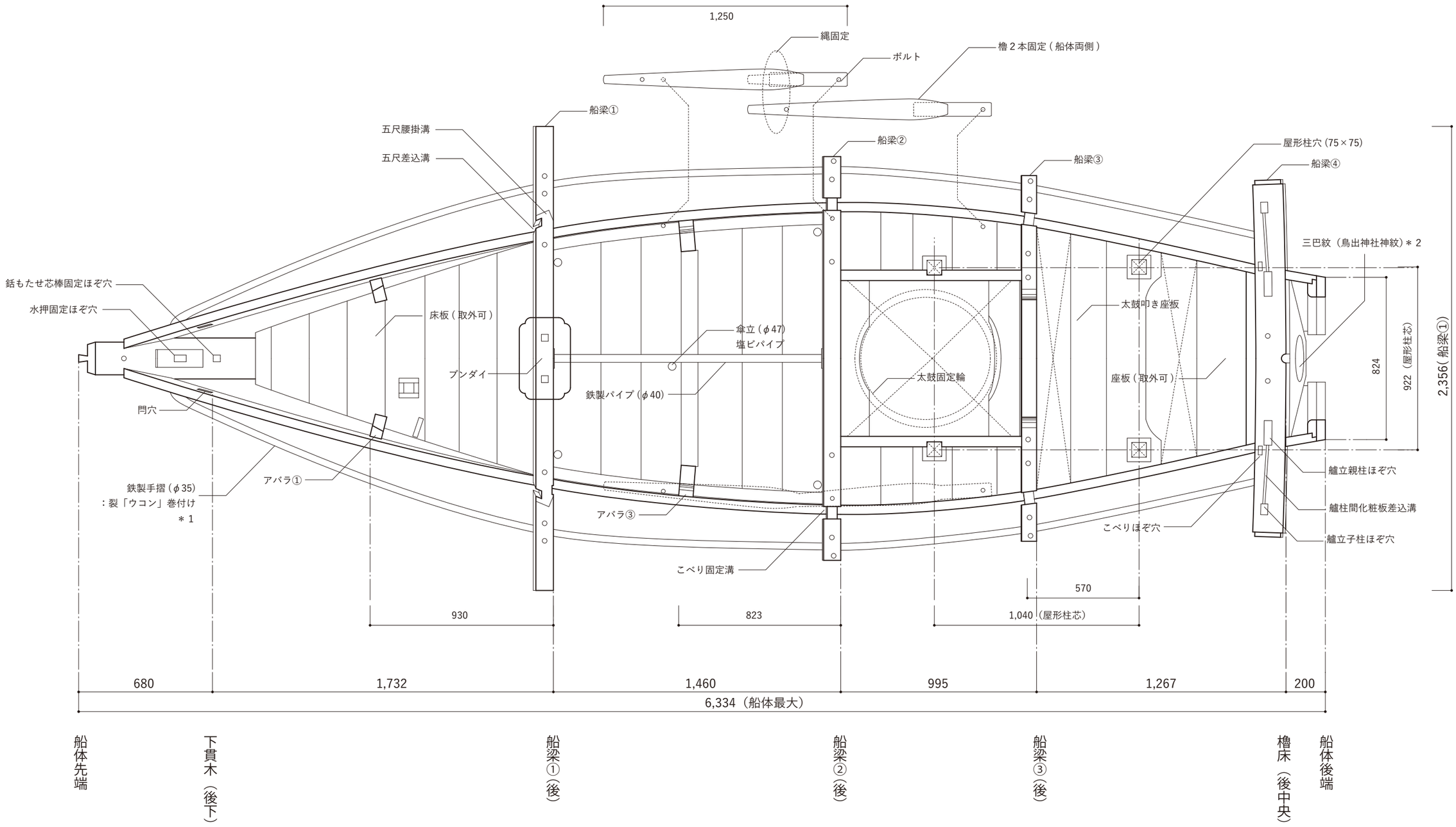
③艫部分

番号	整理番号	部材名称	頁
3-1-L	3-3-1	艫立柱（左中）	23
3-1-R	3-3-2	艫立柱（右中）	23
3-2-L	3-4-1	艫立の飾り彫刻（左・水流文に波頭、雲気文に竜の彫刻、阿）	24
3-2-R	3-4-2	艫立の飾り彫刻（右・水流文に波頭、雲気文に竜の彫刻、阿）	24
3-3-L	3-5-1	艫立柱（左外）	23
3-3-R	3-5-2	艫立柱（右外）	23
3-4	3-6	艫立	25
3-5	3-7	艫立　胴木	25
3-6-L	3-8-1	艫立（左）	25
3-6-R	3-8-2	艫立（右）	25
3-7-L	3-9-1	艫立装飾（雲気文に日輪）	26
3-7-R	3-9-2	艫立装飾（雲気文に月輪）	26
3-8	3-11	扁額「神社丸」（船名額）	26
3-9	3-13-1	艫立の飾房	26

④屋形部分

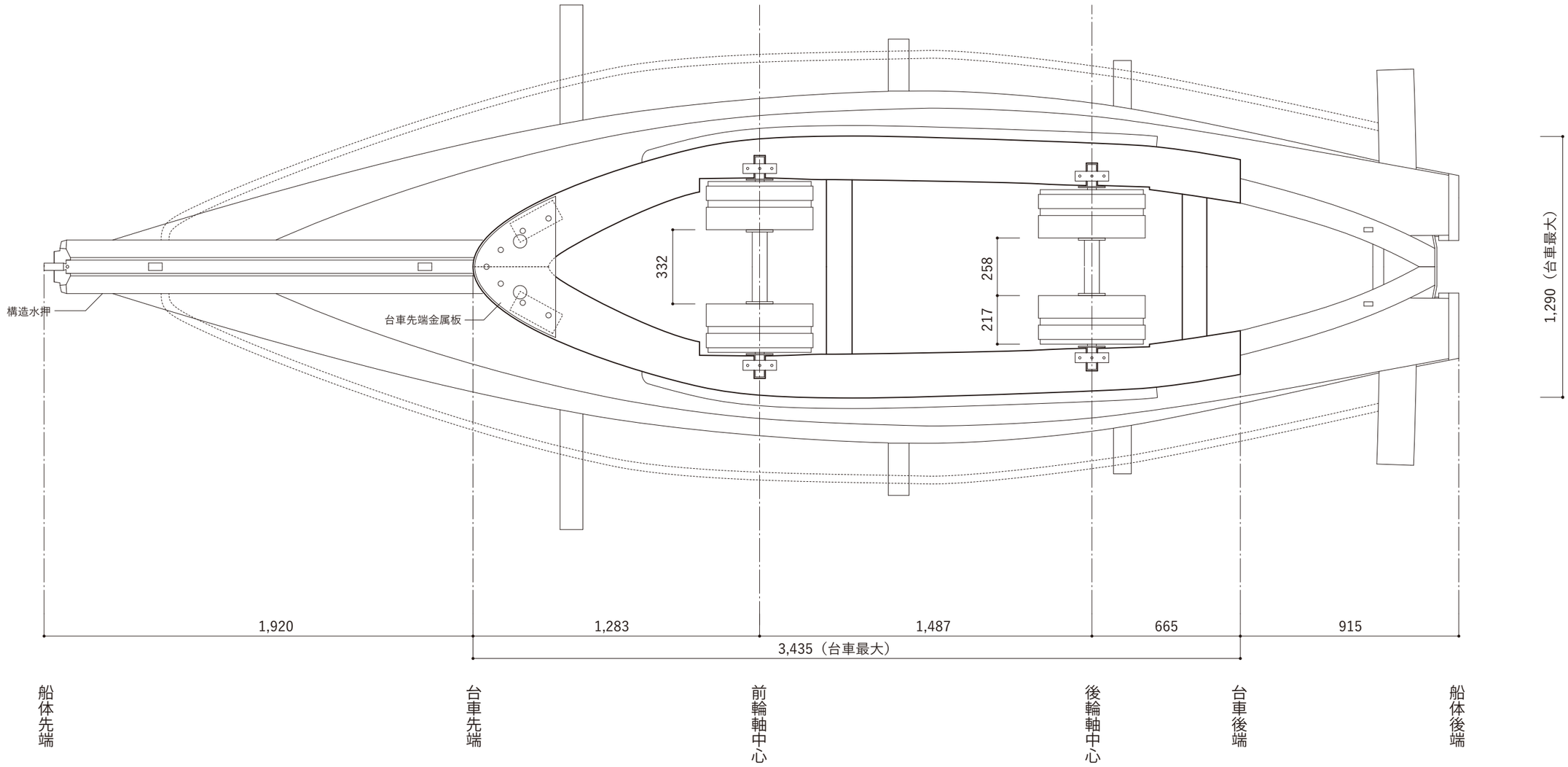


番号	整理番号	部材名称	頁
4-1-FL	4-1-1	屋形　柱（左前）	30
4-1-FR	4-1-2	屋形　柱（右前）	30
4-1-BL	4-1-3	屋形　柱（左後）	30
4-1-BR	4-1-4	屋形　柱（右後）	30
4-2-L	4-4-1	屋形　無目鴨居（左）	31
4-2-R	4-4-2	屋形　無目鴨居（右）	31
4-2-F	4-4-3	屋形　無目鴨居（前）	31
4-2-B	4-4-4	屋形　無目鴨居（後）	31
4-3-L	4-5-1	屋形　欄間（左・雲気文に鶴）	32
4-3-R	4-5-2	屋形　欄間（右・雲気文に鶴）	32
4-3-F	4-5-3	屋形　欄間（前・雲気文に鶴）	32
4-3-B	4-5-4	屋形　欄間（後・雲気文に鶴）	32
4-4-L	4-17-1	屋形　頭貫（左・雲気文）	33
4-4-R	4-17-2	屋形　頭貫（右・雲気文）	33
4-4-F	4-17-3	屋形　頭貫（前・雲気文）	33
4-4-B	4-17-4	屋形　頭貫（後・雲気文）	33
4-5-L	4-21-1	屋形　虹梁（左）	34
4-5-R	4-21-2	屋形　虹梁（右）	34
4-5-F	4-21-3	屋形　虹梁（前）	34
4-5-B	4-21-4	屋形　虹梁（後）	34
4-6	4-22	屋形　棟木下の梁	35
4-7	4-10	屋形　棟木	35
4-8-L	4-11-1	屋形　屋根（左）	36
4-8-R	4-11-2	屋形　屋根（右）	36
4-9-L	4-12-1	屋形　屋根庇（左・唐草文の飾金具）	37
4-9-R	4-12-2	屋形　屋根庇（右・唐草文の飾金具）	37
4-9-F	4-13-1	屋形　屋根庇（前・唐草文の飾金具）	37
4-9-B	4-13-2	屋形　屋根庇（後・唐草文の飾金具）	37
4-10-F	4-14-1	屋形　妻飾（前・日輪に、雲気に飛ぶ鶴一羽）	36
4-10-B	4-14-2	屋形　妻飾（後・雲気に飛ぶ鶴一双）	36
4-11-FL	4-16-1前	屋形　降棟竜彫刻（左前、阿）	38
4-11-BL	4-16-1後	屋形　降棟竜彫刻（左後、阿）	38
4-11-FR	4-16-2前	屋形　降棟竜彫刻（右前、阿）	38
4-11-BR	4-16-2後	屋形　降棟竜彫刻（右後、阿）	38
4-12-FL	4-23-1前	屋形　隅棟竜彫刻（左前、阿）	39
4-12-BL	4-23-2後	屋形　隅棟竜彫刻（左後、阿）	40
4-12-FR	4-23-2前	屋形　隅棟竜彫刻（右前、阿）	40
4-12-BR	4-23-1後	屋形　隅棟竜彫刻（右後、吽）	40
4-13-FL	4-23-1-1前	屋形　隅木（左前）	39
4-13-BL	4-23-2-1後	屋形　隅木（左後）	40
4-13-FR	4-23-2-1前	屋形　隅木（右前）	40
4-13-BR	4-23-1-1後	屋形　隅木（右後）	40
4-14	4-18	屋形　大棟（火炎宝珠を中心に竜一対、両端に鯱の彫刻、前阿・後吽）	35
4-15	4-19	屋形　横幕（波千鳥文様刺繍）	41
4-16	4-20-1	屋形　飾り結び	―

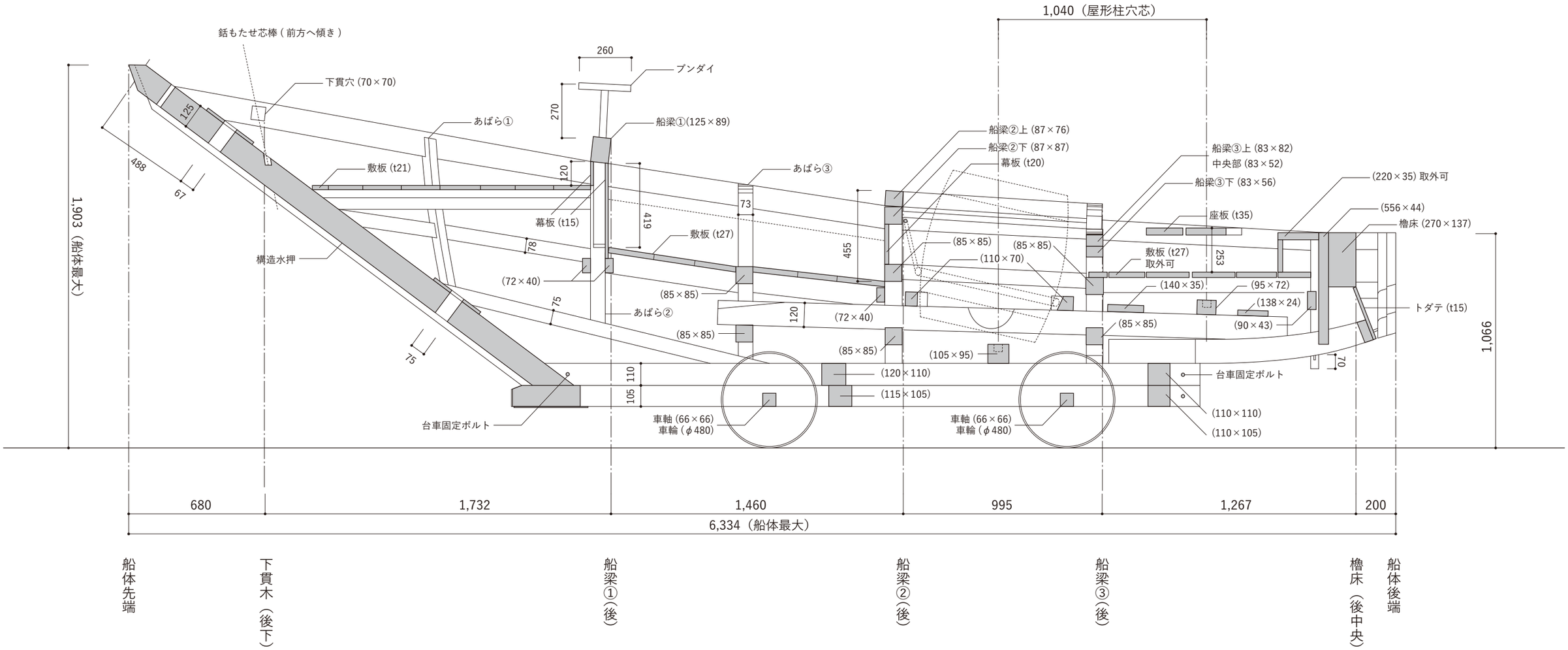


＊１
各組とも鉄の手摺や装飾のおさえ、ハリボテの鯨の肩当てなど多くの個所に黄色の晒を紐状に裂いて巻き付けて用いているが、北嶋組のみこれを「ウコン」と呼ぶ。「ウコン染め」からきているものと思われる。
＊２
鳥出神社の神紋は三巴紋と上がり藤である。

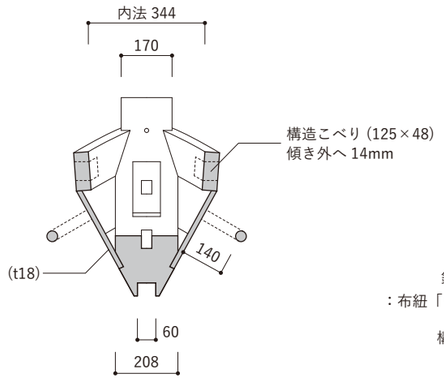
06　船体平面図（1/20）



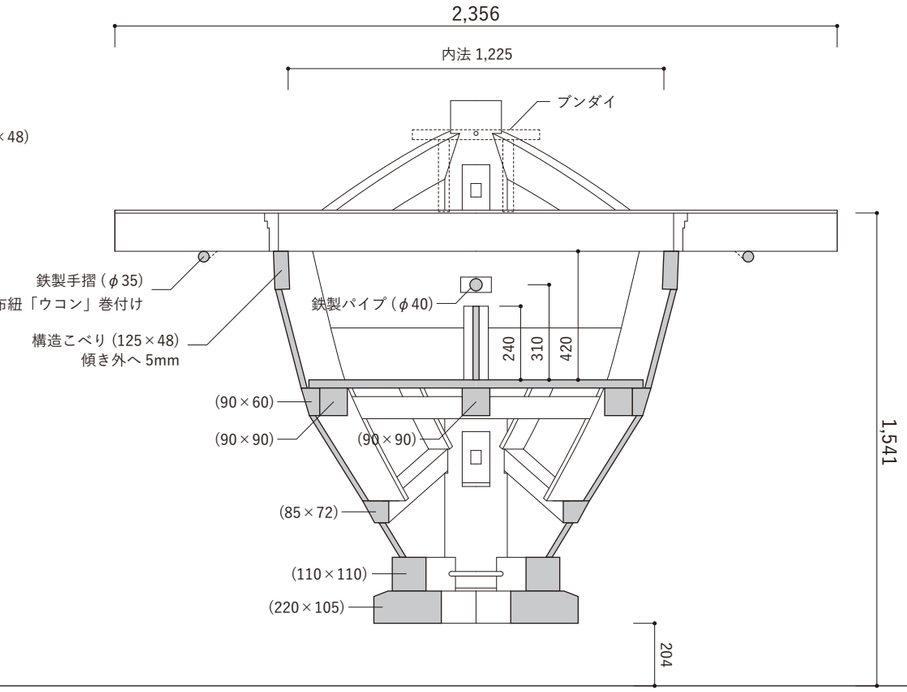
07　船体　台車見上平面図（1/20）



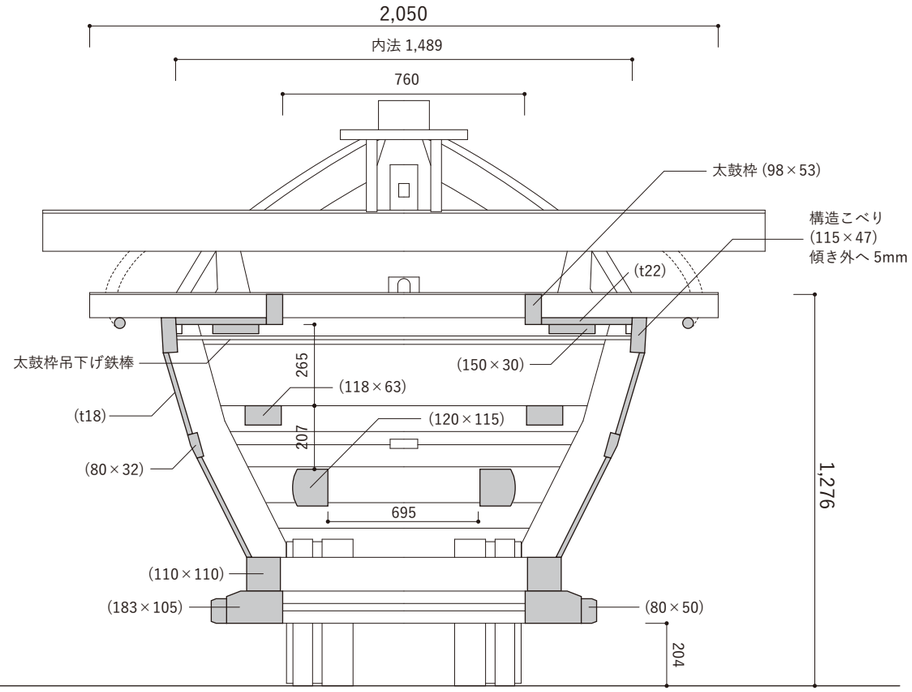
08　船体　桁行断面図（1/20）



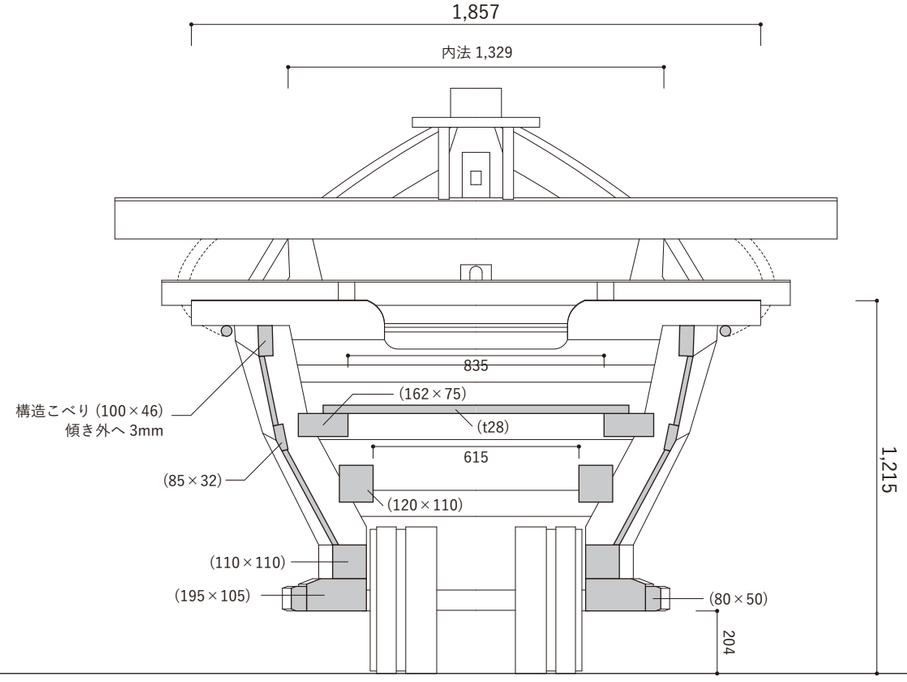
貫（後下）断面図（1/20）



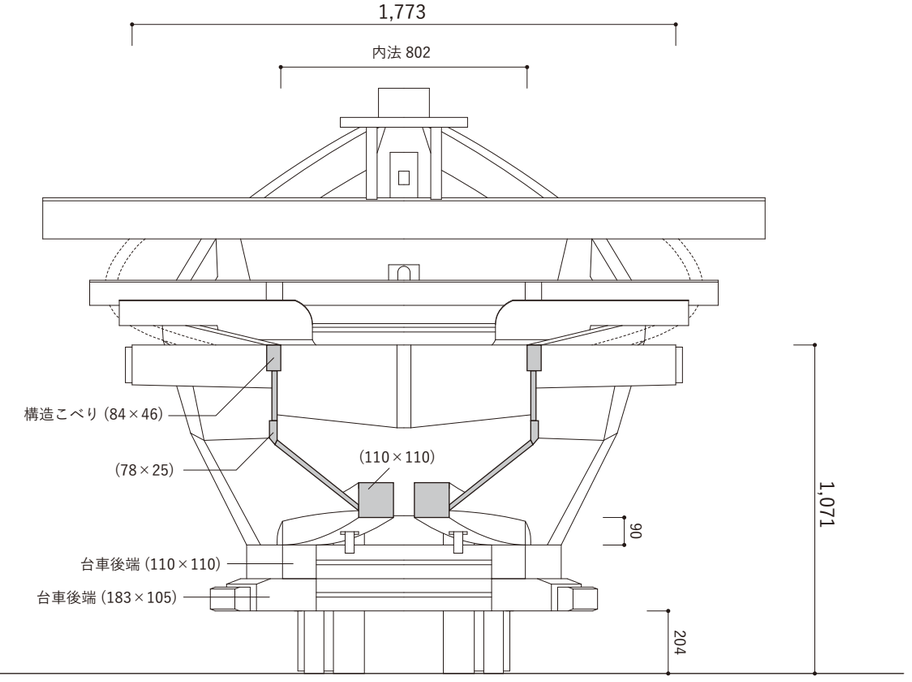
船梁①(後) 断面図（1/20）



船梁②(後) 断面図（1/20）

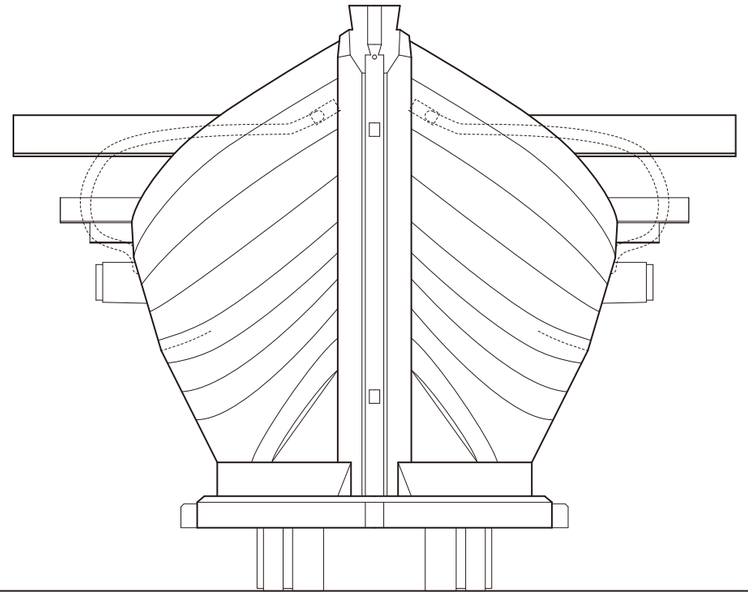


船梁③(後) 断面図（1/20）

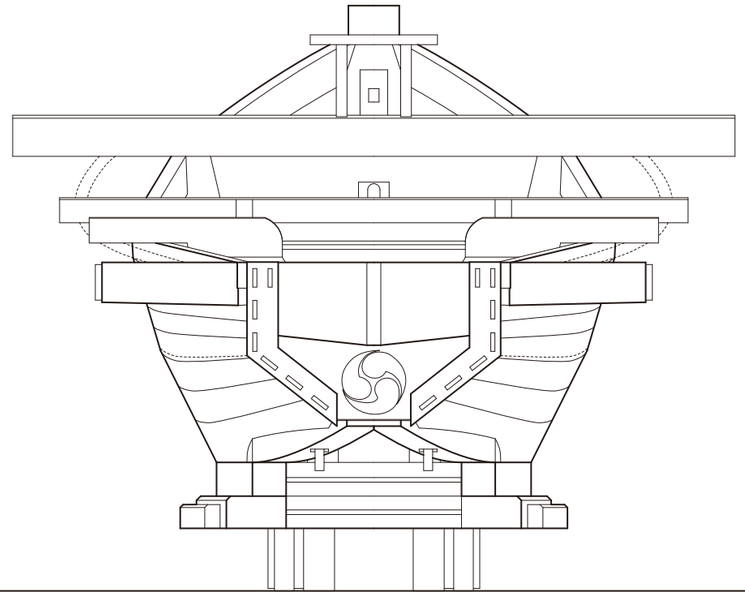


船梁④(後) 断面図（1/20）

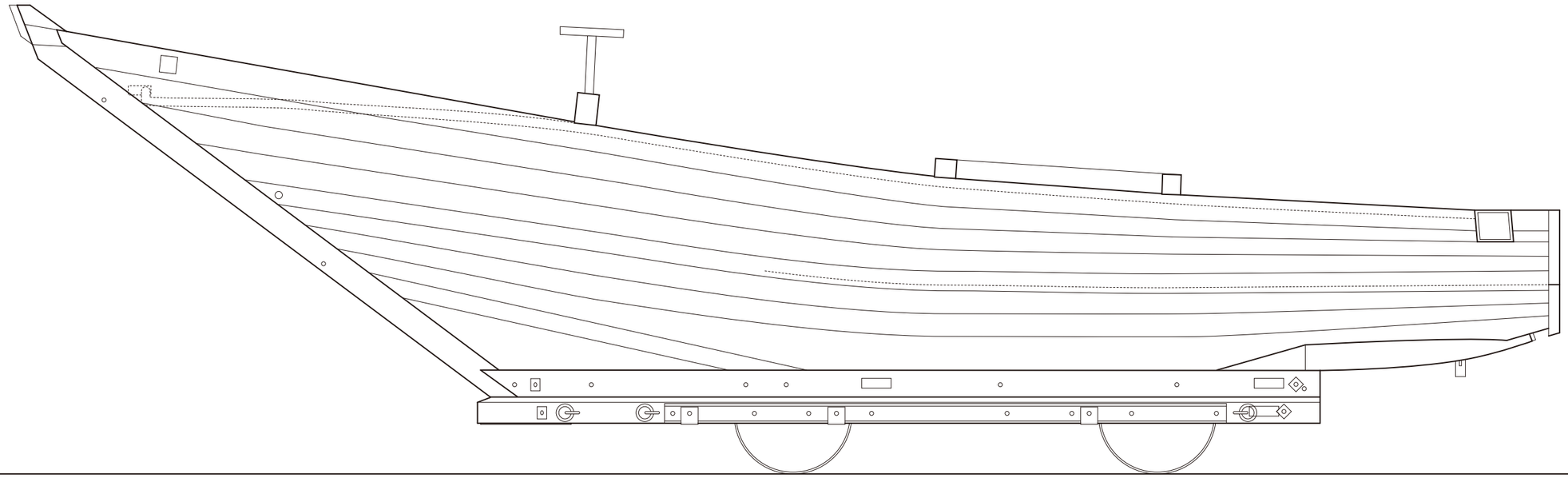
09 船体　梁間断面図



正面立面図（1/20）



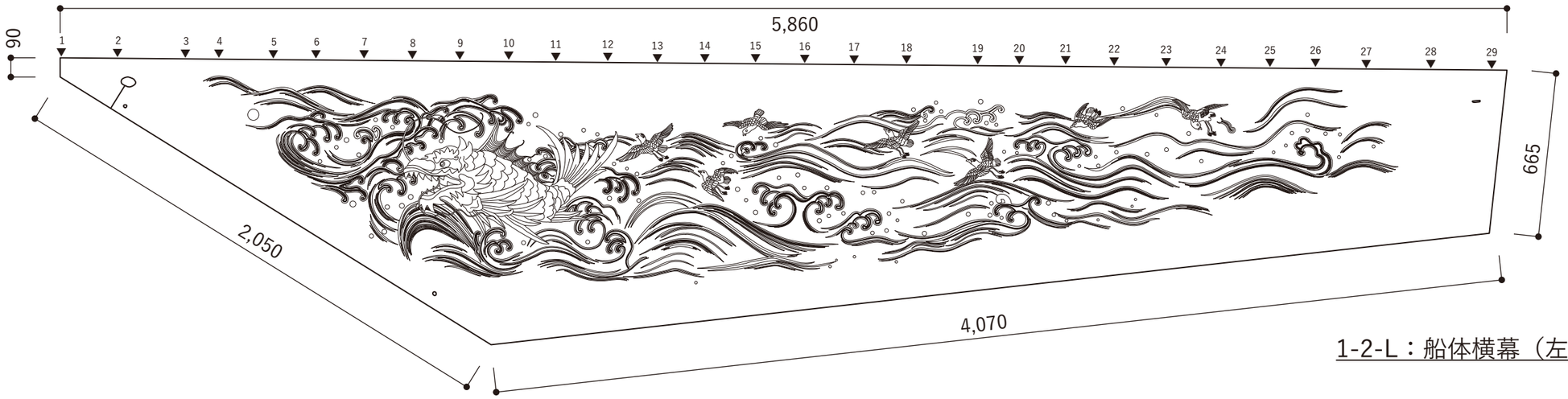
背面立面図（1/20）



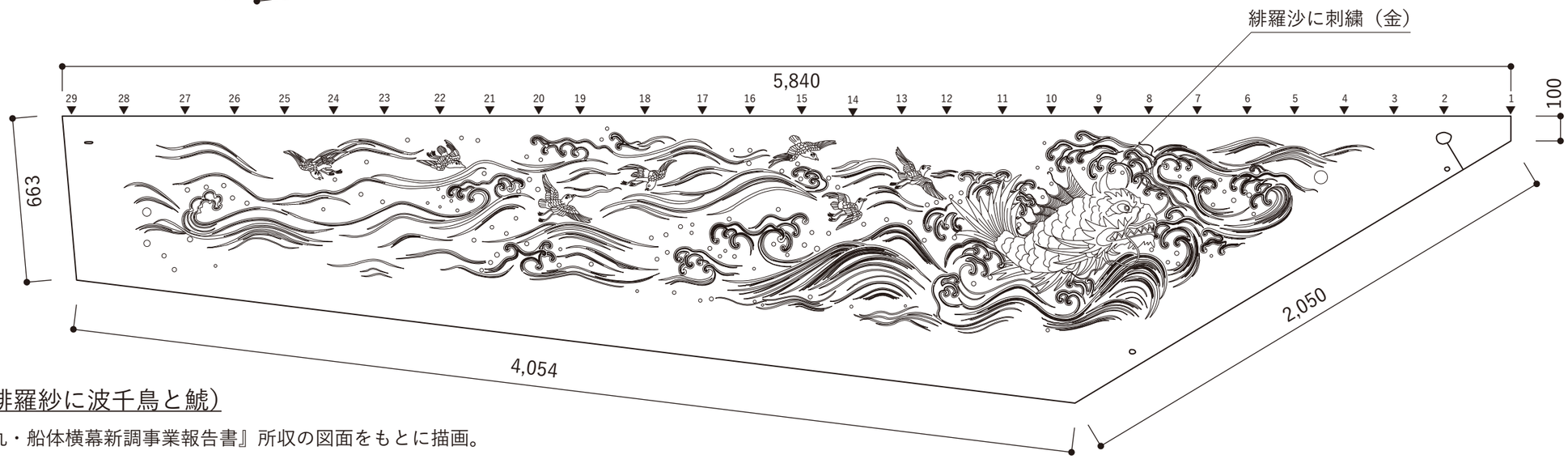
側面立面図（1/20）

10　船体　立面図

「▼」は船体取り付け用の紐の位置

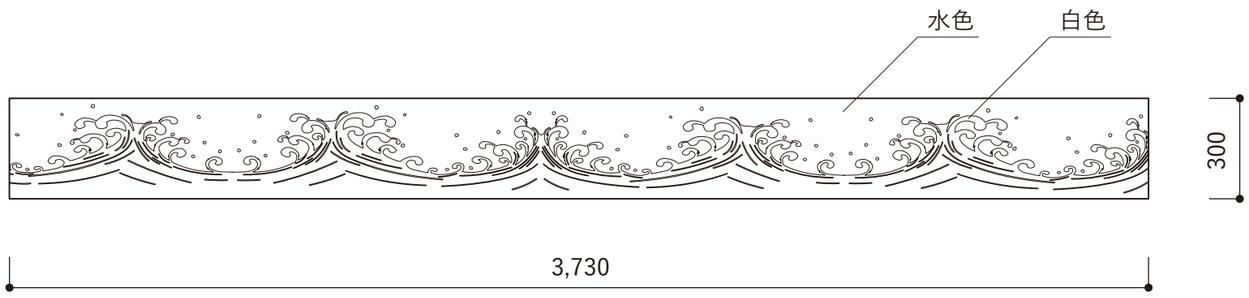


1-2-L：船体横幕（左・緋羅紗に波千鳥と鯱）



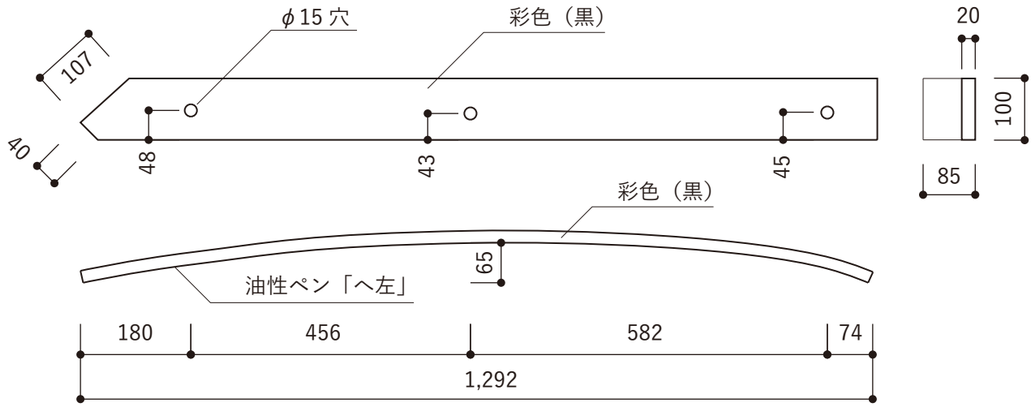
1-2-R：船体横幕（右・緋羅紗に波千鳥と鯱）

船体横幕は、『北島組鯨船神社丸・船体横幕新調事業報告書』所収の図面をもとに描画。

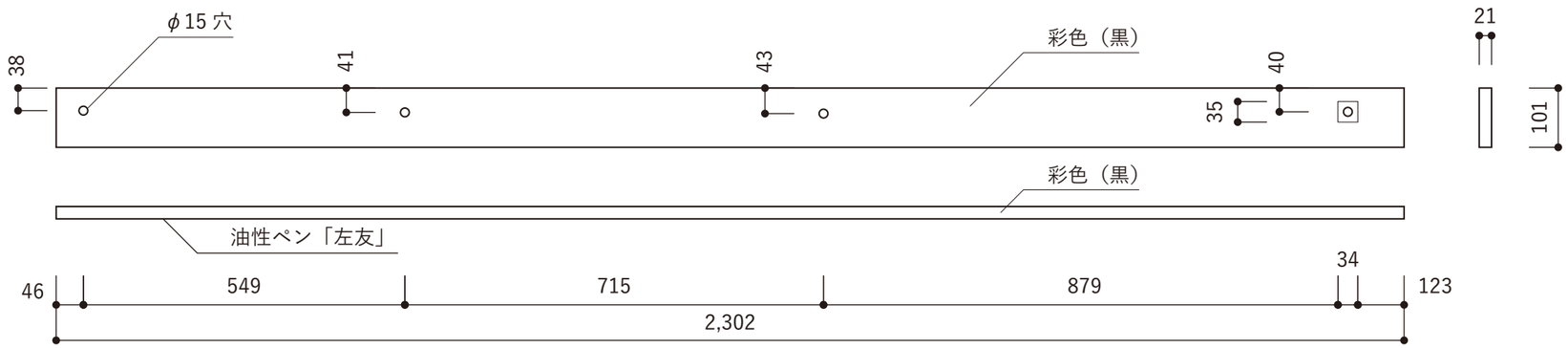


1-8-L：波幕（左）・（1-8-R）

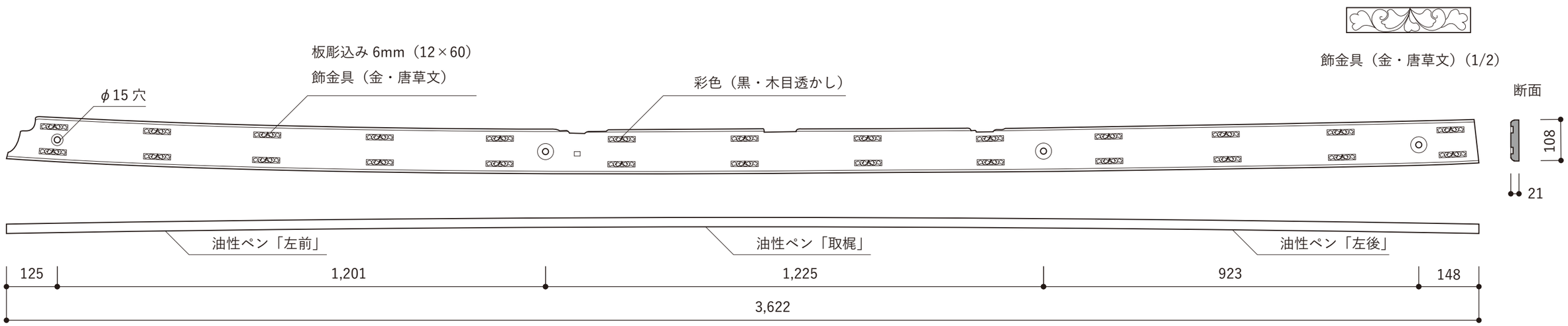
船体横幕・波幕（1/20）



1-3-L（1-3-R）：横幕おさえ（左前）

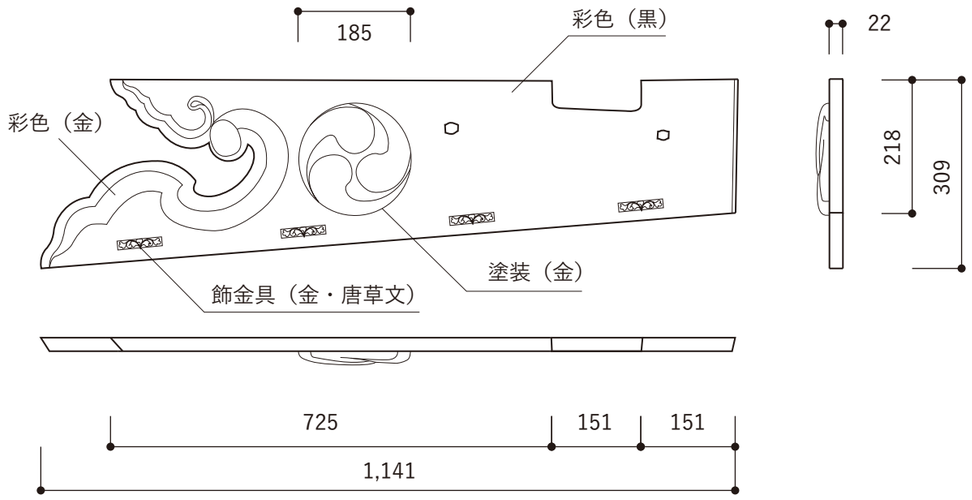


1-4-L（1-4-R）：横幕おさえ（左後）

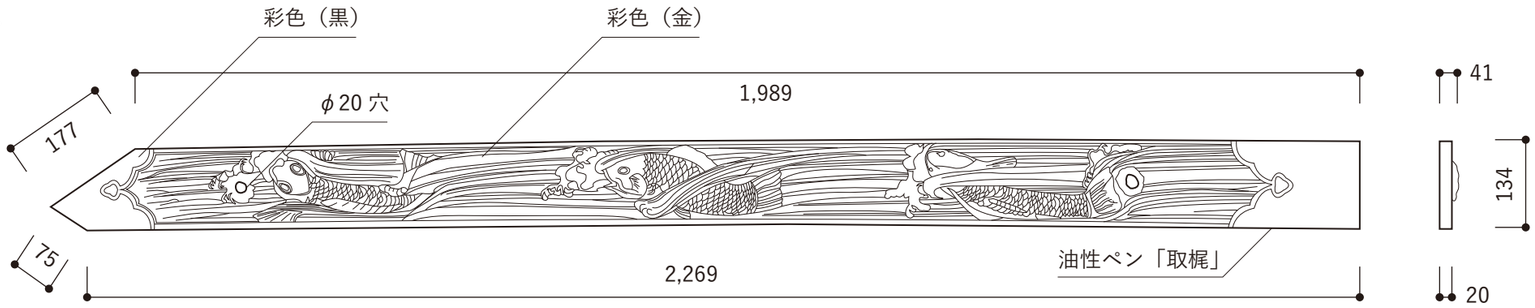


1-5-L（1-5-R）：差板（左）

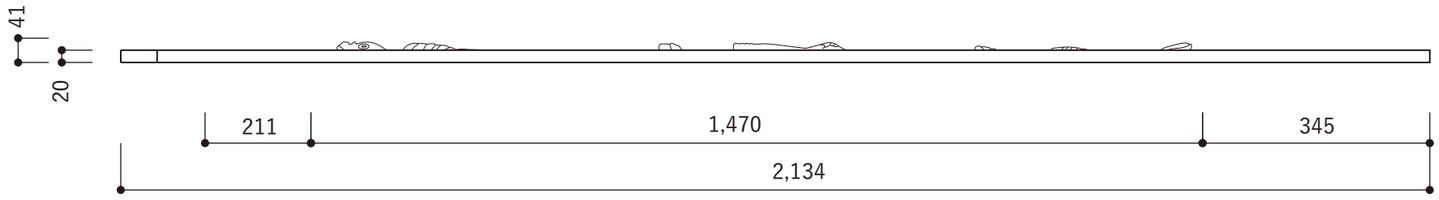
12　横幕おさえ・差板（1/10）



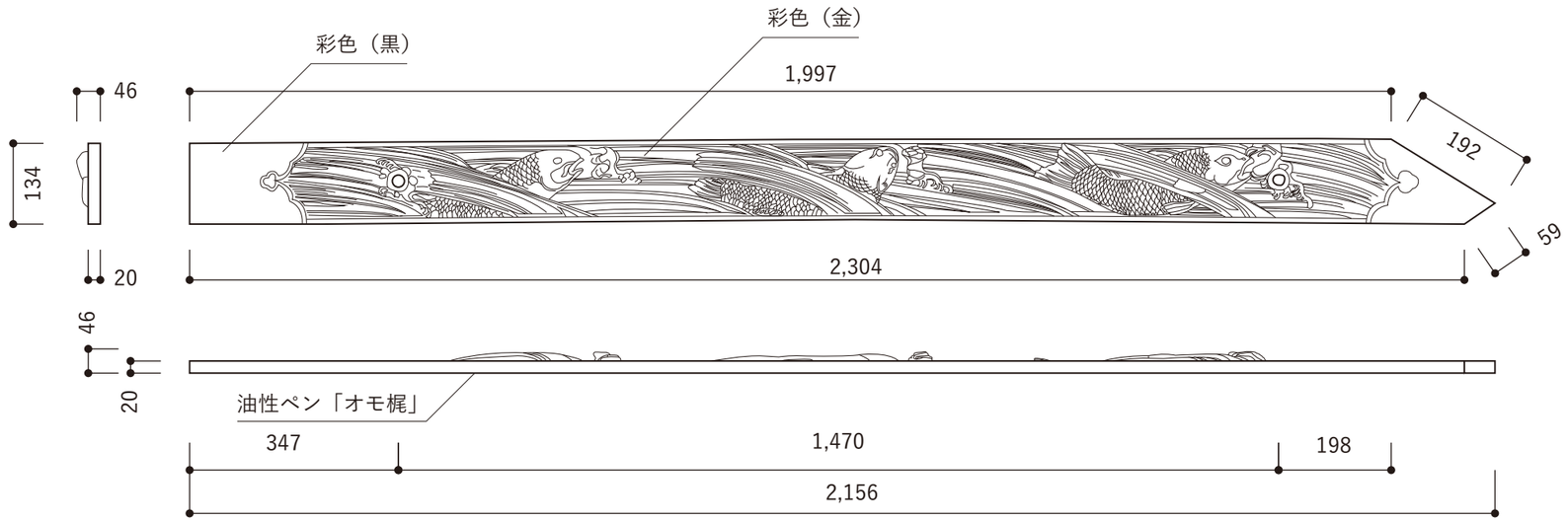
1-6-L（1-6-R）：寄掛かり装飾板（左）



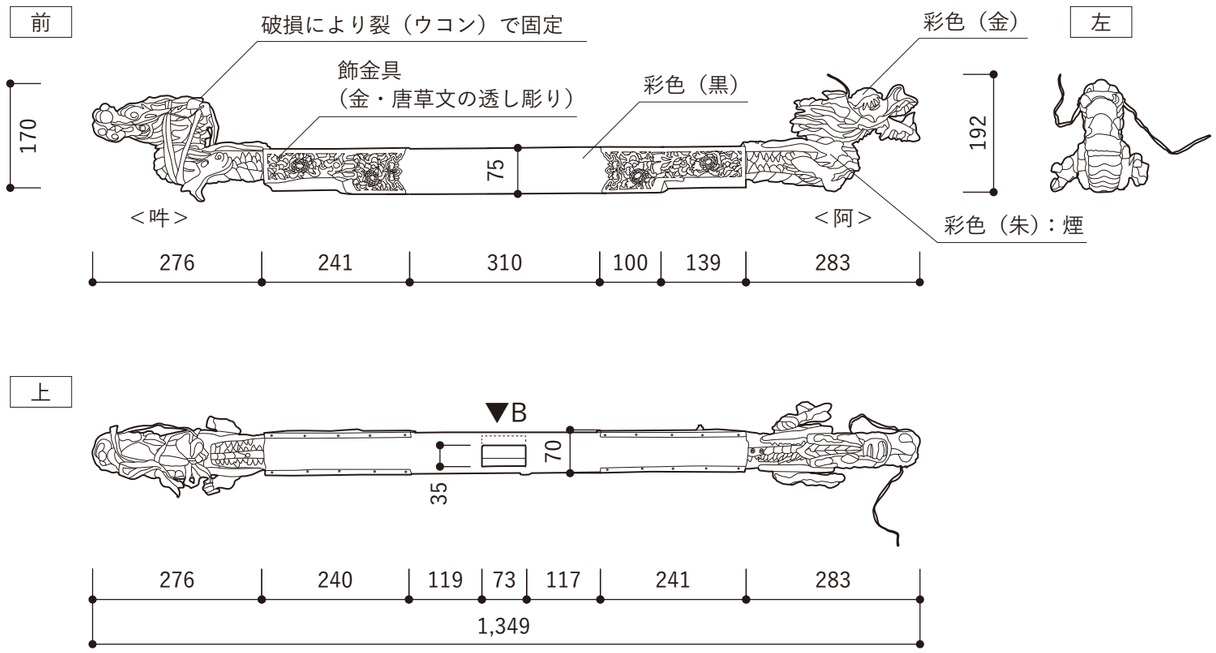
1-7-L：水押後（左・波間に鯉）



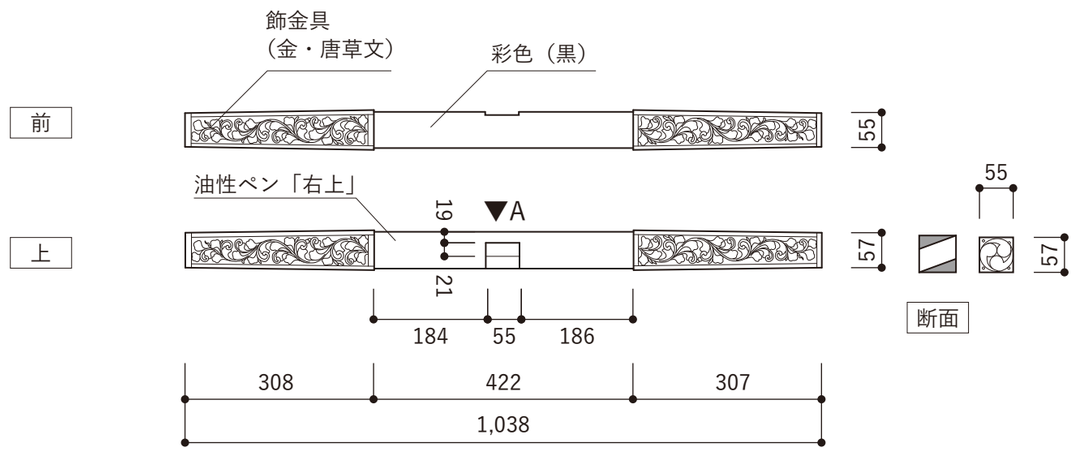
1-7-R：水押後（右・波間に鯉）



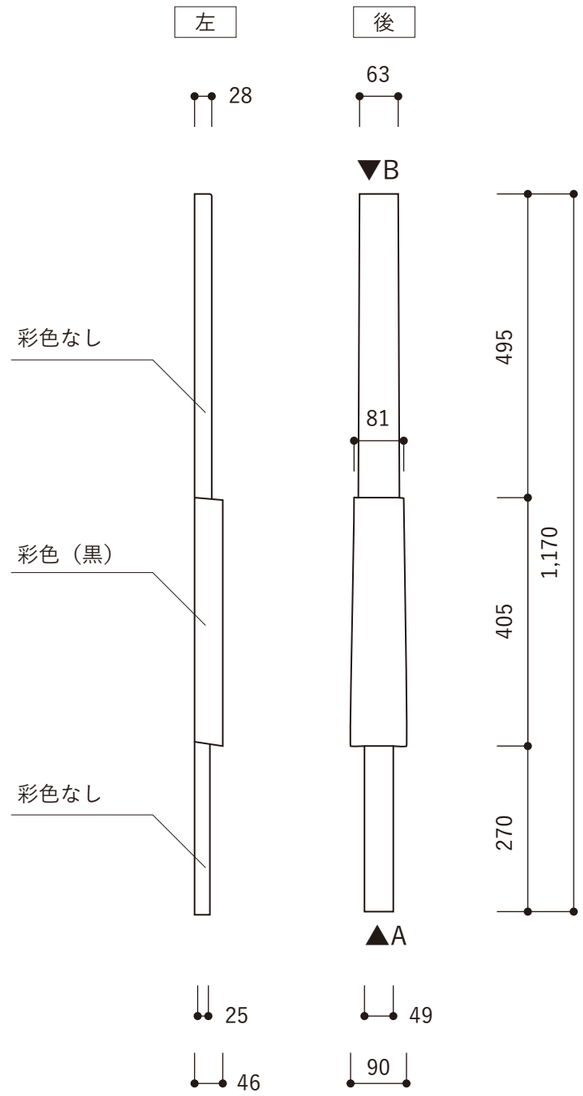
寄掛かり装飾板・水押後（1/10）



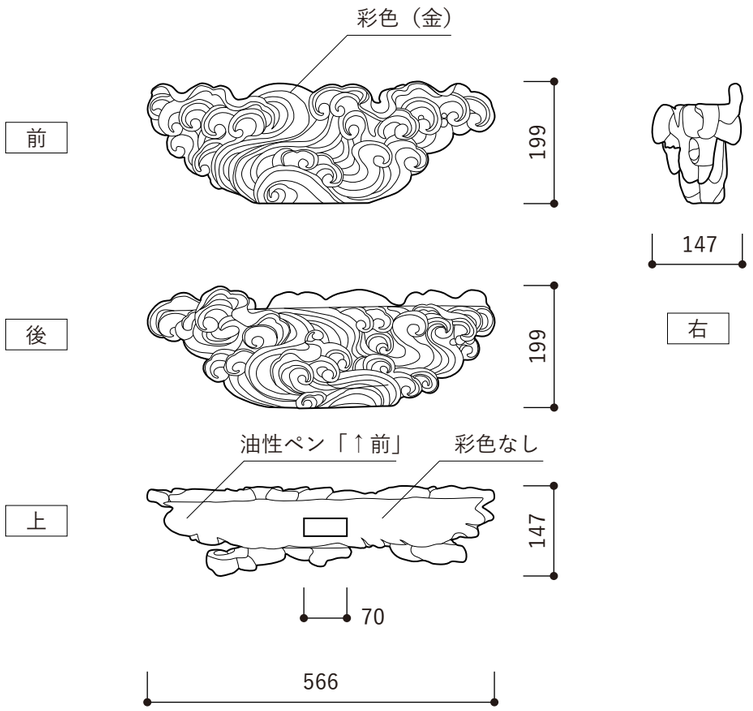
2-13：門（木鼻に竜頭彫刻）



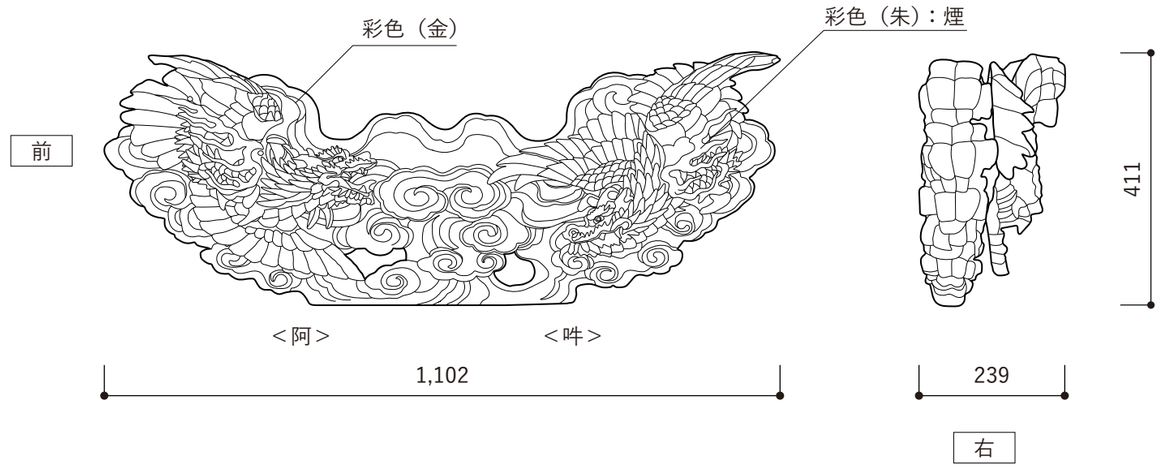
2-1：下貫木

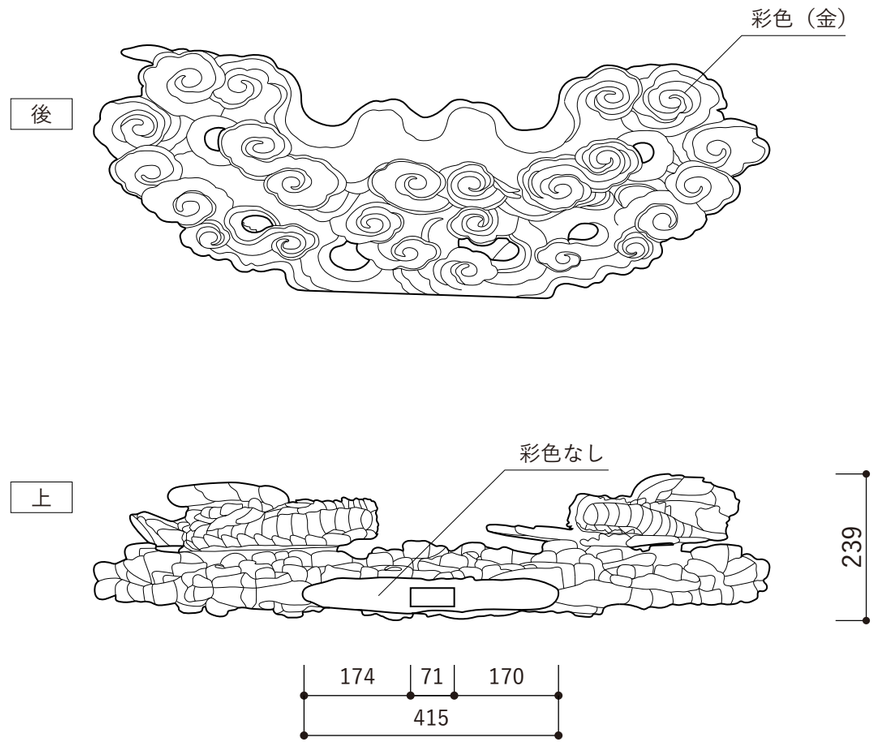


2-12：銛もたせの芯棒

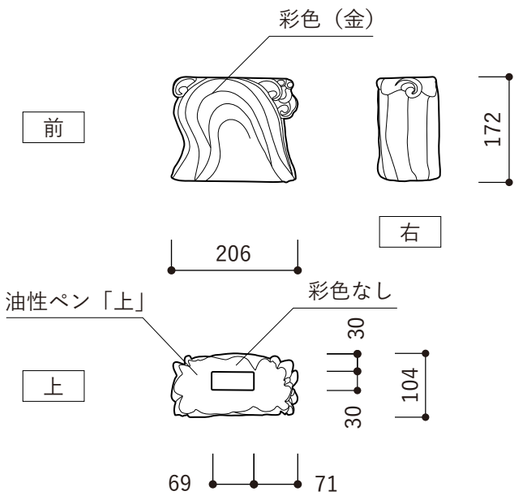


2-15：銛もたせ（中：雲彫刻）

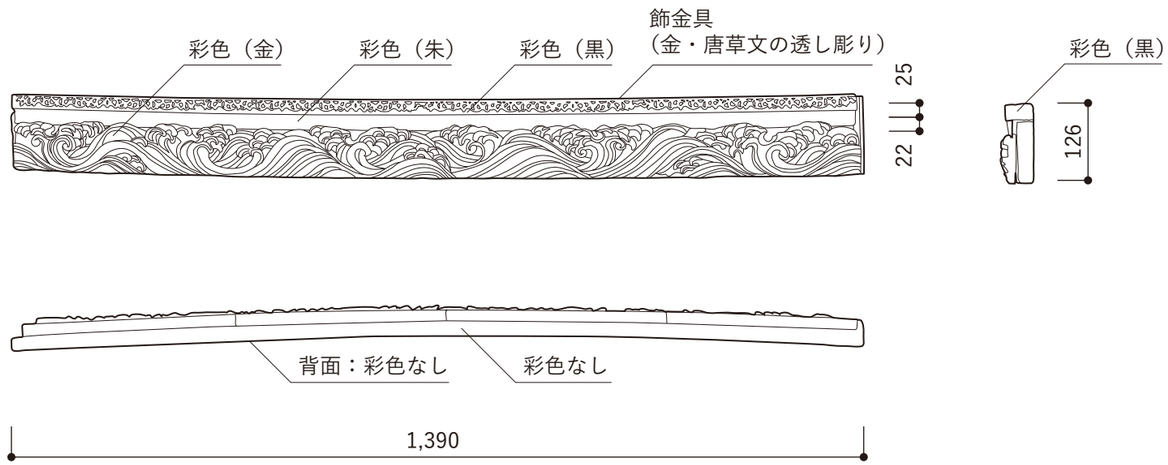




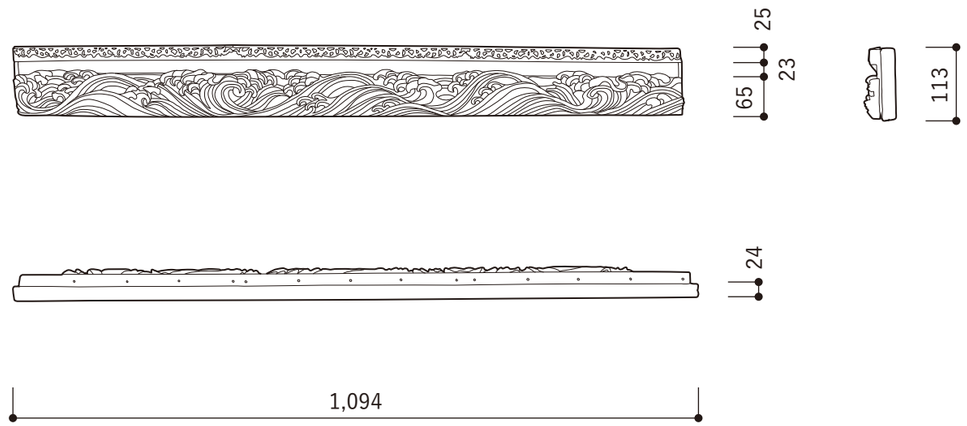
2-14：銛もたせ（上：雲に竜彫刻）



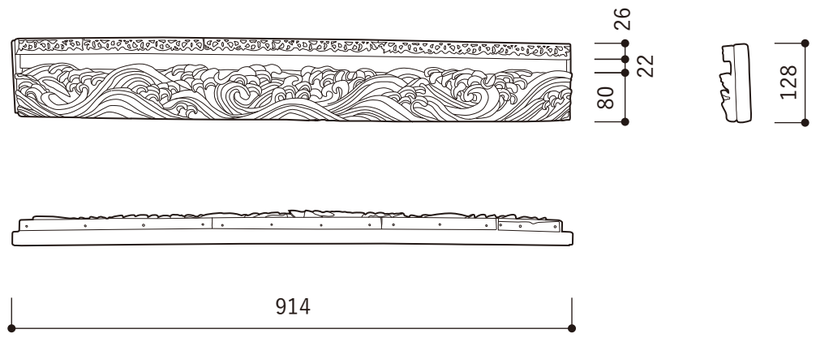
2-16：銛もたせ（下：雲彫刻）



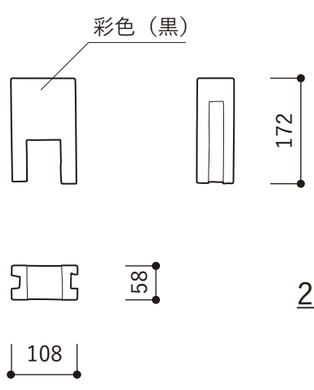
2-2-L：コベリ（左前・波彫刻）・(2-2-R)



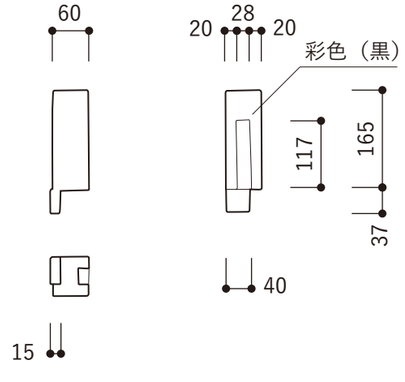
2-4-L：コベリ（左後・波彫刻）・(2-4-R)



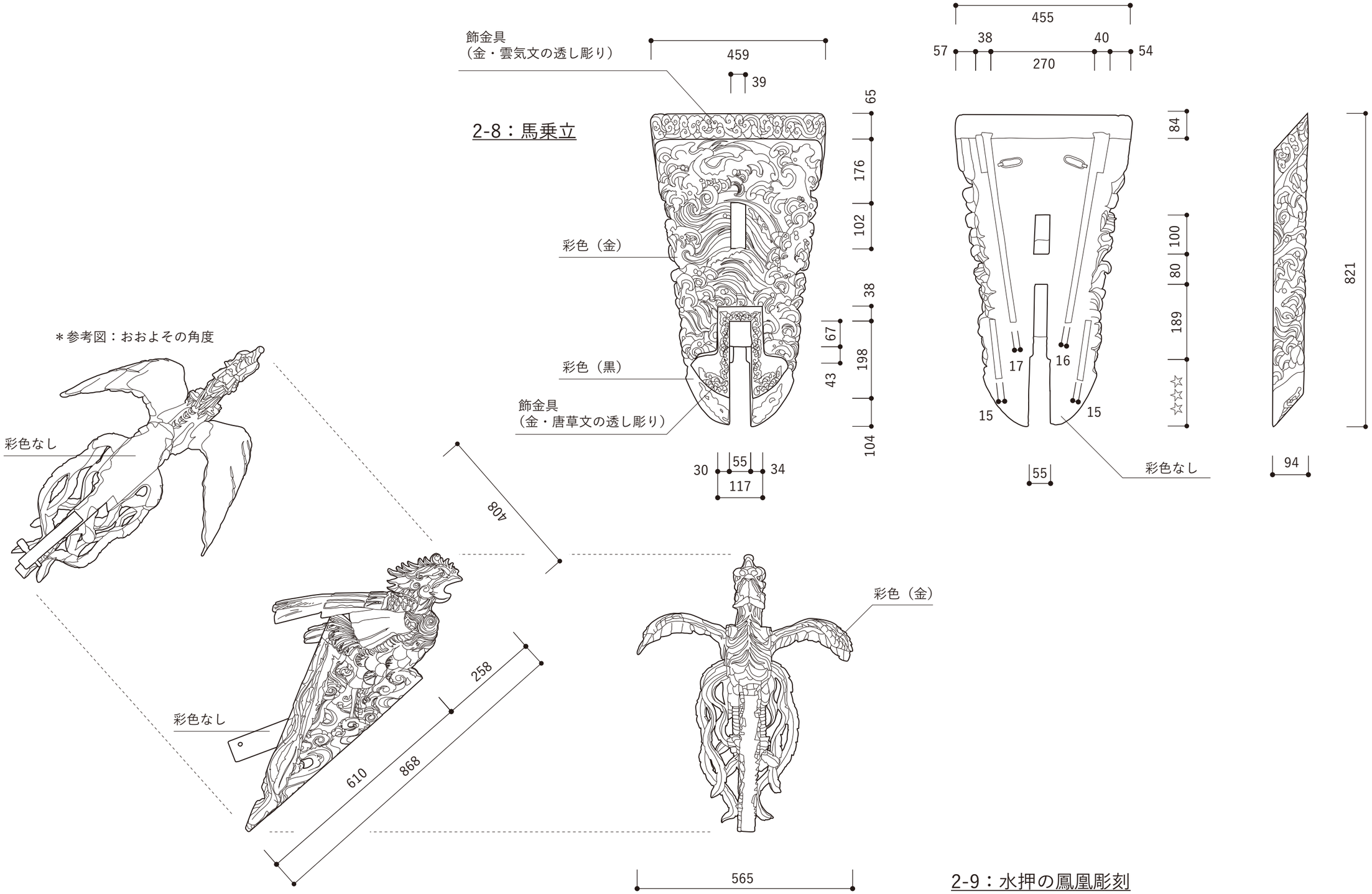
2-3-L：コベリ（左中・波彫刻）・(2-3-R)



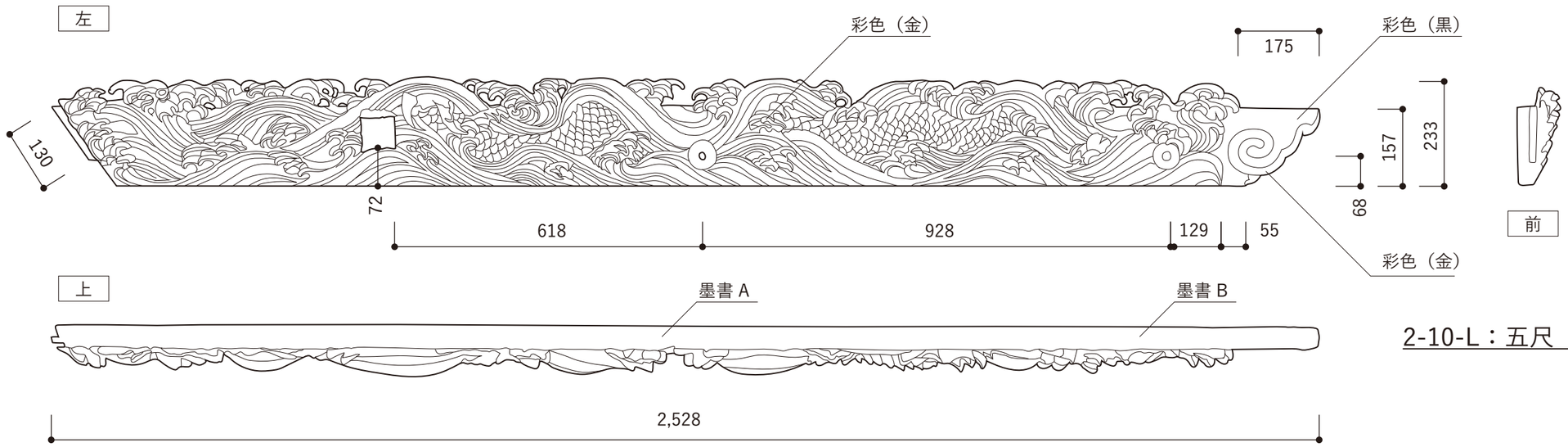
2-5-L：コベリ抑え（左前・左中）・(2-5-R,2-6-L,R)



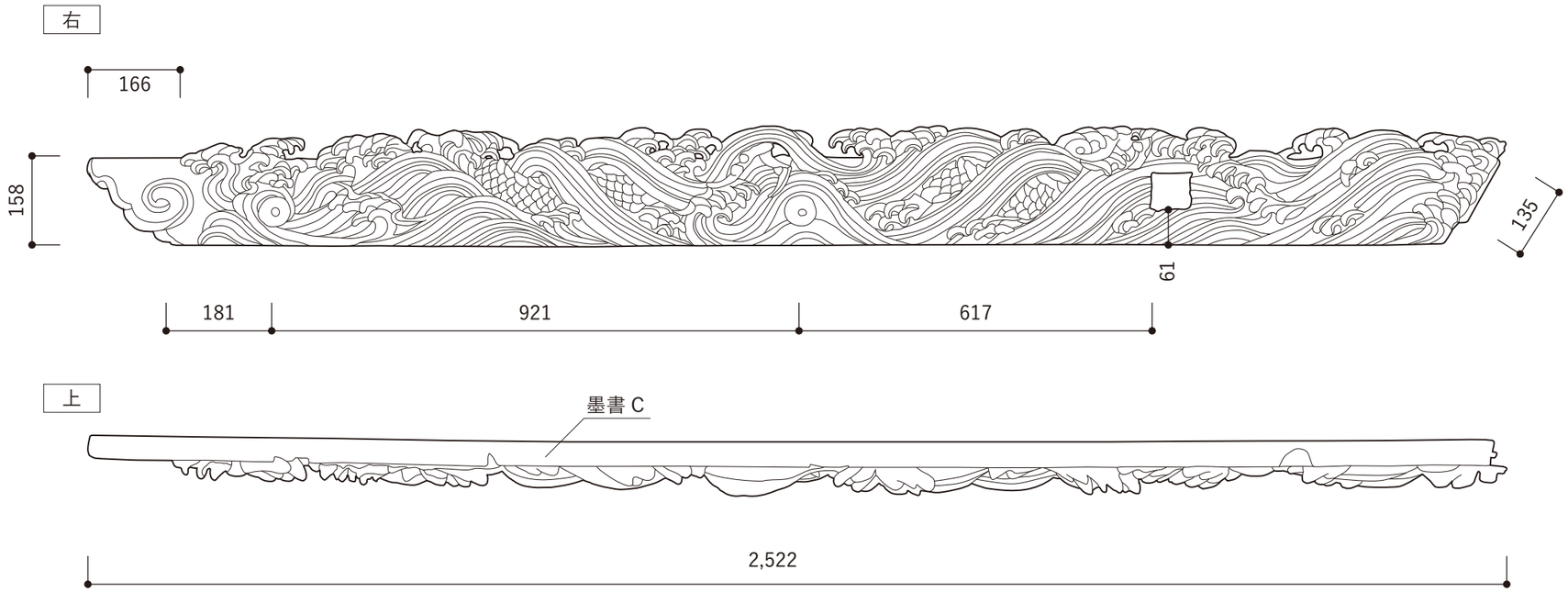
2-7-L：コベリ抑え（左後）・(2-7-R)



17　馬乗立・水押の鳳凰彫刻（1/10）



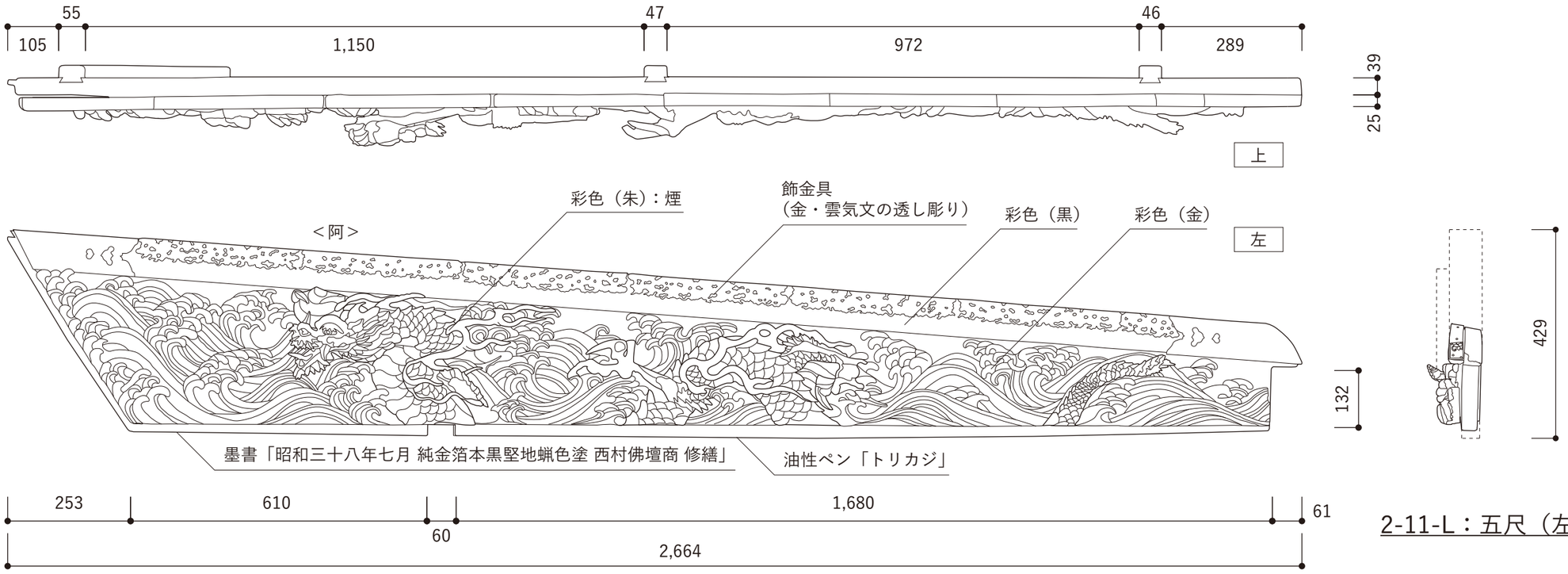
2-10-L：五尺（左下・波に竜体彫刻）



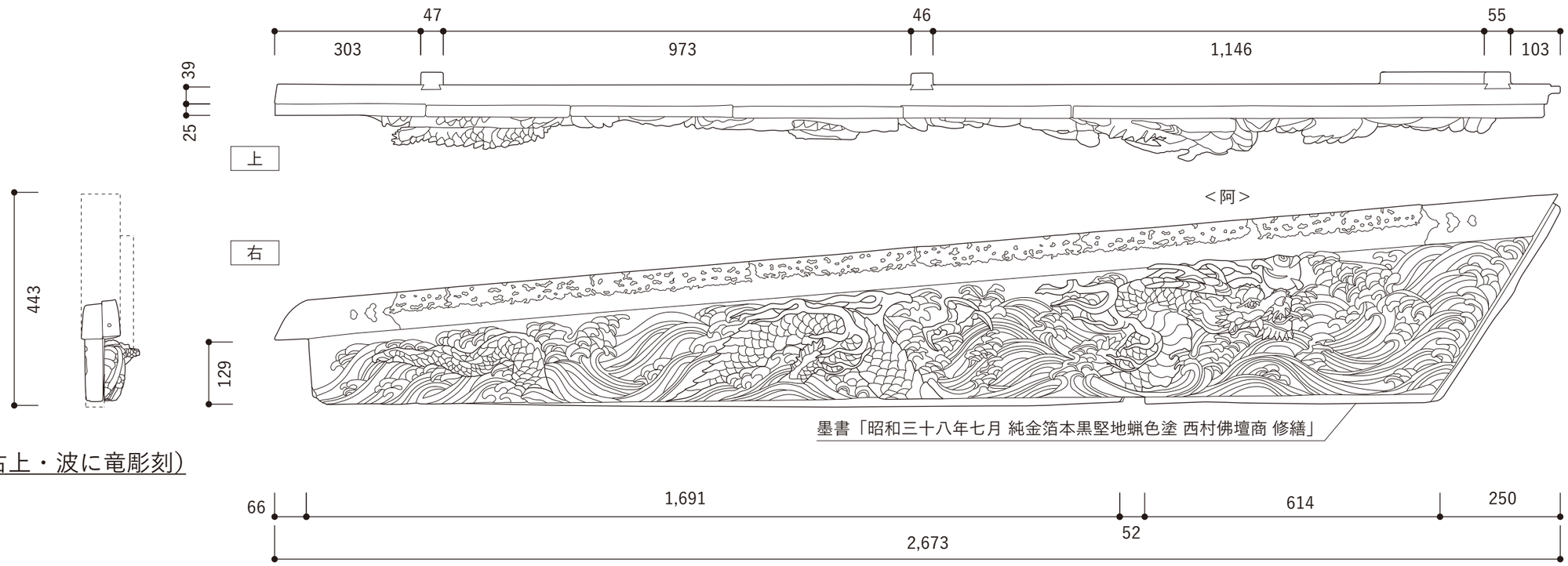
2-10-R：五尺（右下・波に竜体彫刻）

特記事項

格納庫内に、矢田九郎兵衛商店から北嶋組宛に発行された、大正期の領収書、見積書等が残されている。

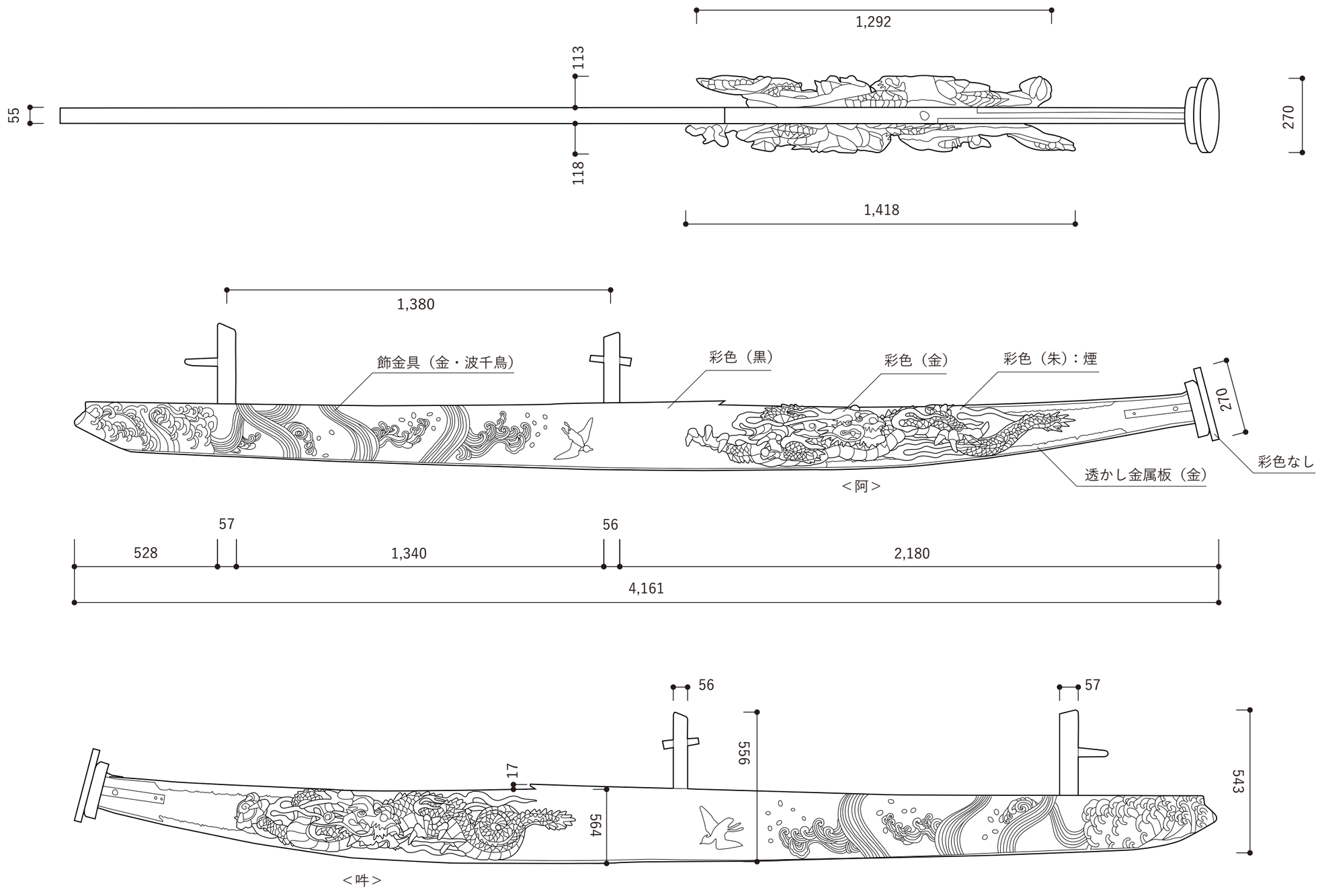


2-11-L：五尺（左上・波に竜彫刻）

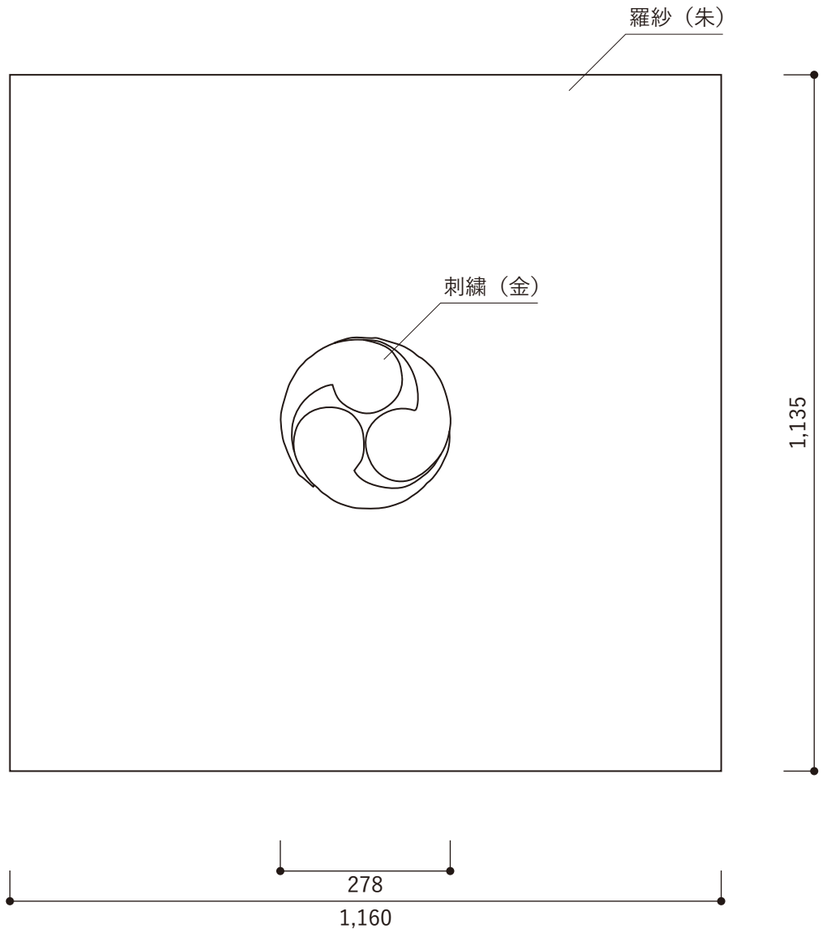


2-11-R：五尺（右上・波に竜彫刻）

19　五尺上（1/10）

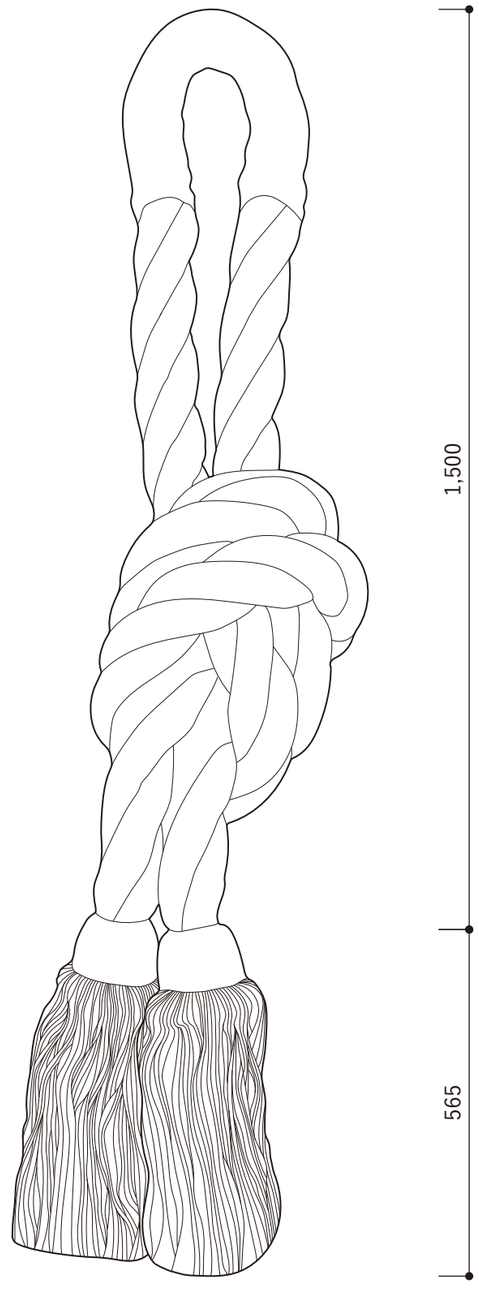

1,292
113
55
118
270
1,418
1,380
飾金具（金・波千鳥）
彩色（黒）
彩色（金）
彩色（朱）：煙
270
彩色なし
透かし金属板（金）
＜阿＞
57
56
528
1,340
2,180
4,161
56
57
556
17
564
543
＜吽＞

2-17：水押（波千鳥と竜）



2-18：水押御紋（三巴紋：鳥出神社神紋）

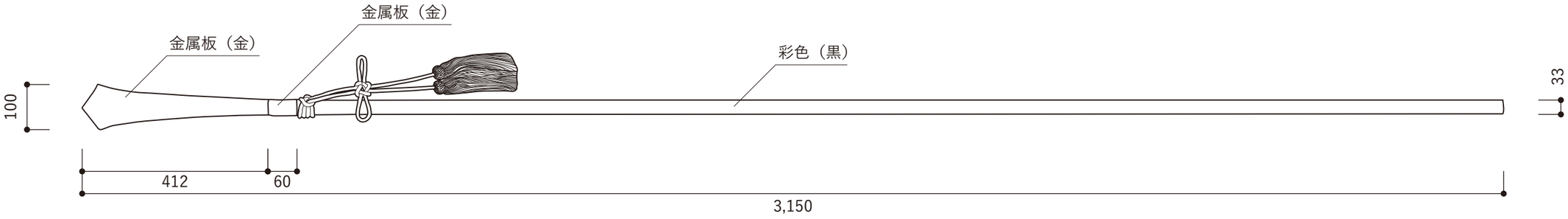
鳥出神社の神紋は三巴紋と上がり藤である。



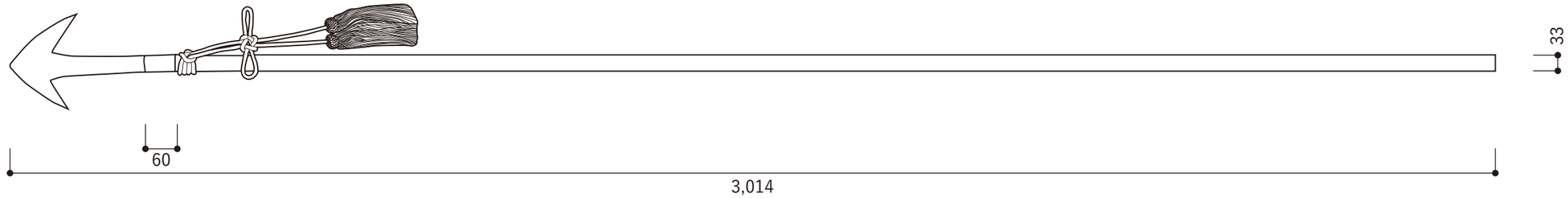
2-19：水押サガリ

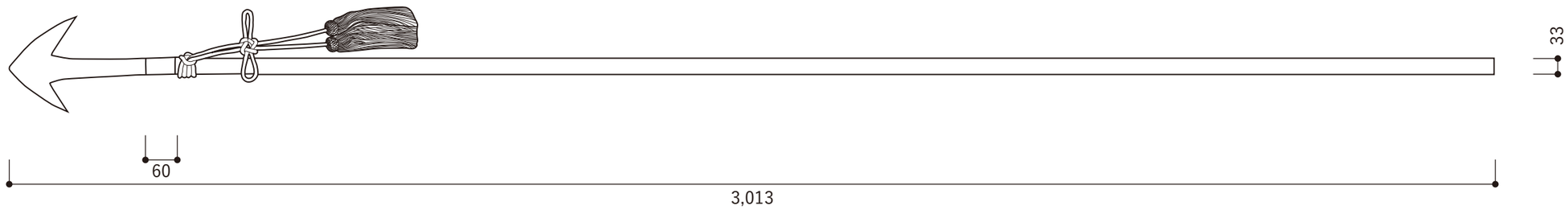
金糸綴付け、二重の堅結び

＊詳細は「北島組鯨船神社丸・水押サガリ新調事業報告書」参照

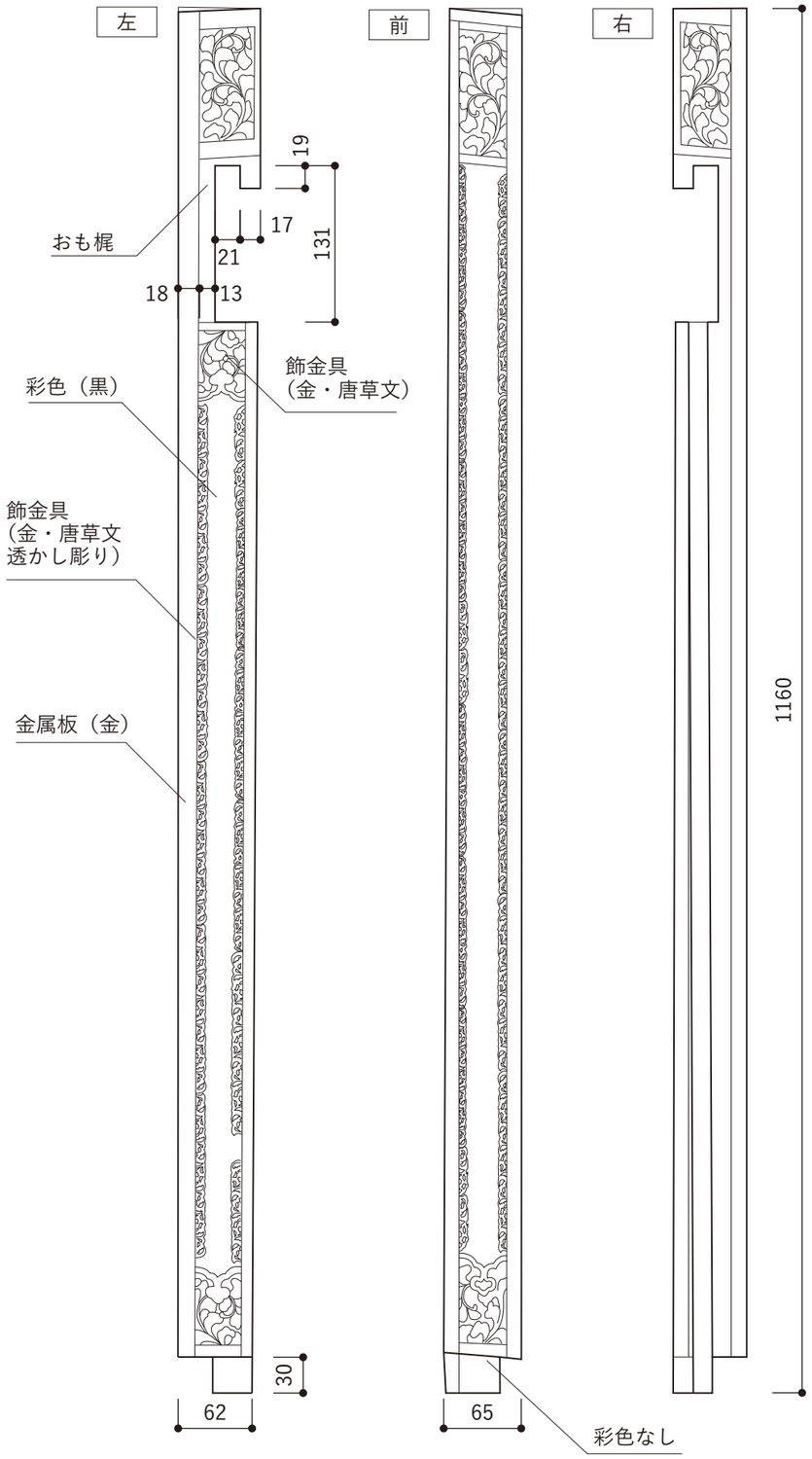


2-20：銛もたせに設置するトドメノモリ

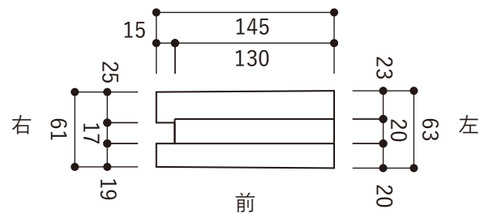




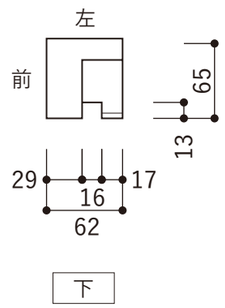
2-21：銛もたせに設置するモリ

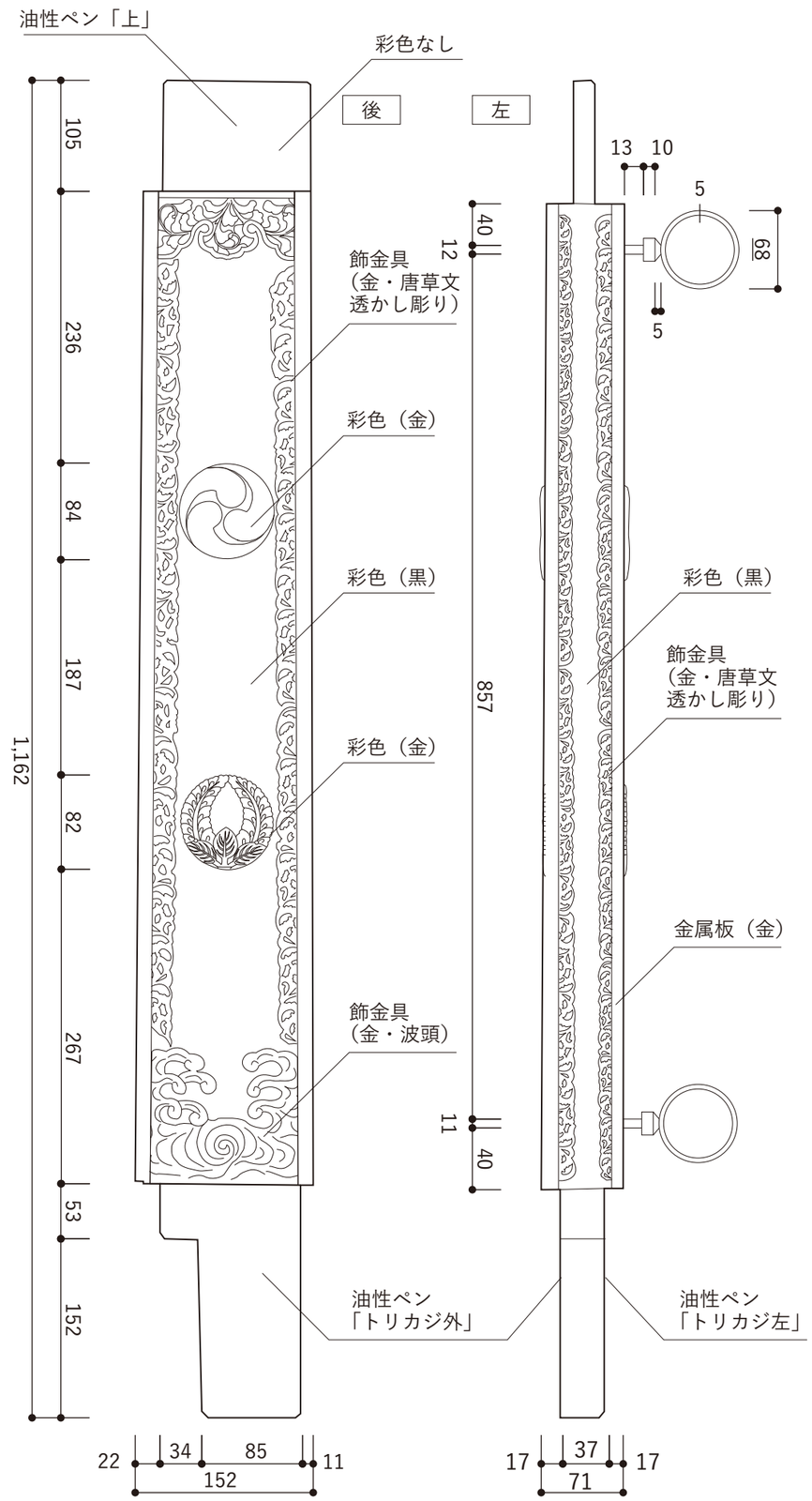


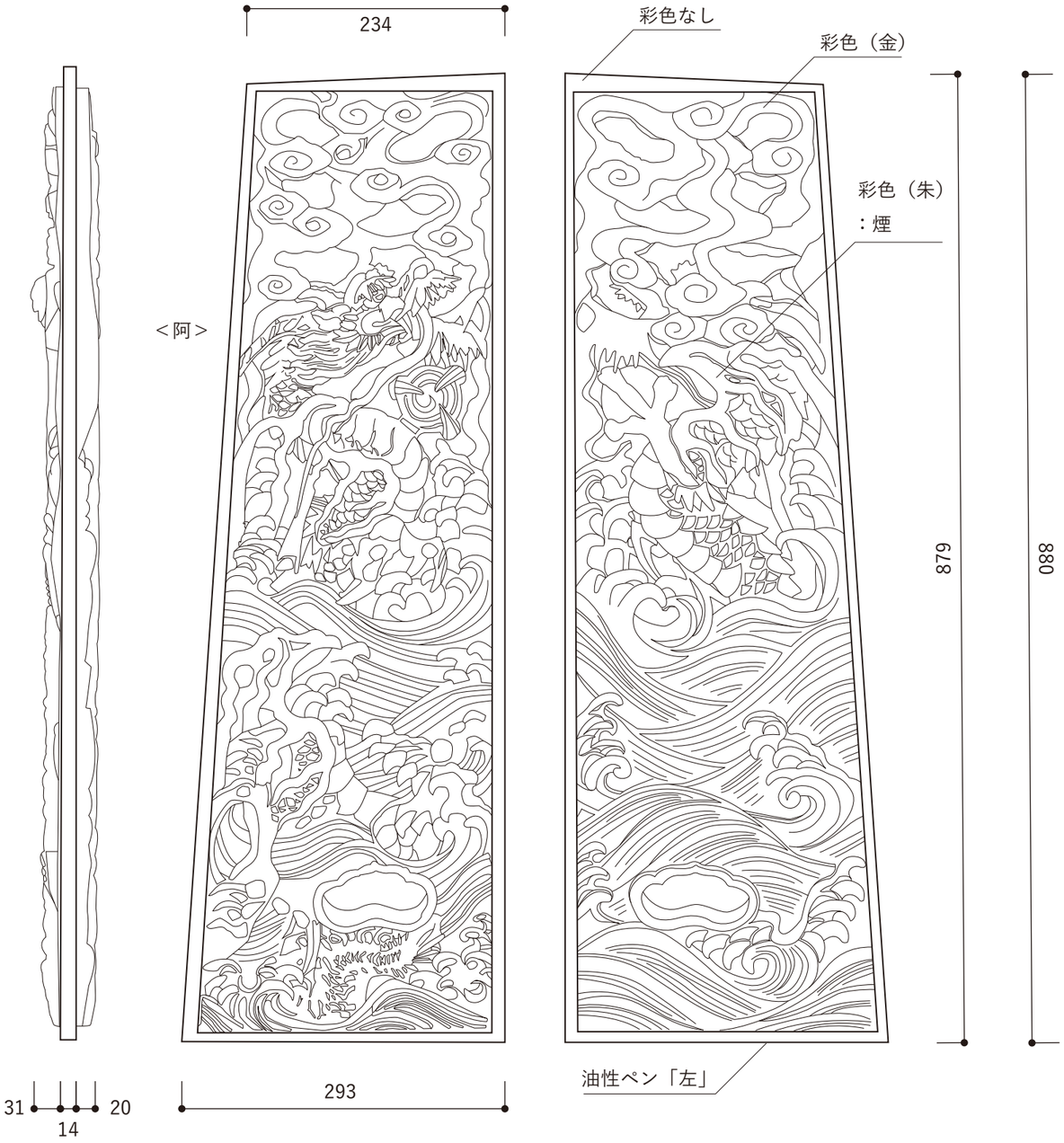
3-3-L（3-3-R）：艫立柱（左外）



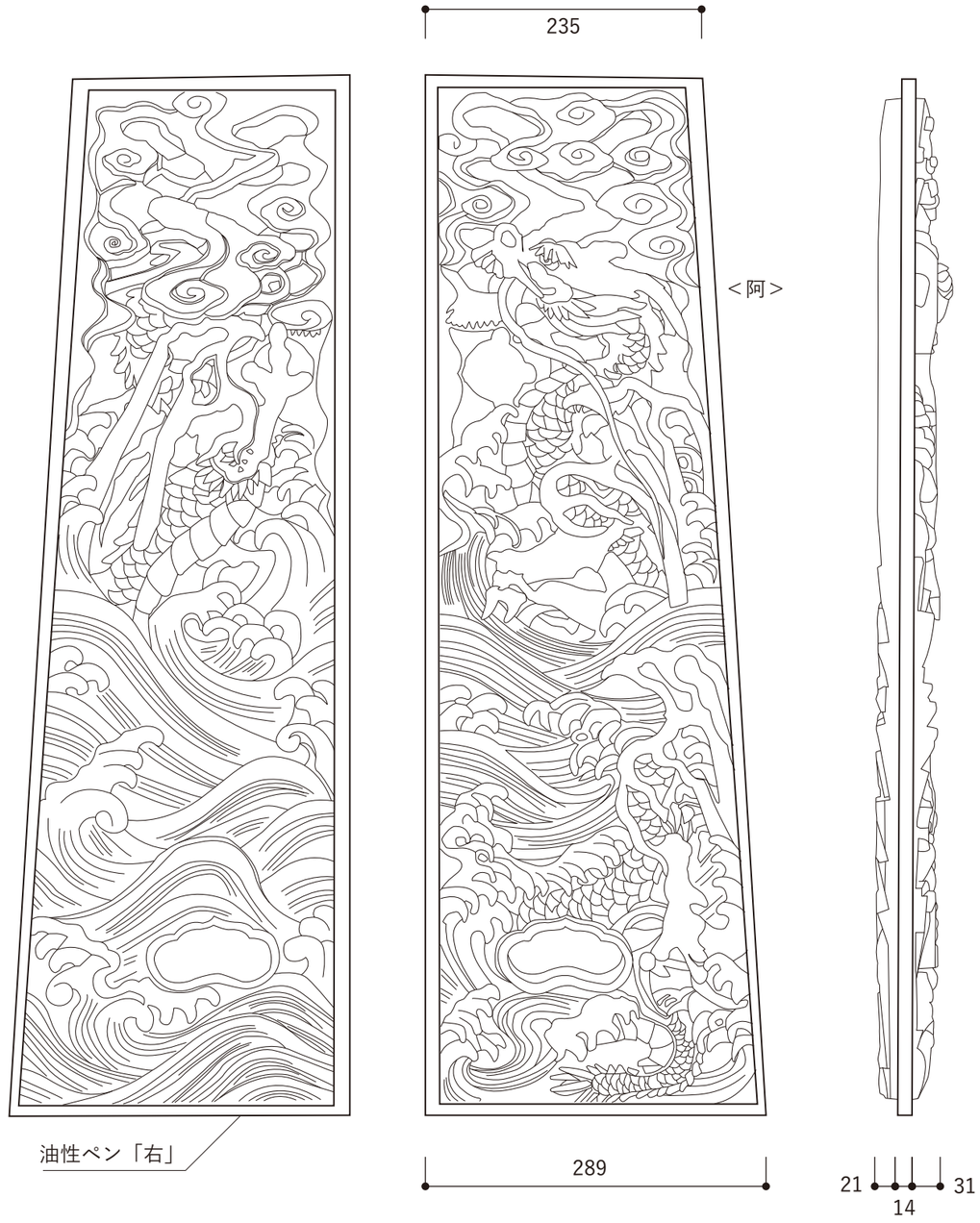
3-1-L（3-1-R）：艫立柱（左中）



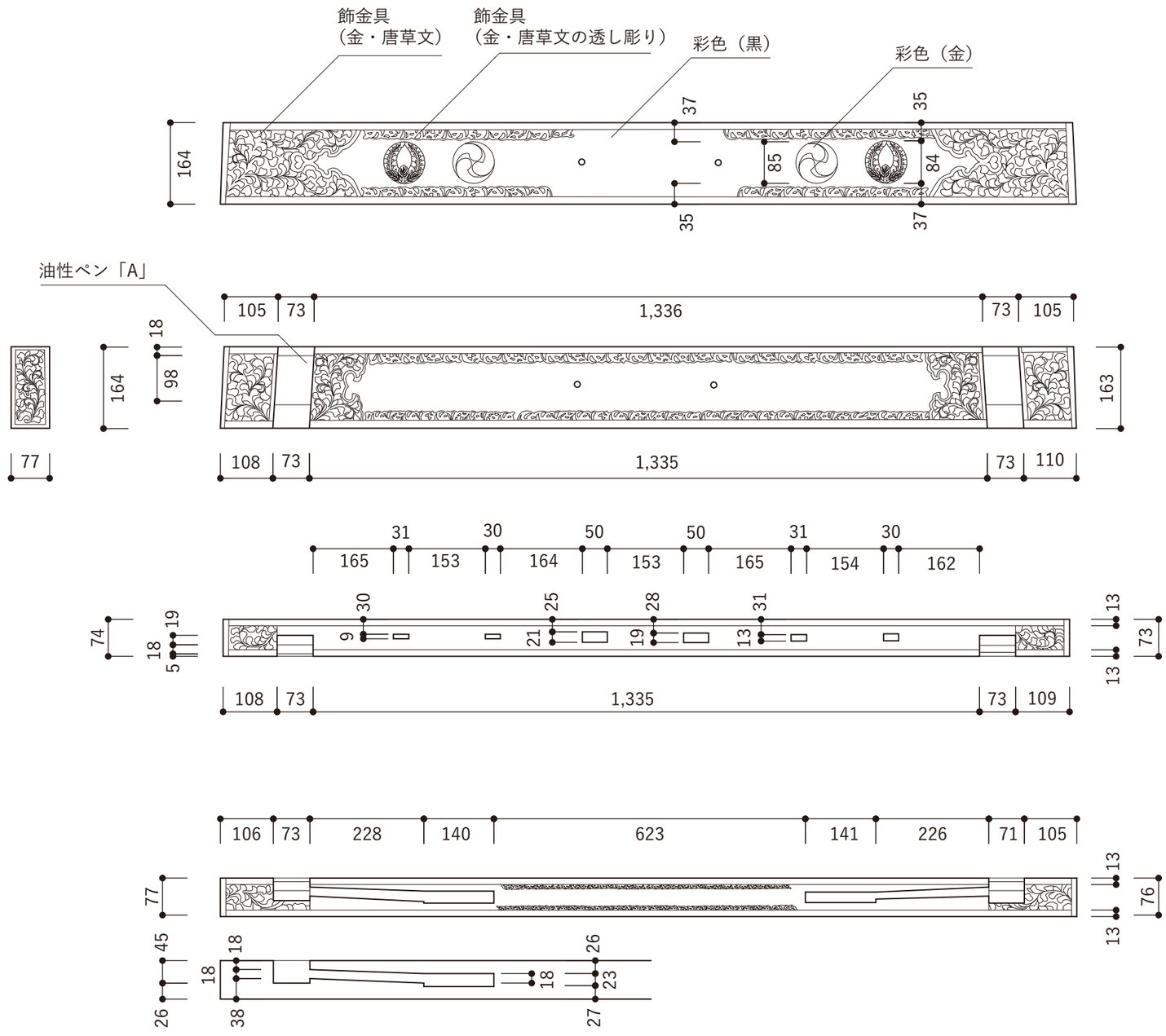




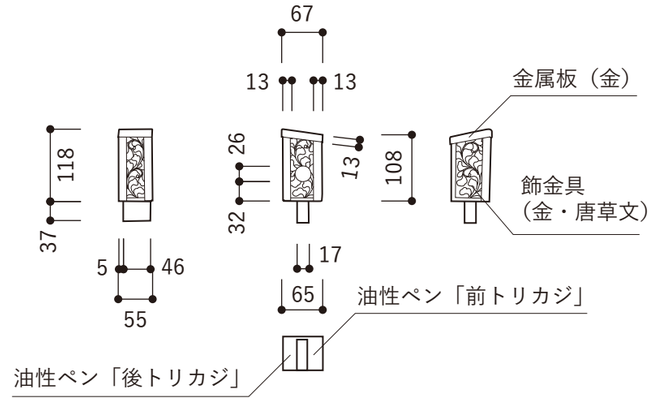
3-2-L：艫立の飾り彫刻（左・水流文に波頭、雲気文に竜の彫刻）



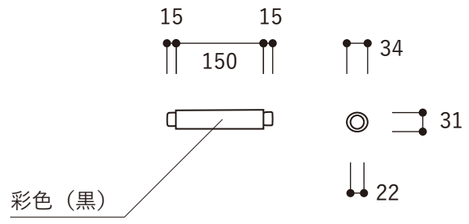
3-2-R：艫立の飾り彫刻（右・水流文に波頭、雲気文に竜の彫刻）



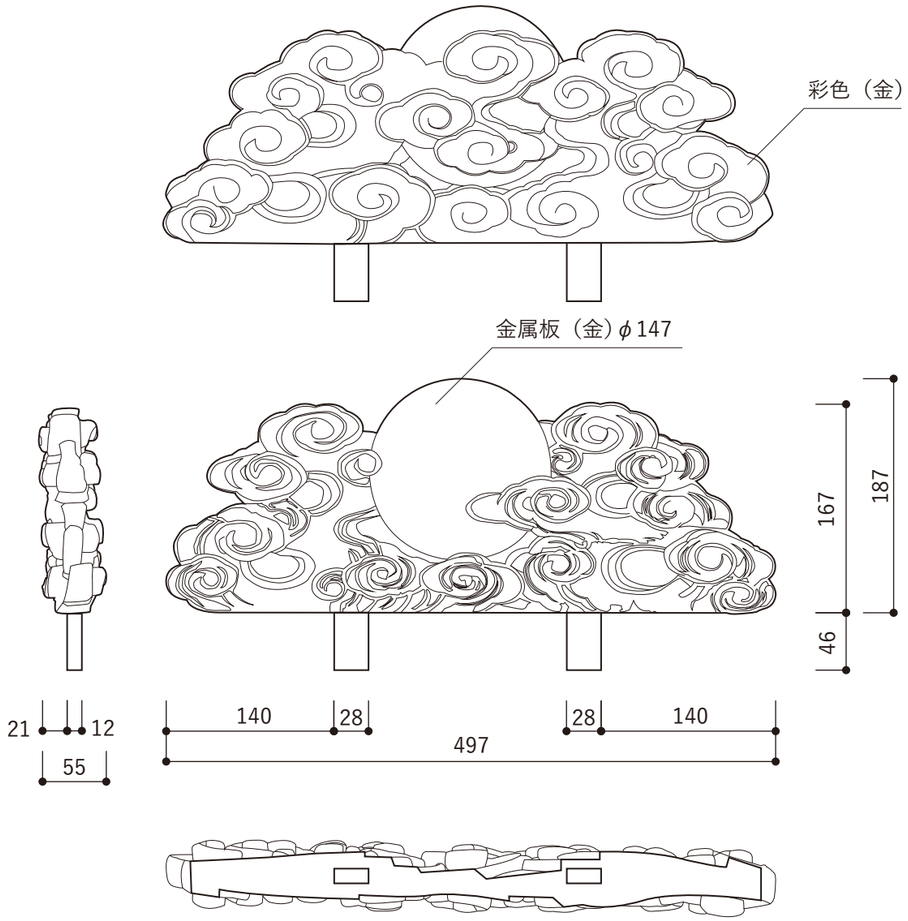
3-4：艫立



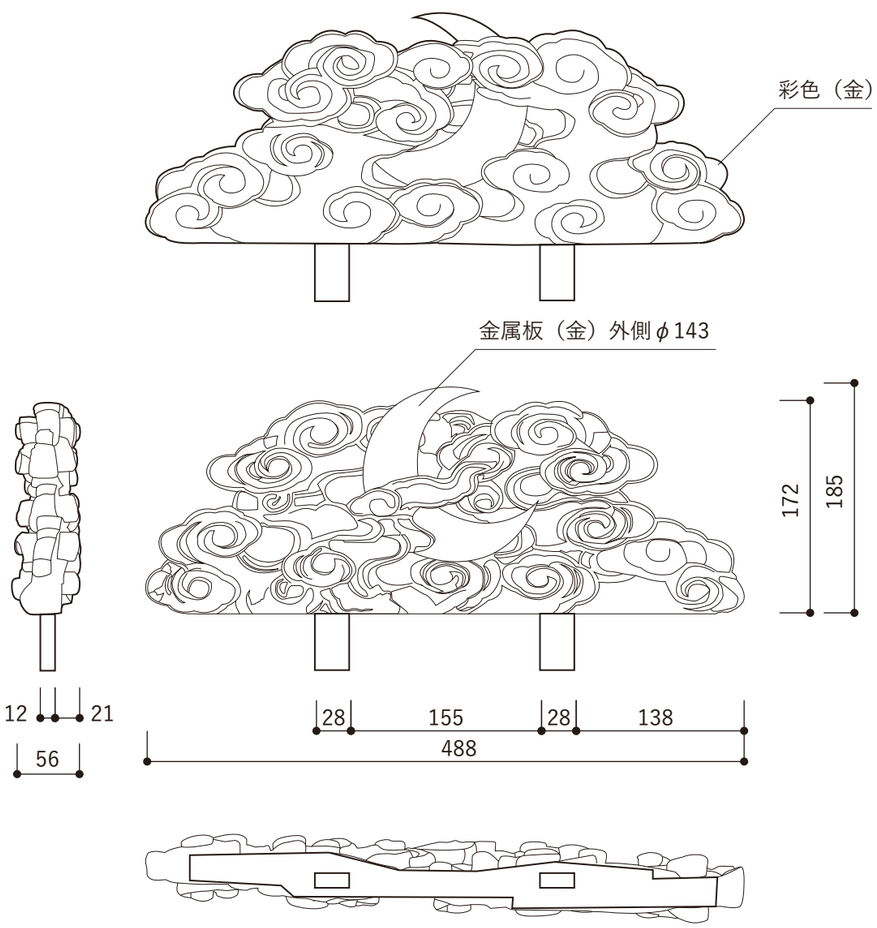
3-6-L：艫立（左）（3-6-R）



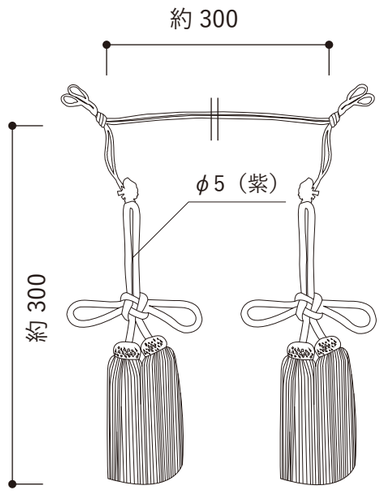
3-5：艫立 胴木



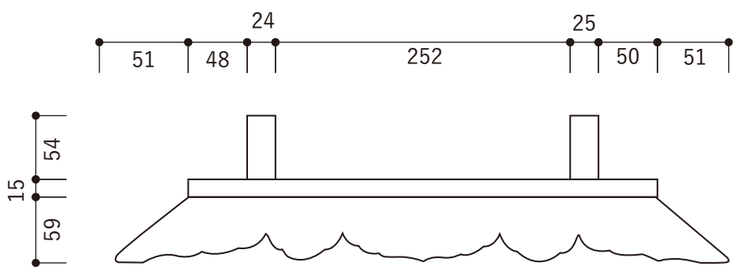
3-7-L：艫立装飾（雲気文に日輪）



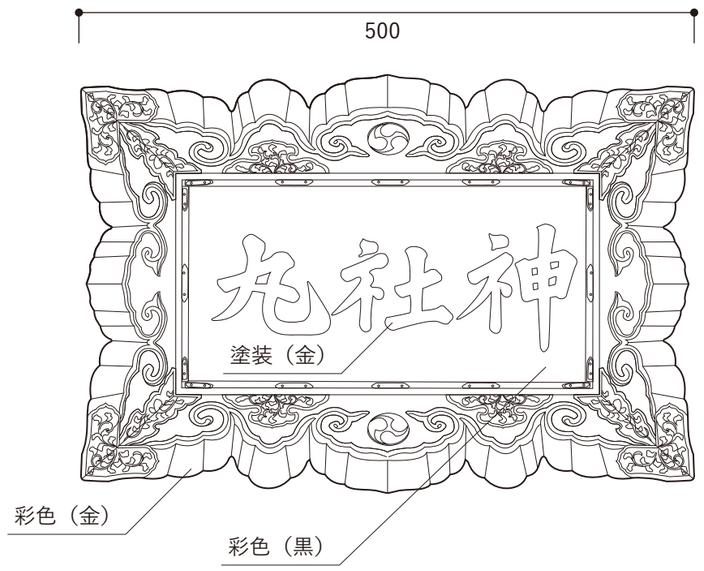
3-7-R：艫立装飾（雲気文に月輪）

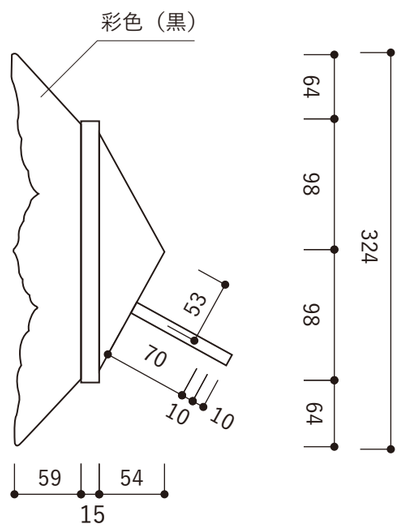


3-9：艫立の飾房

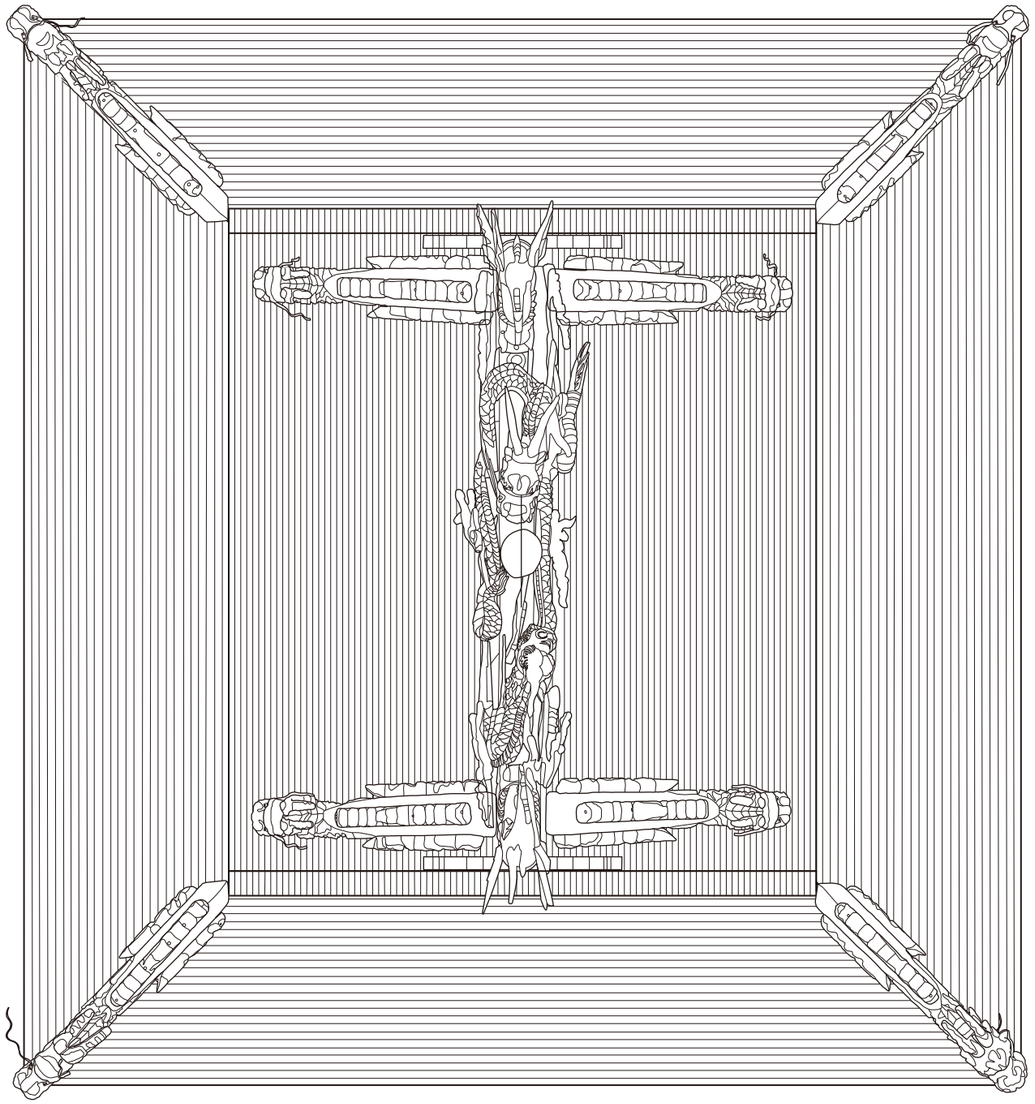


3-8：扁額「神社丸」（船名額）



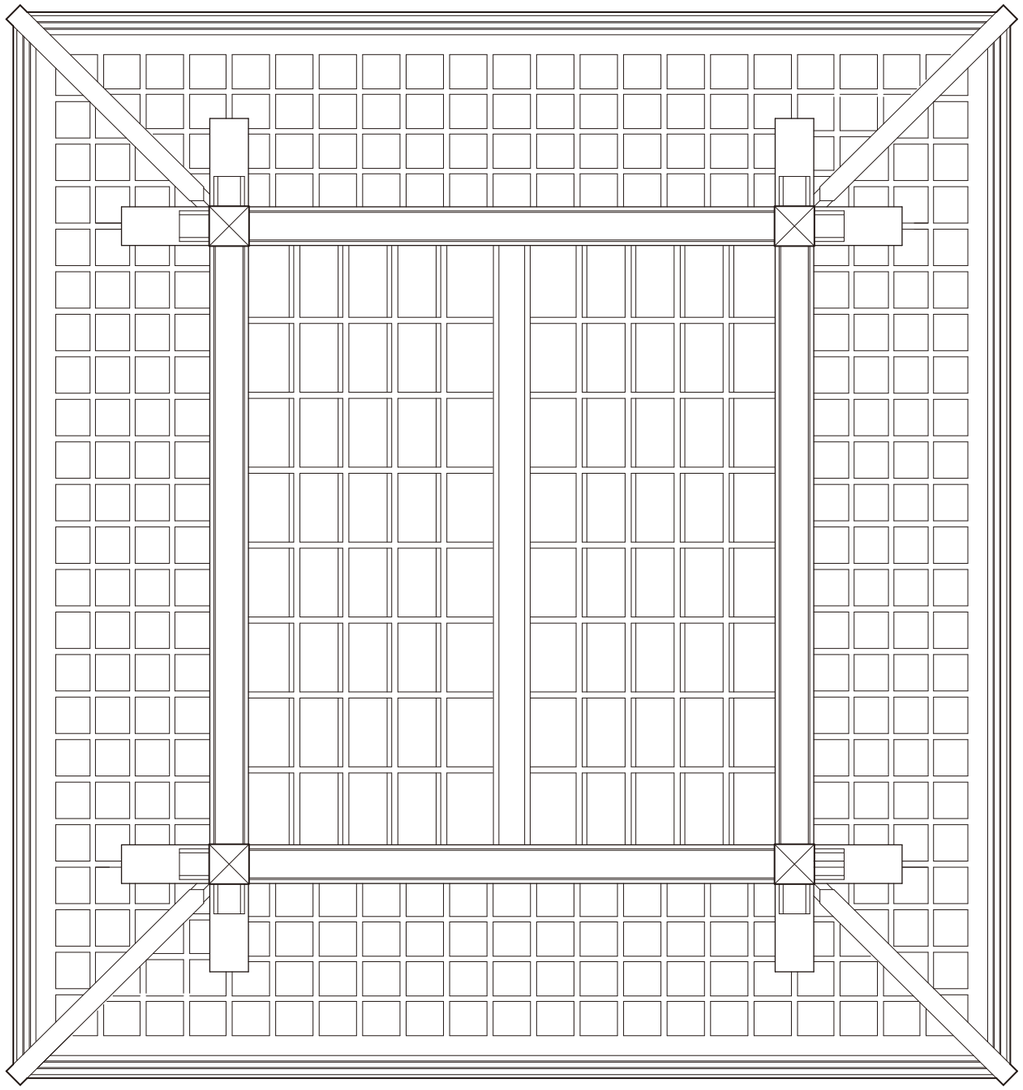


▲
前側

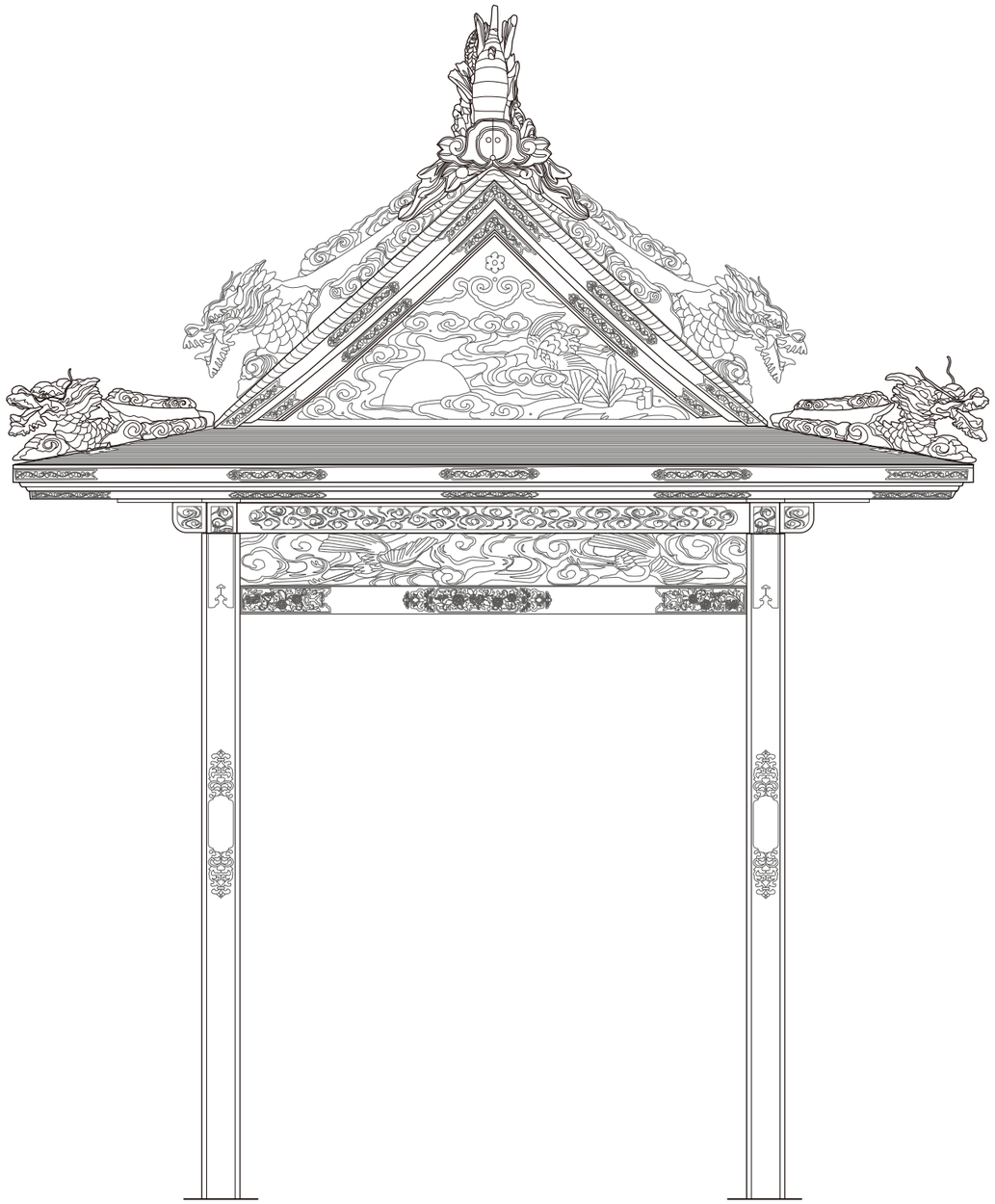


屋形屋根伏図（1/10）

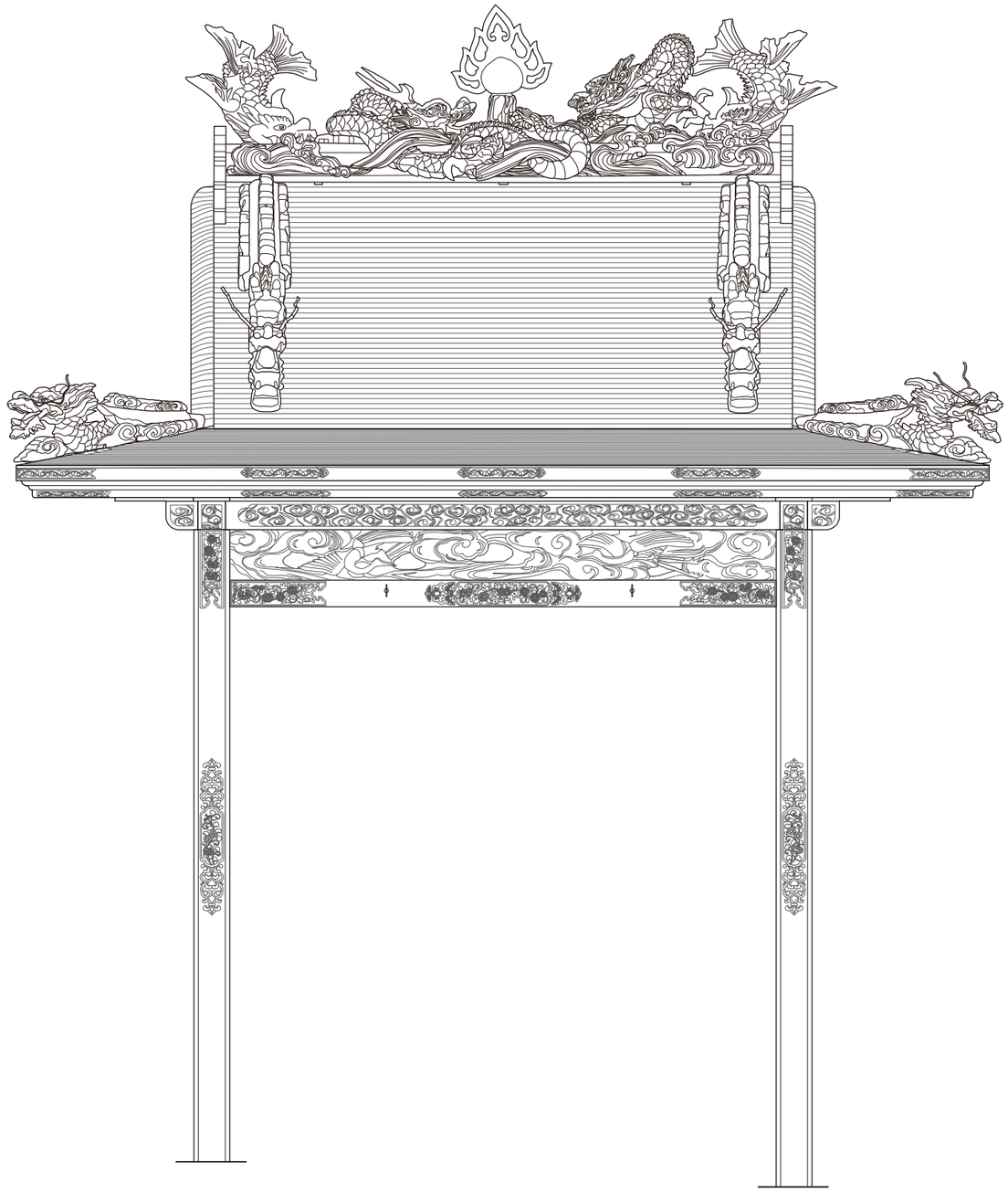
▲
前側



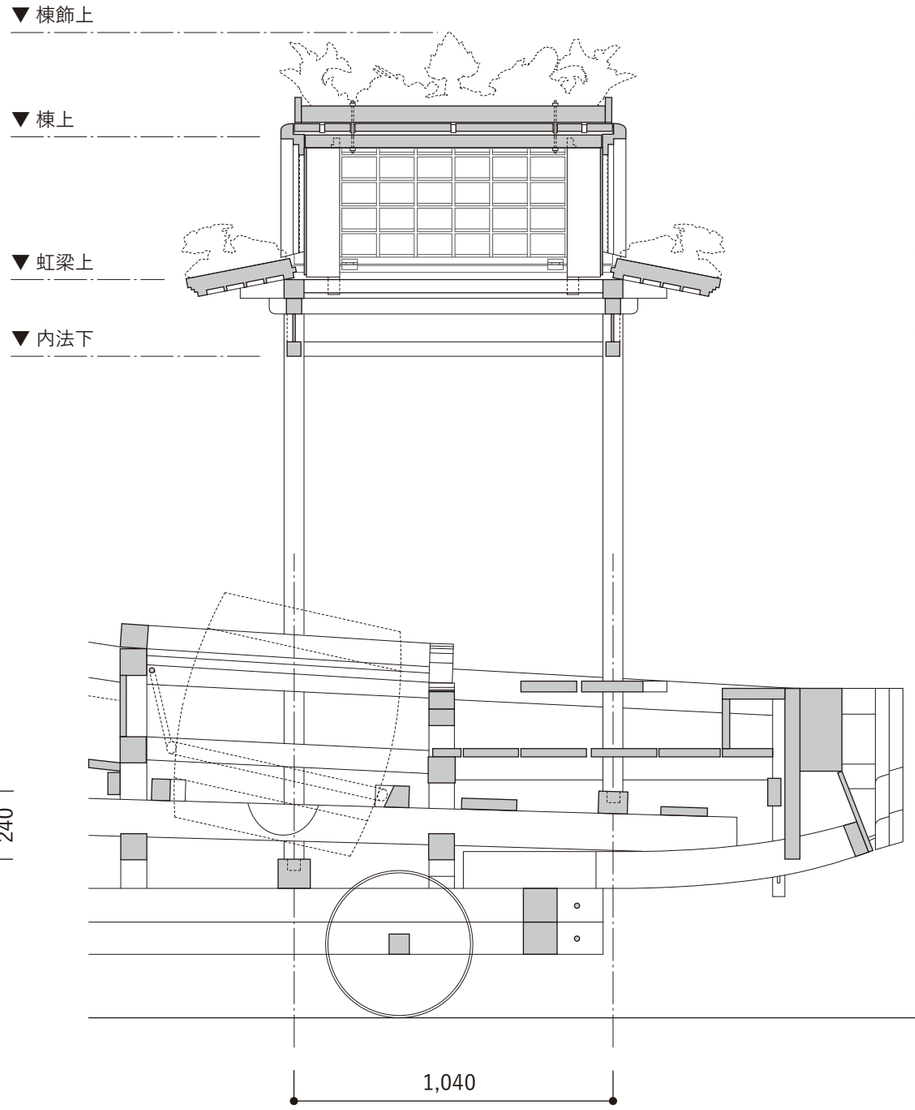
屋形天井伏図（1/10）



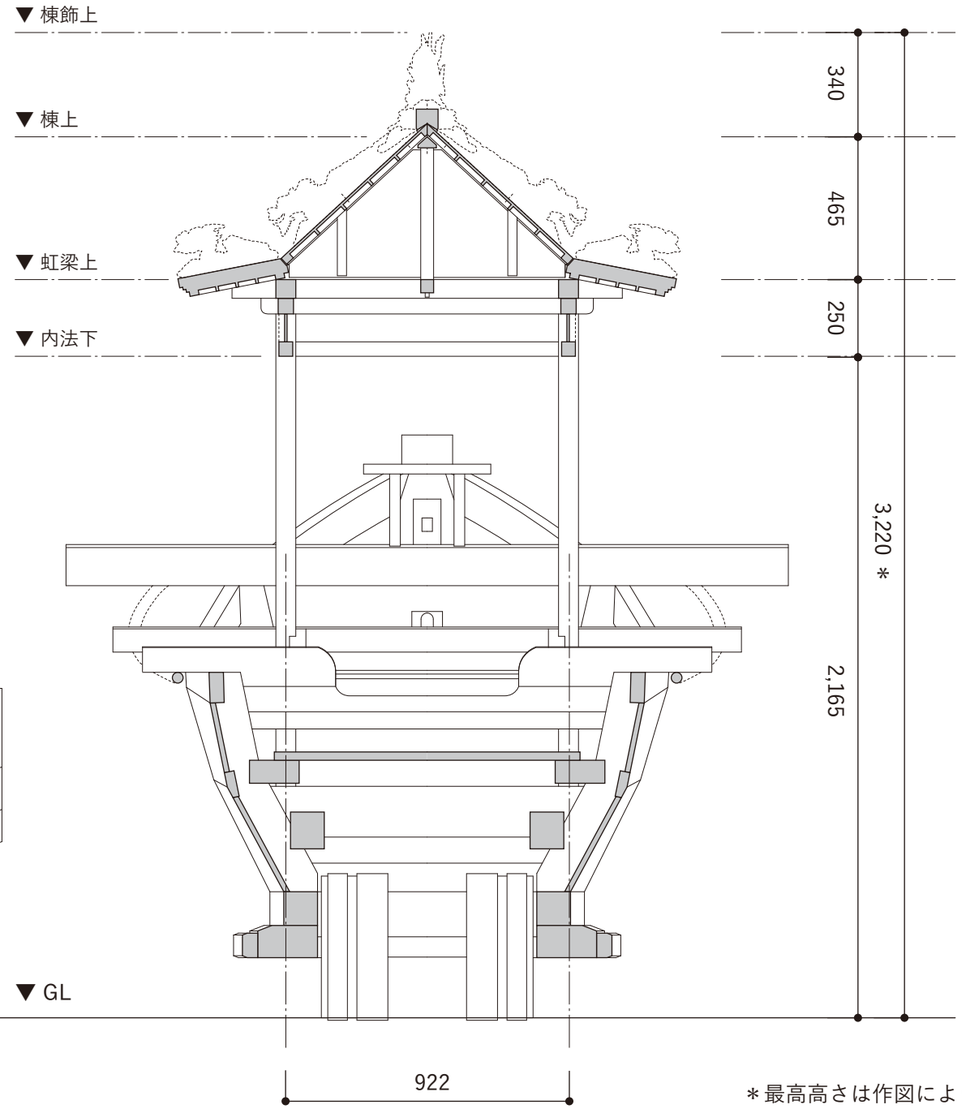
屋形立面図（前側）（1/10）



屋形屋根伏図（左側）（1/10）



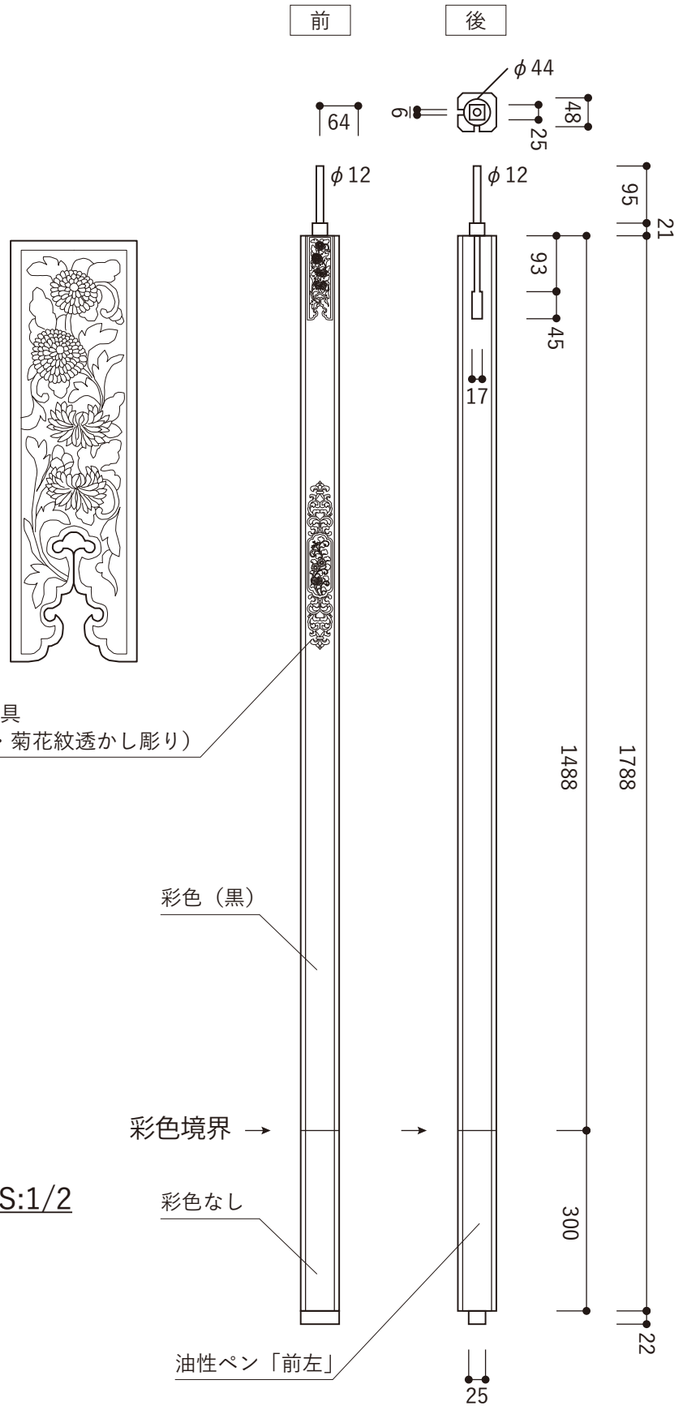
屋形断面図（桁行）（1/20）



＊最高高さは作図により求めた値

屋形断面図（梁間）（1/20）

装飾部分拡大　S:1/2

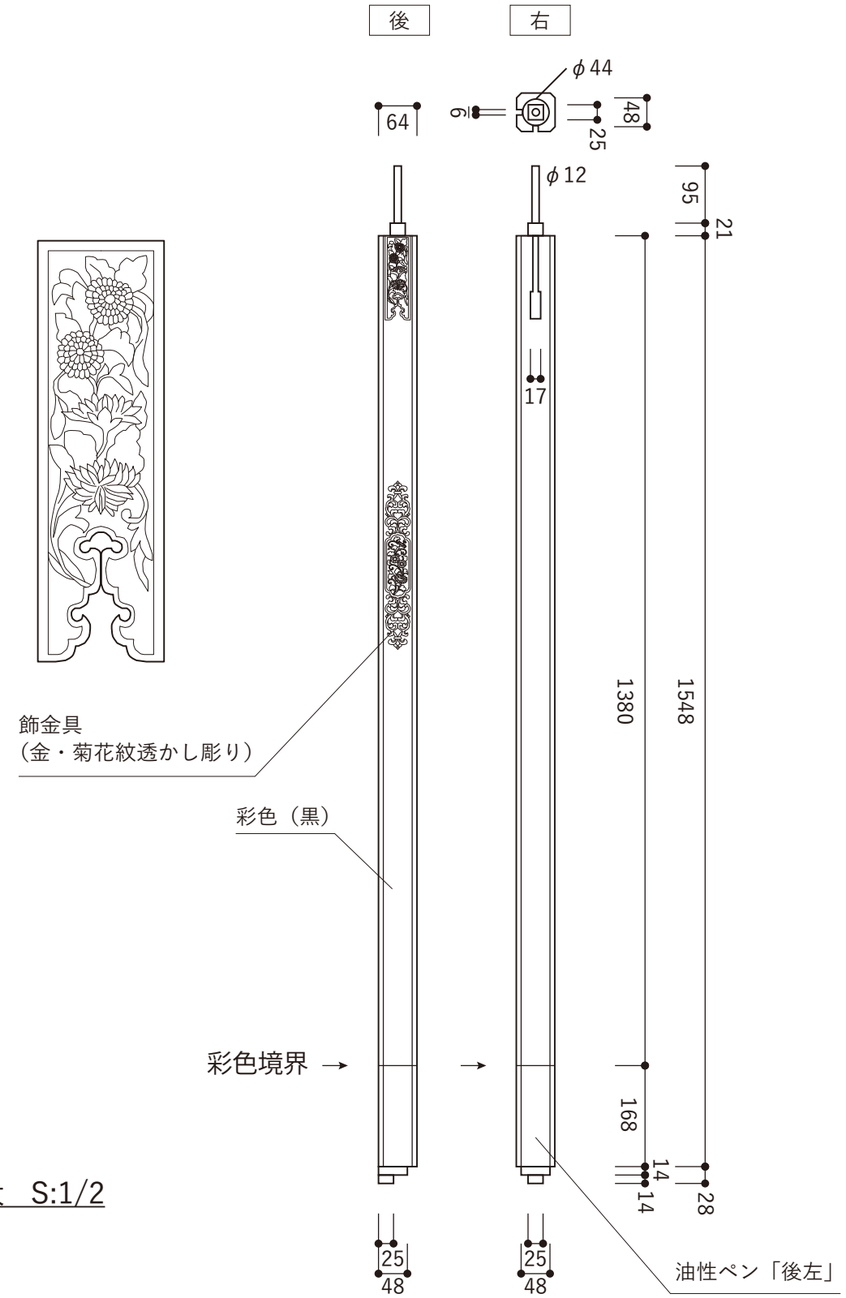


4-1-FL（4-1-FR）：屋形柱（左前）

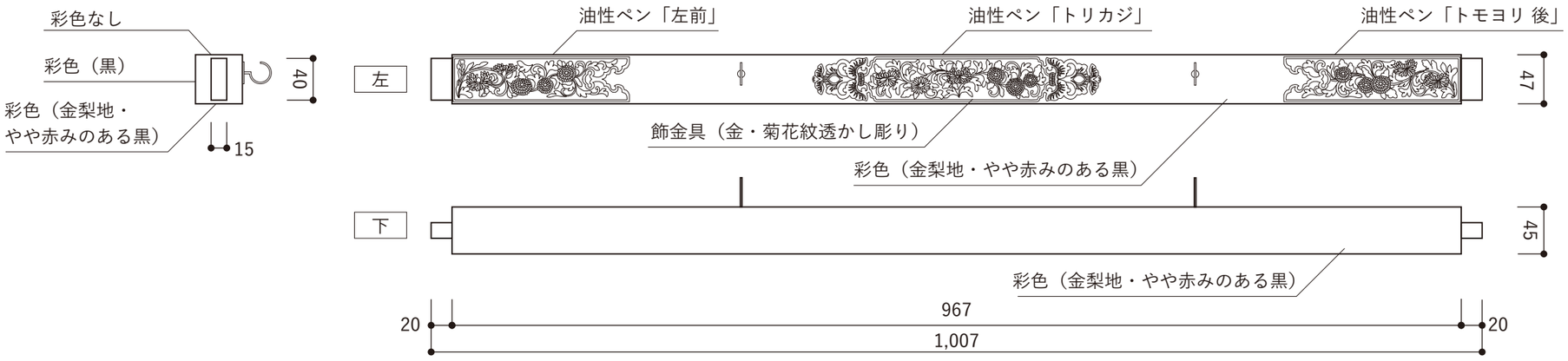
装飾部分拡大　S:1/2

外側２面に金属板装飾

内側２面は
金属板なし

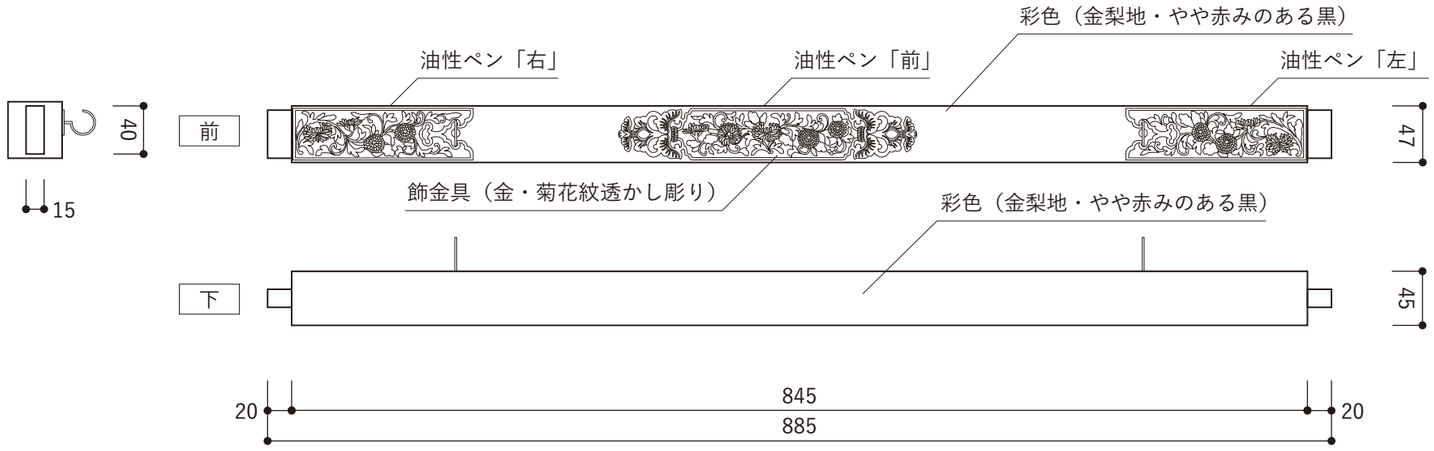


4-1-BL（4-1-BL）：屋形柱（左後）



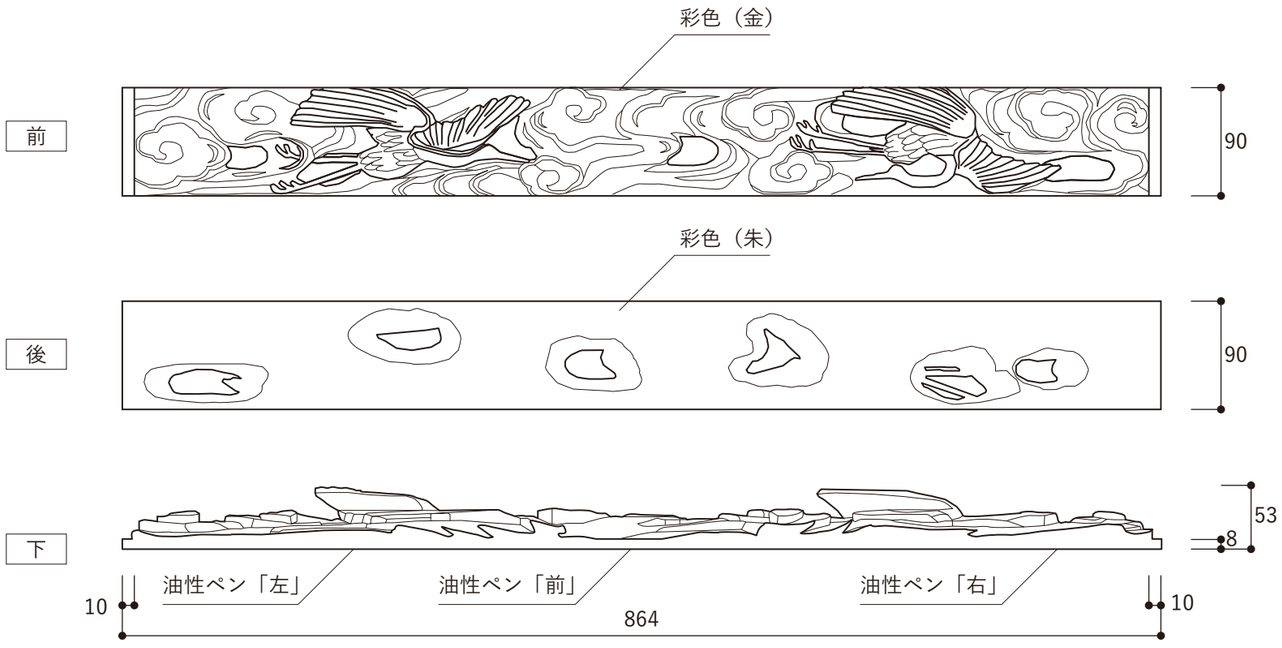
4-2-L（4-2-R）
：屋形無目鴨居（左）

装飾部分拡大（1/2）



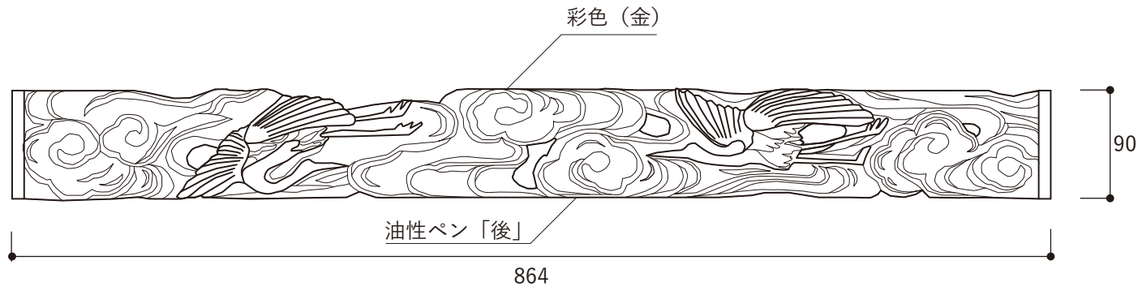
4-2-F（4-2-B）：
屋形無目鴨居（前）

装飾部分拡大（1/2）

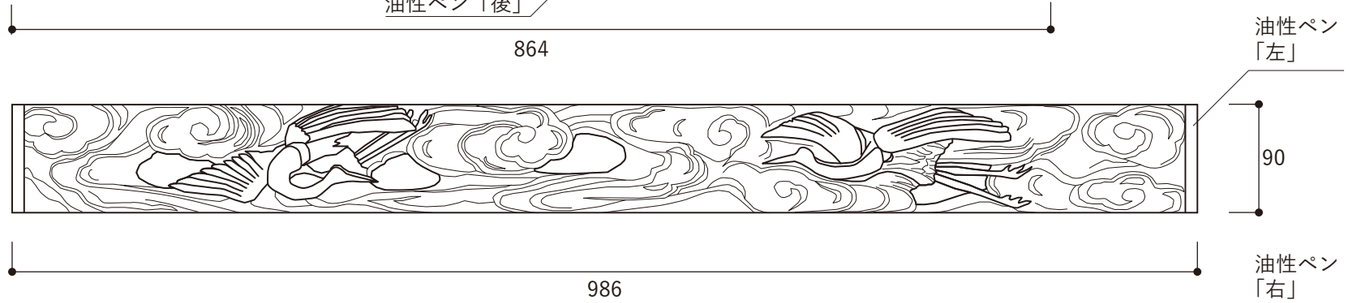


4-3-F 屋形欄間（前・雲気文に鶴）

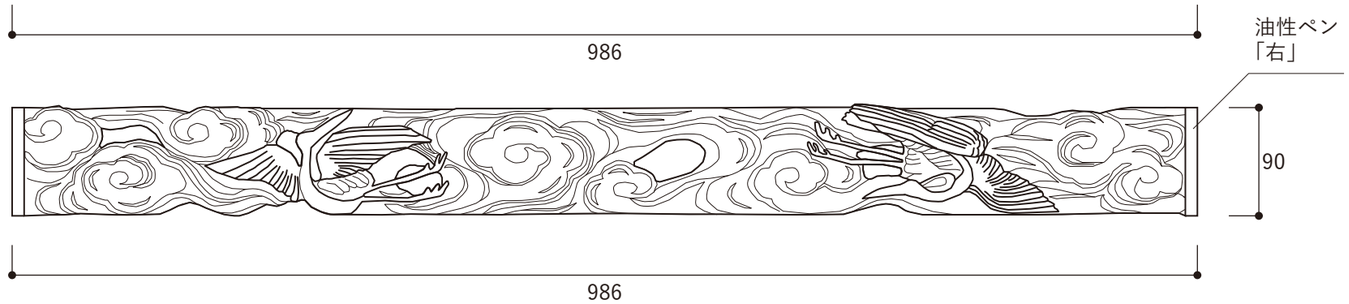
4-3-B 屋形欄間（後・雲気文に鶴）

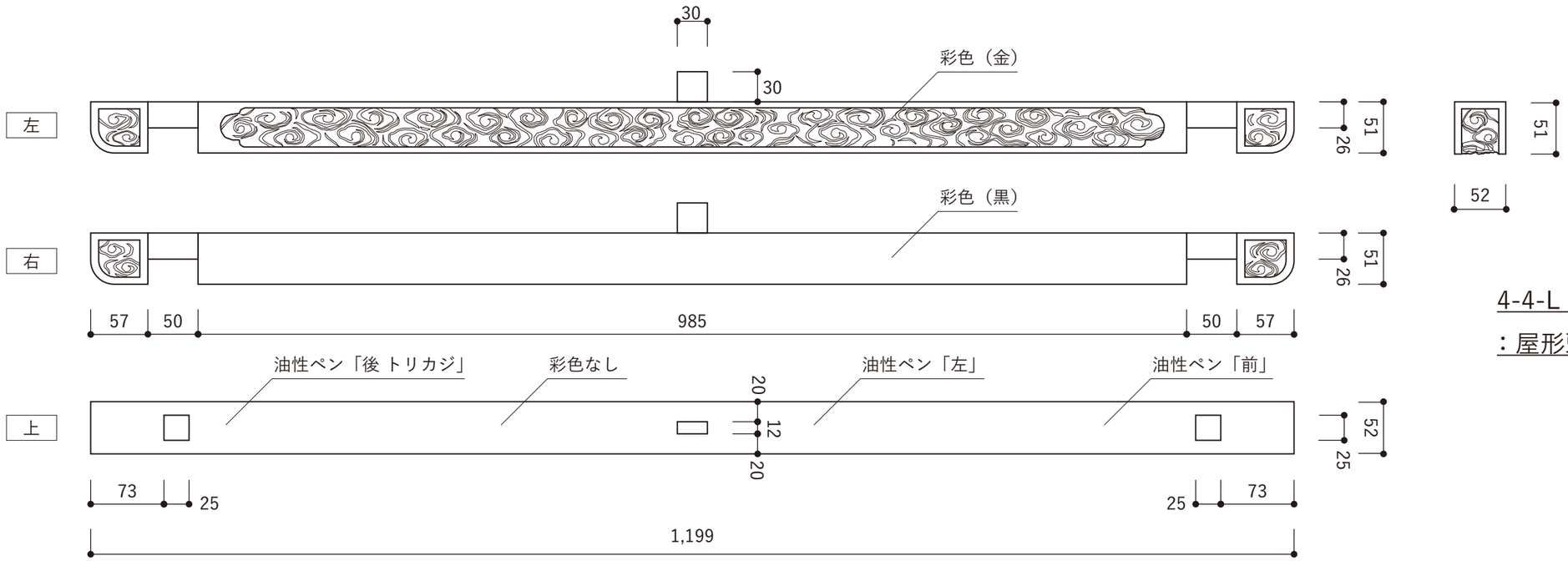


4-3-L 屋形欄間（左・雲気文に鶴）



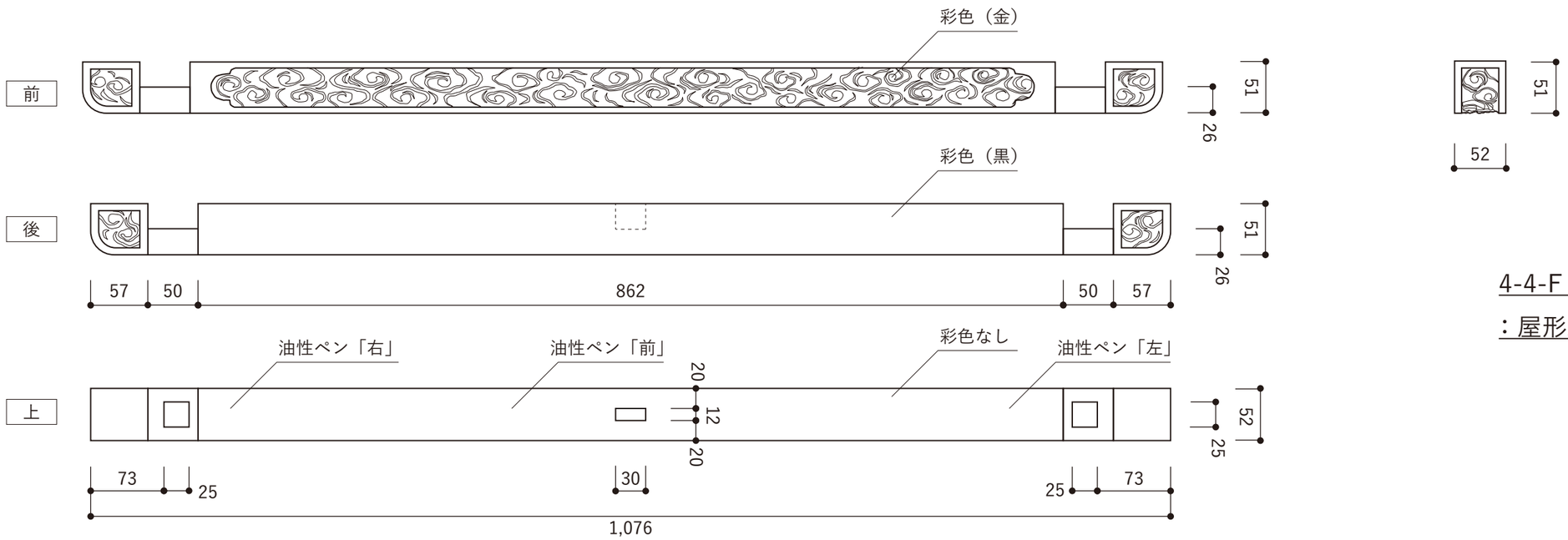
4-3-R 屋形欄間（右・雲気文に鶴）





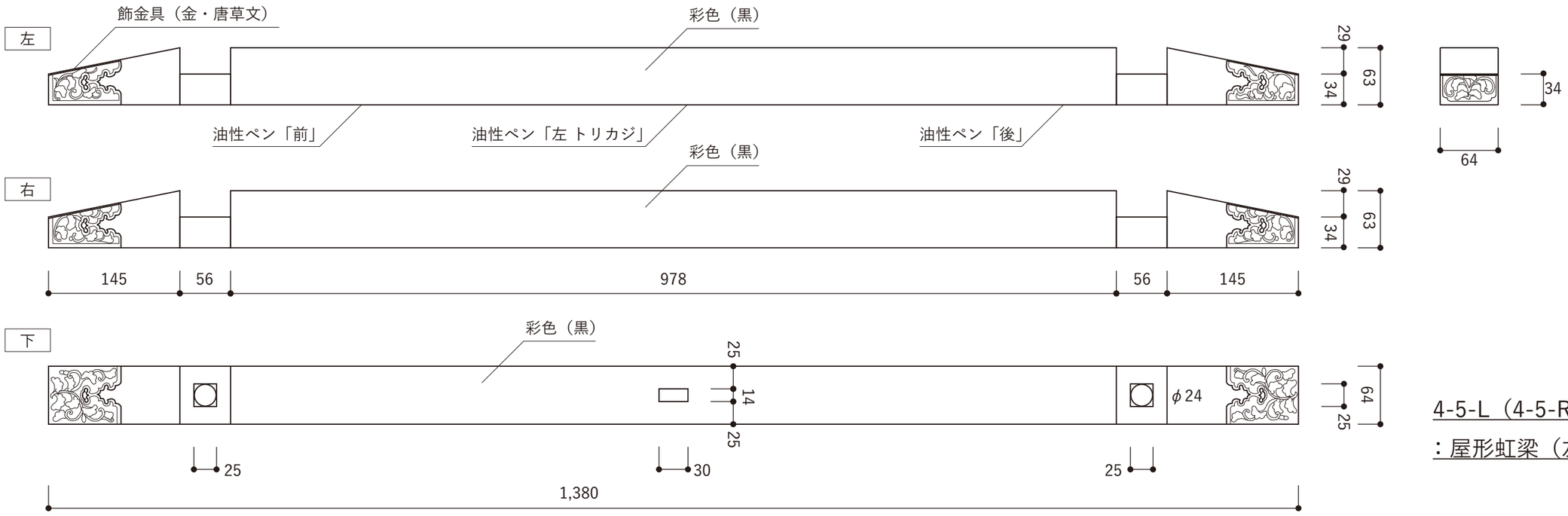
4-4-L（4-4-R）

：屋形頭貫（左・雲気文）

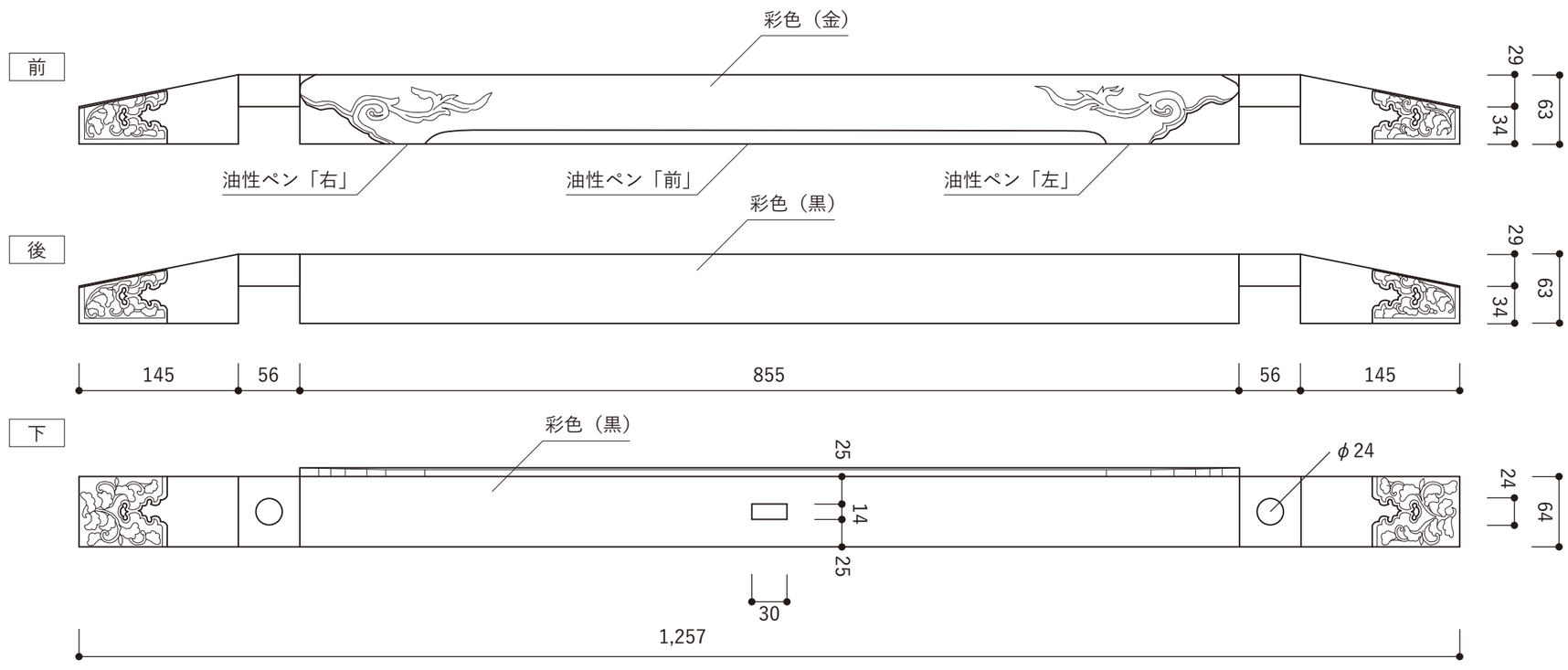


4-4-F（4-4-B）

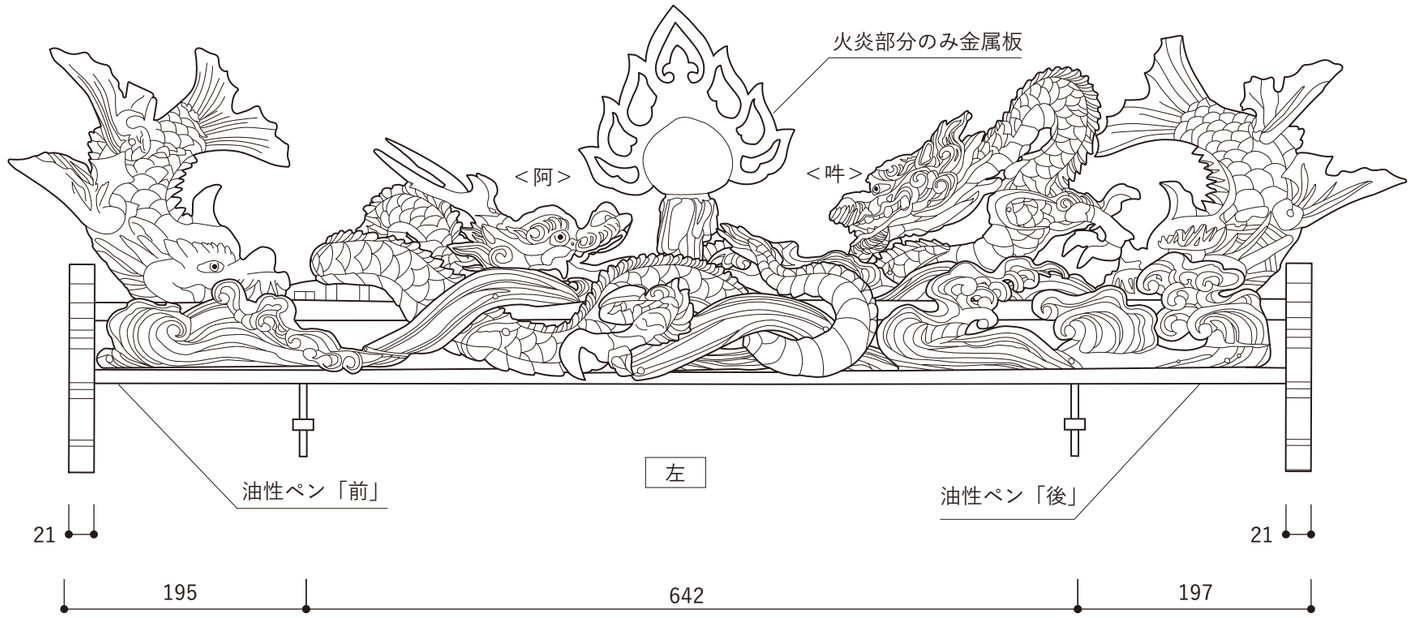
：屋形頭貫（前・雲気文）

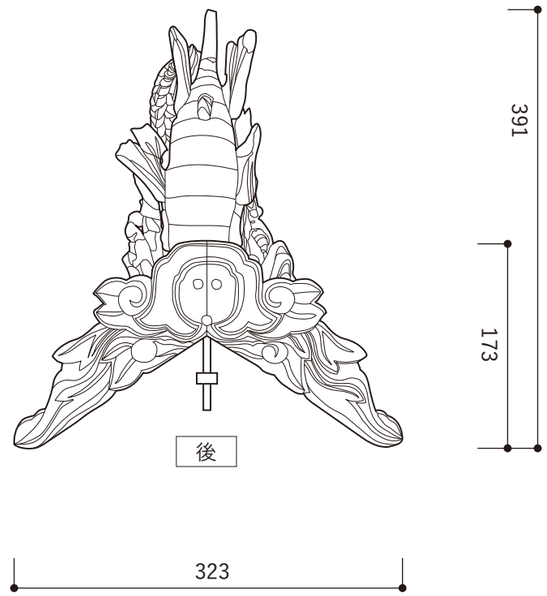


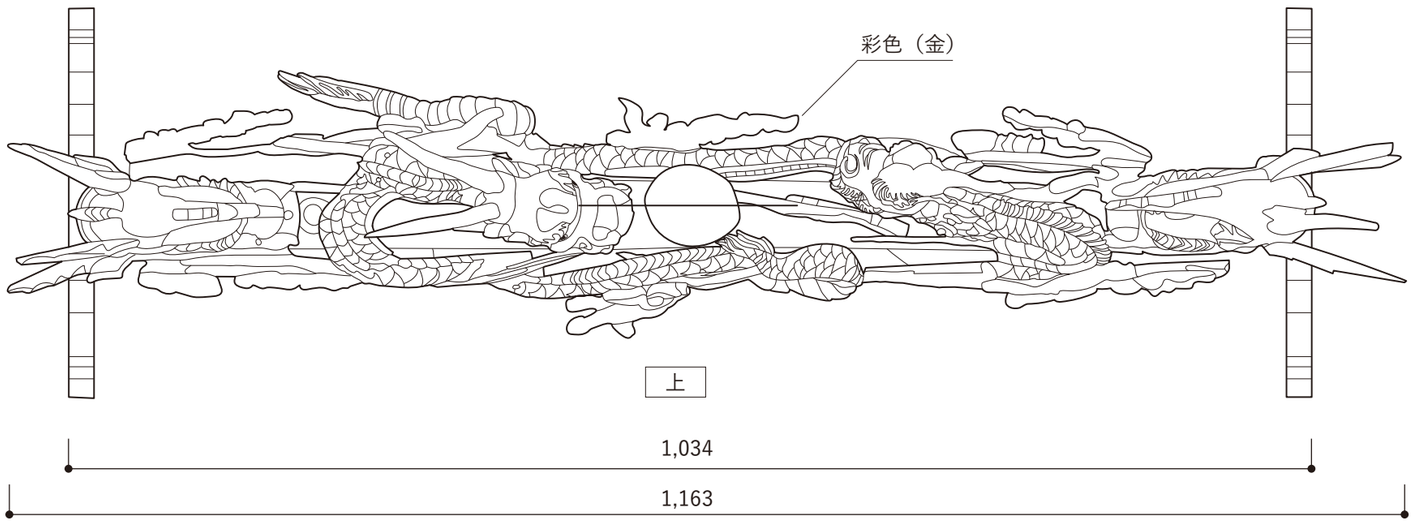
4-5-L（4-5-R）
：屋形虹梁（左）



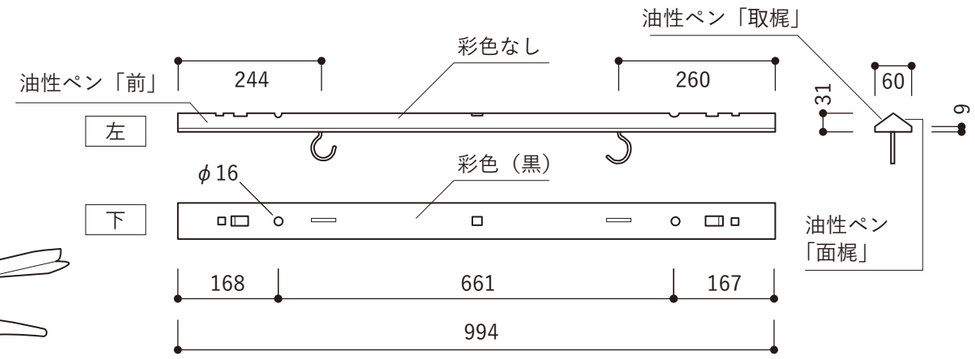
4-5-F（4-5-B）
：屋形虹梁（前）



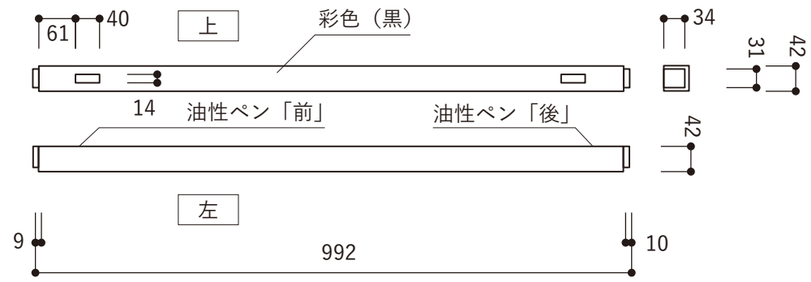




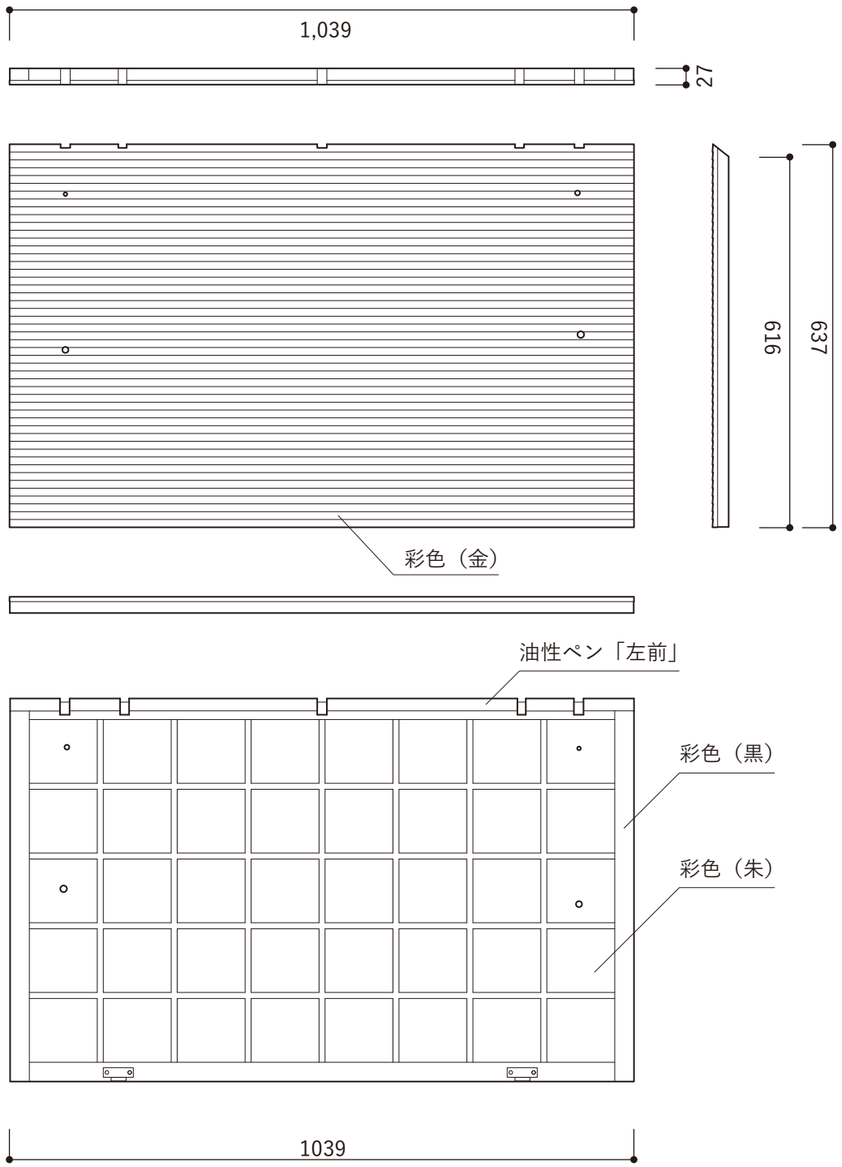
4-14：大棟（火炎宝珠を中心に竜一対、両端に鯱の彫刻）（1/5）



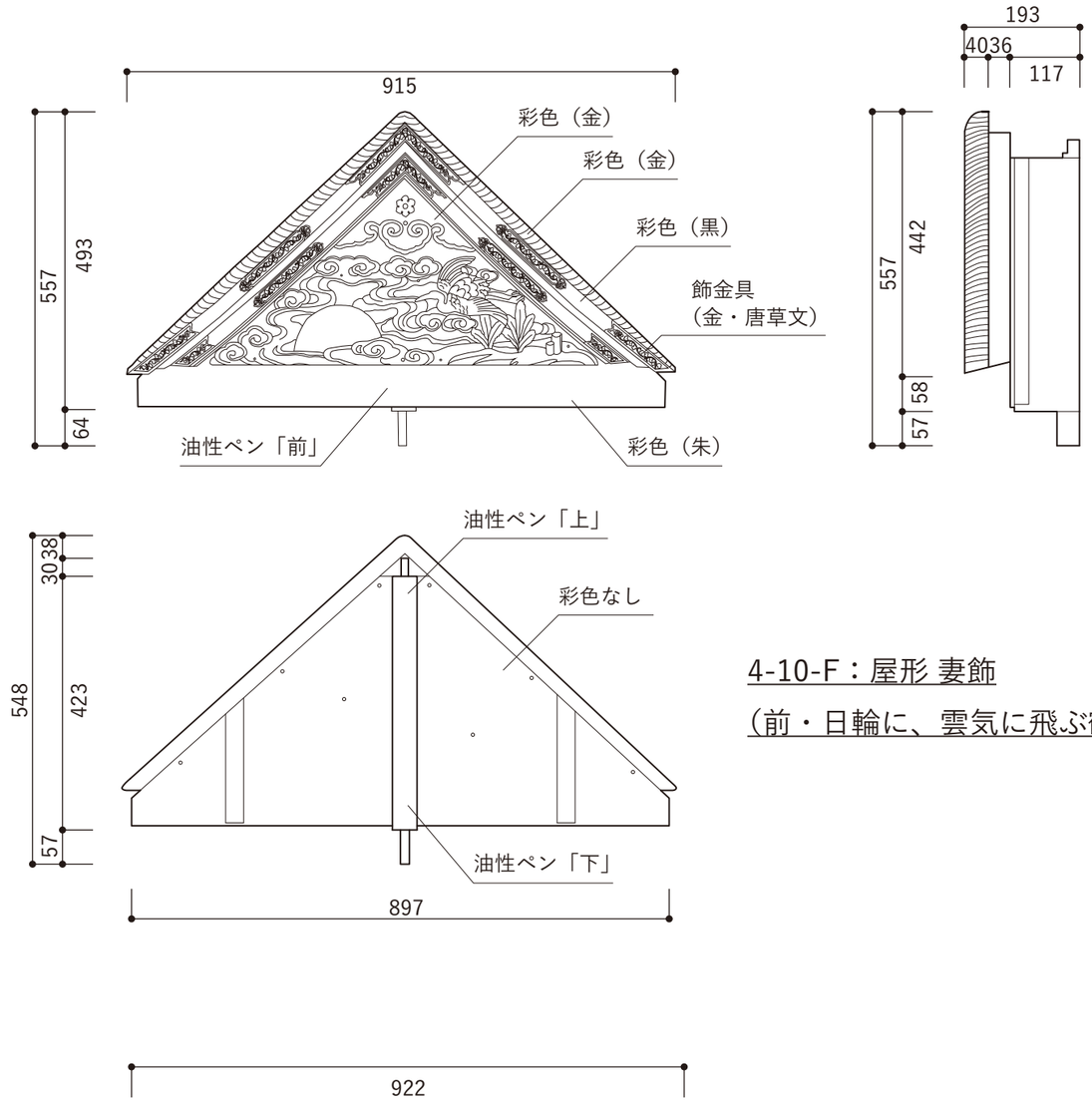
4-7：棟木（1/10）



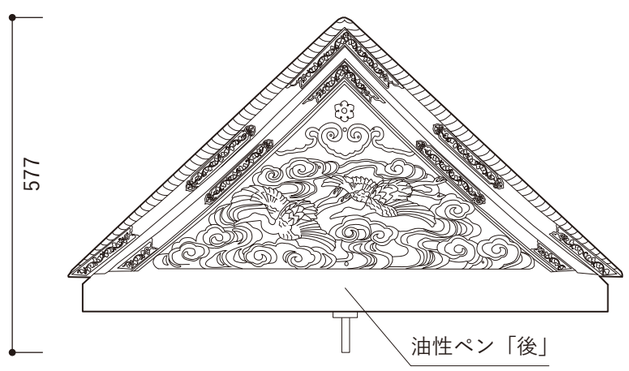
4-6：棟木下の梁（1/10）



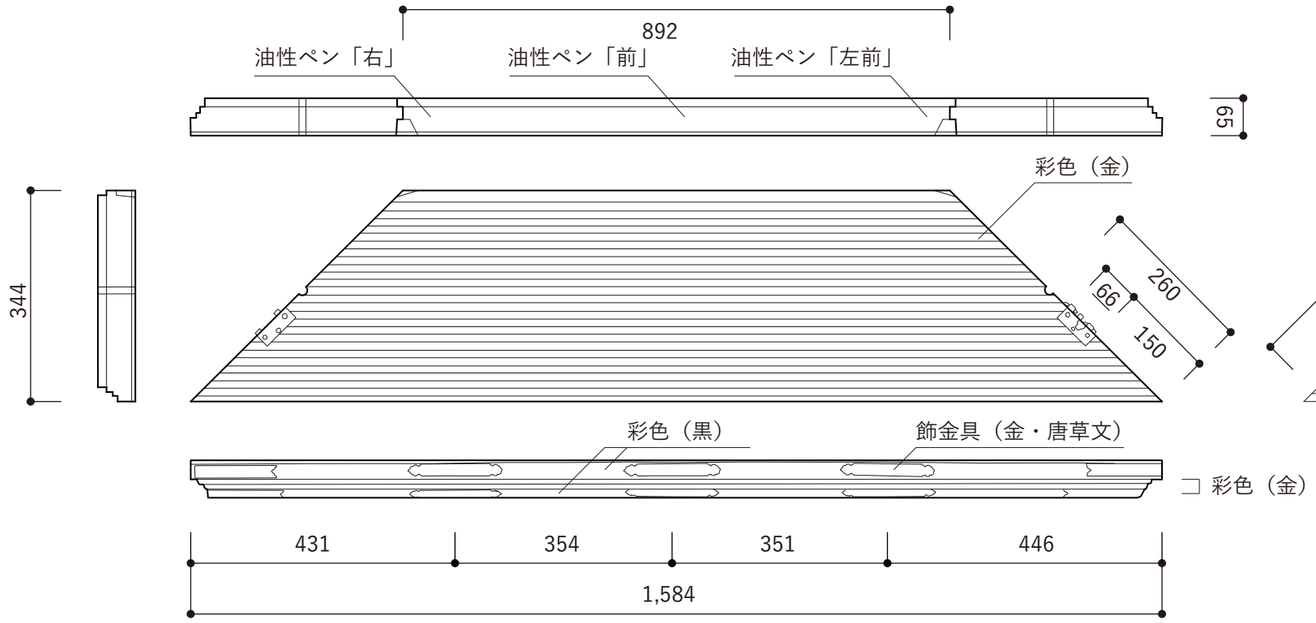
4-8-L（4-8-R）：屋形 屋根（左）

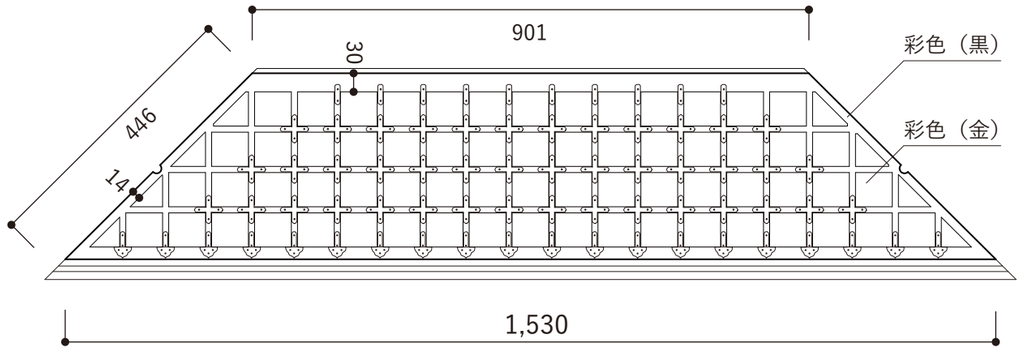


4-10-F：屋形 妻飾
（前・日輪に、雲気に飛ぶ鶴一羽）

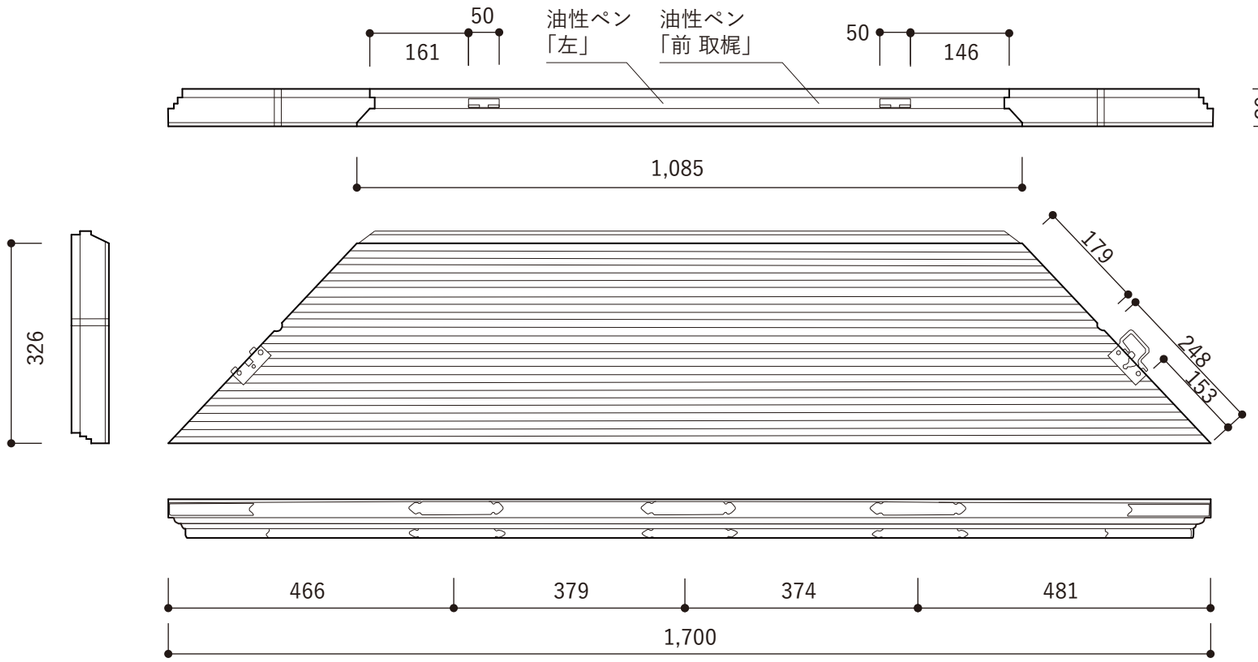


4-10-B：屋形 妻飾
（後・雲気に飛ぶ鶴一双）

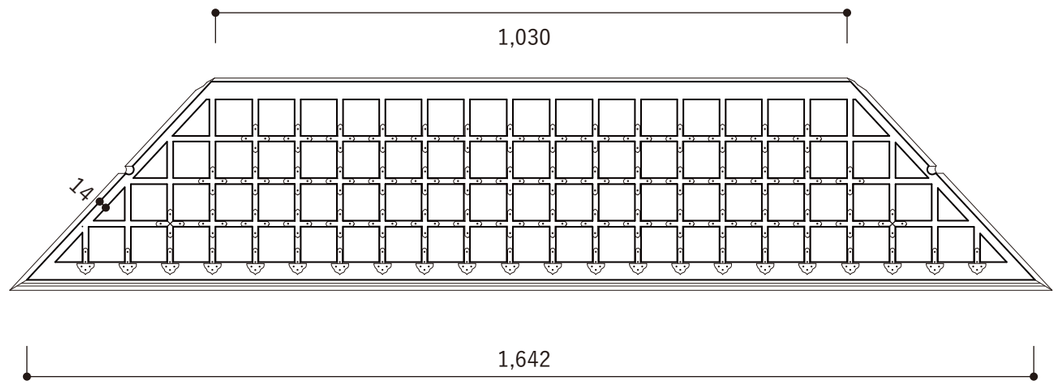




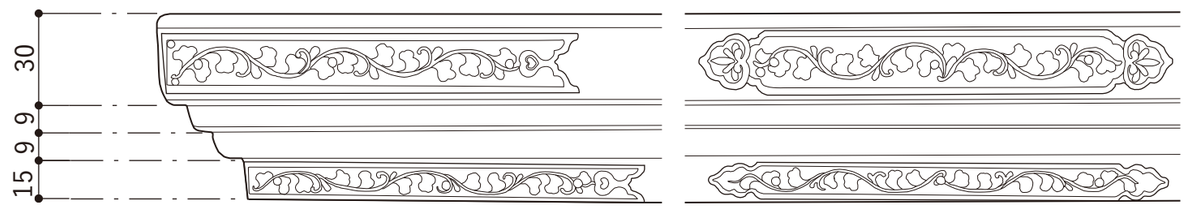
4-9-F（4-9-B）：屋形 屋根庇（前・唐草文の飾金具）

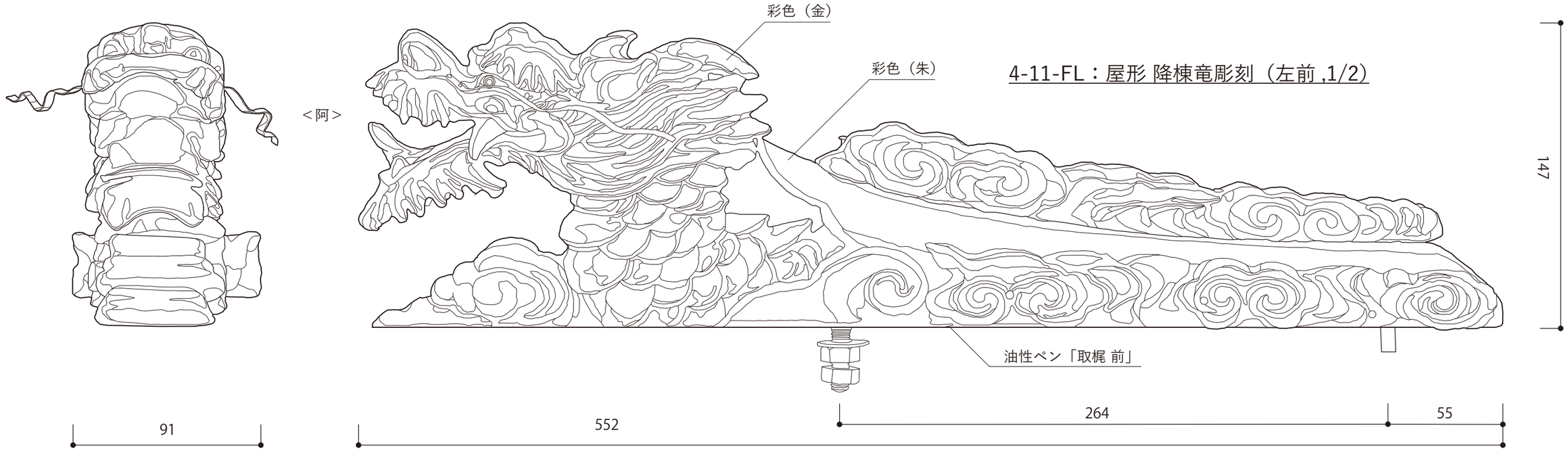


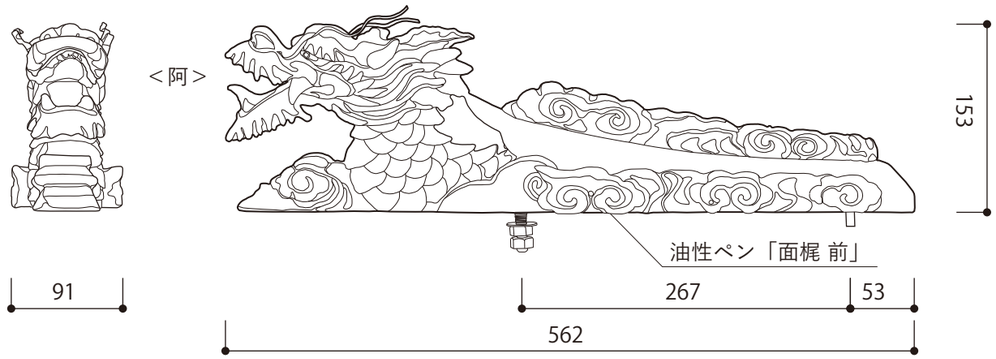
4-9-L（4-9-R）：屋形 屋根庇（左・唐草文の飾金具）

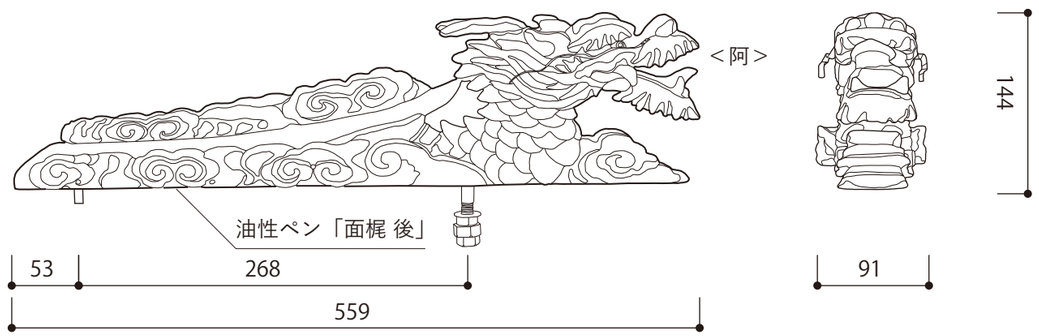


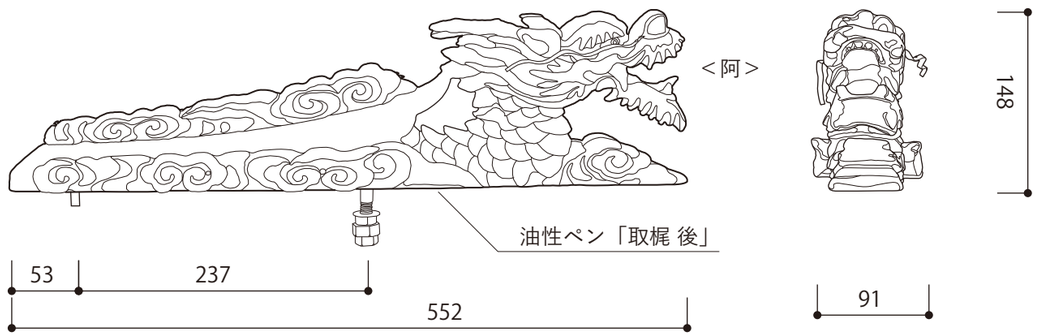
4-9-L（4-9-R）：屋形 屋根庇・唐草文の飾金具（1/2）



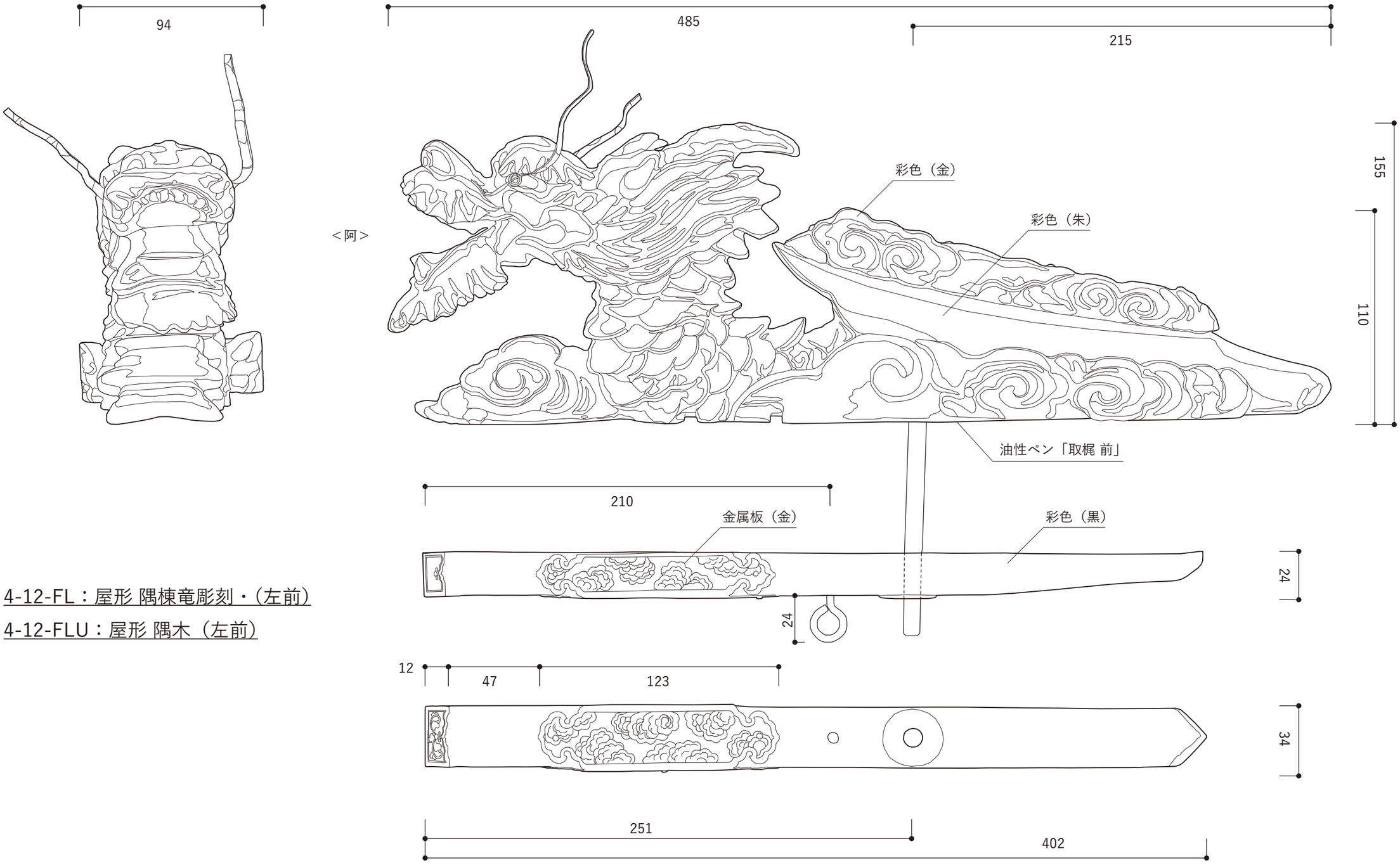








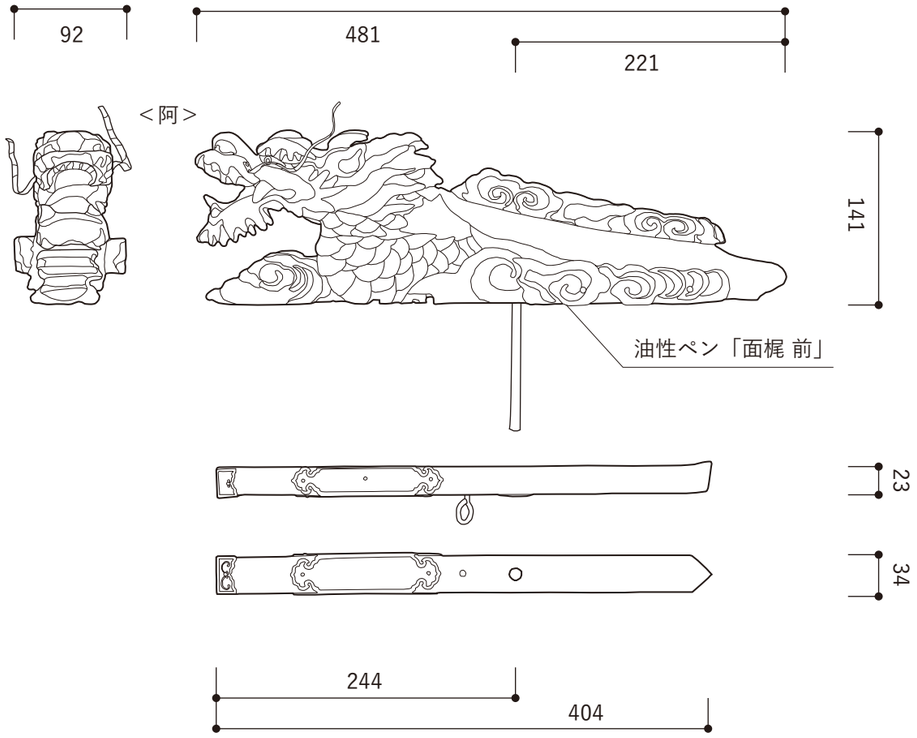
左　）4-11-FR：屋形 降棟竜彫刻（右前 ,1/5）
右上）4-11-BR：屋形 降棟竜彫刻（右後 ,1/5）
右下）4-11-BL：屋形 降棟竜彫刻（左後 ,1/5）

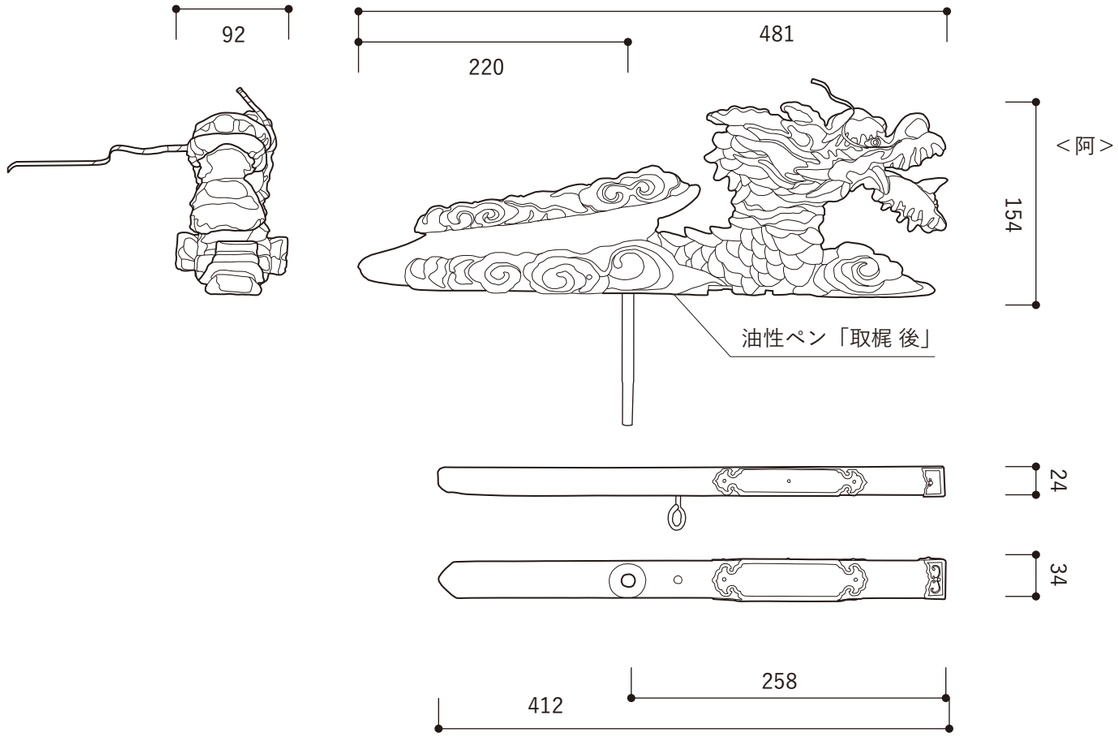


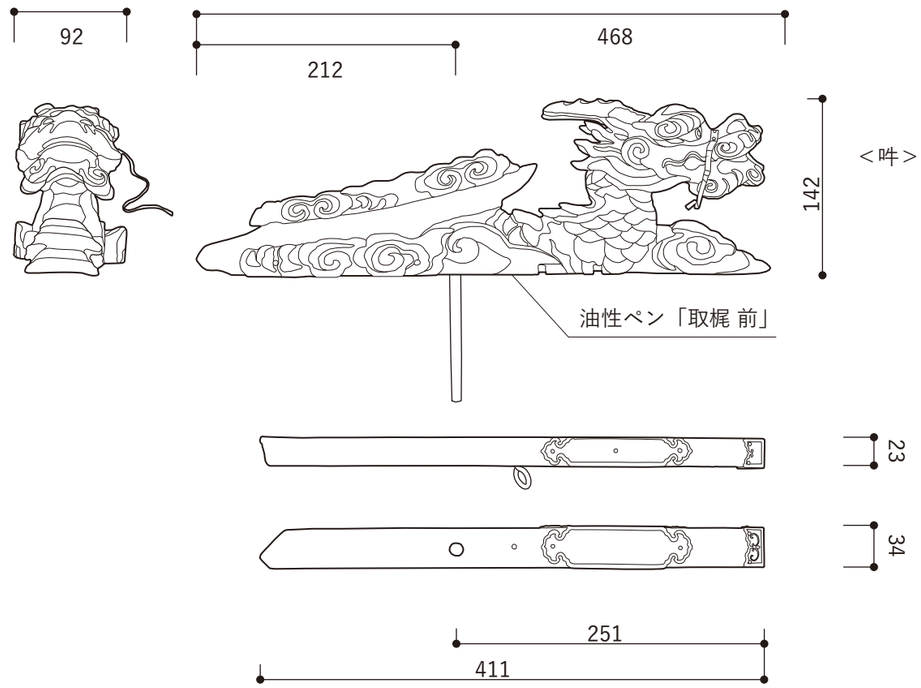
4-12-FL：屋形 隅棟竜彫刻・（左前）

4-12-FLU：屋形 隅木（左前）

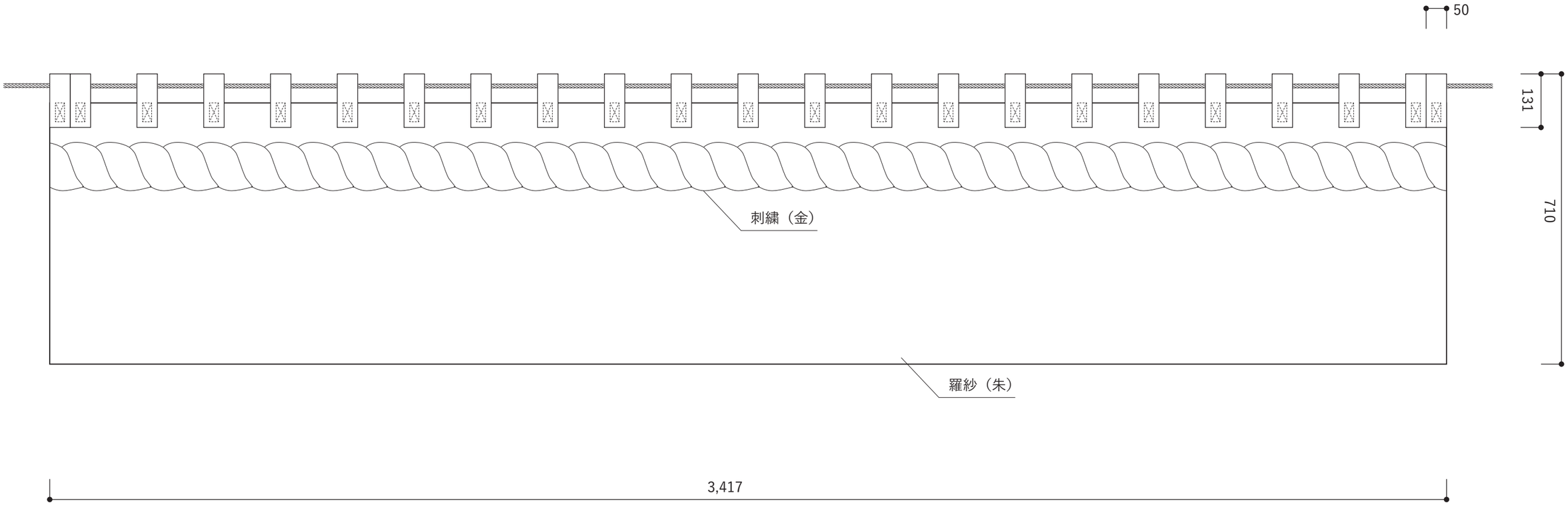
39 屋形 隅棟竜彫刻・隅木（1/2）





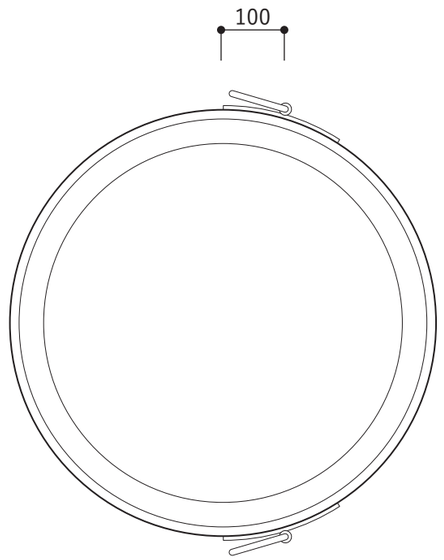


左　）4-12-FR（U）：屋形 降棟竜彫刻・隅木（右前）
右上）4-12-BR（U）：屋形 降棟竜彫刻・隅木（左後）
右下）4-12-BL（U）：屋形 降棟竜彫刻・隅木（右後）

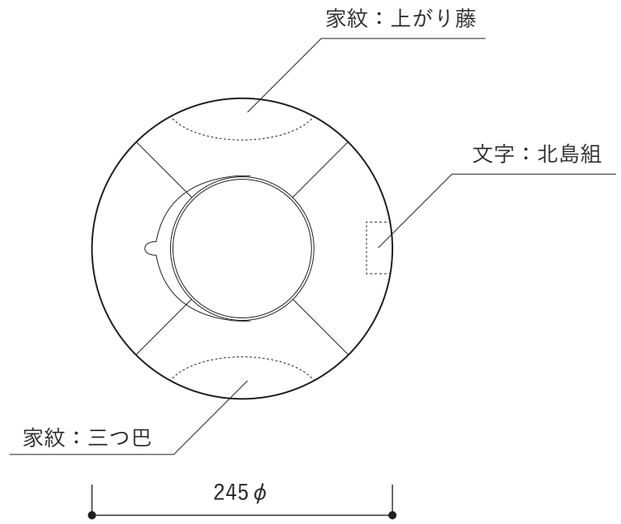


4-15：屋形 横幕

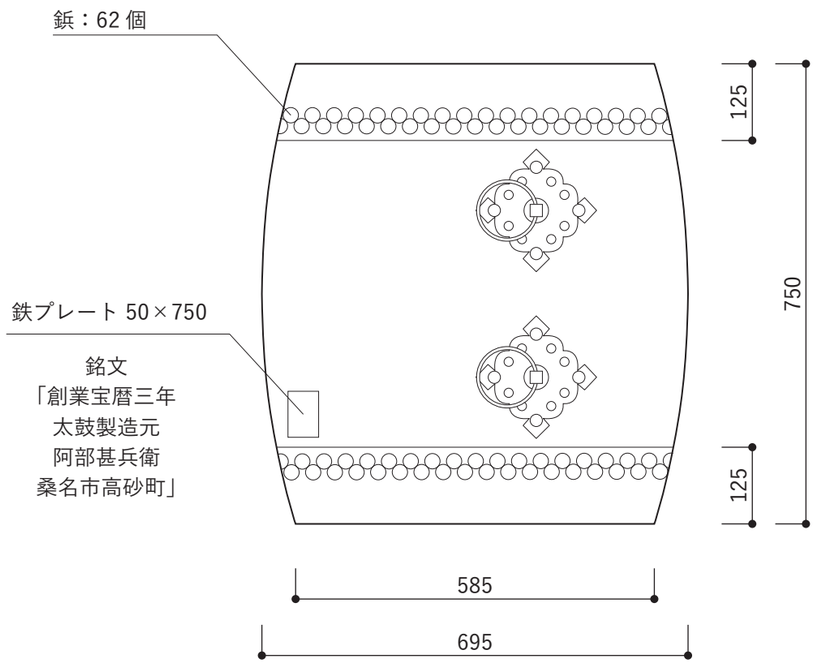
41 屋形 横幕（1/10）

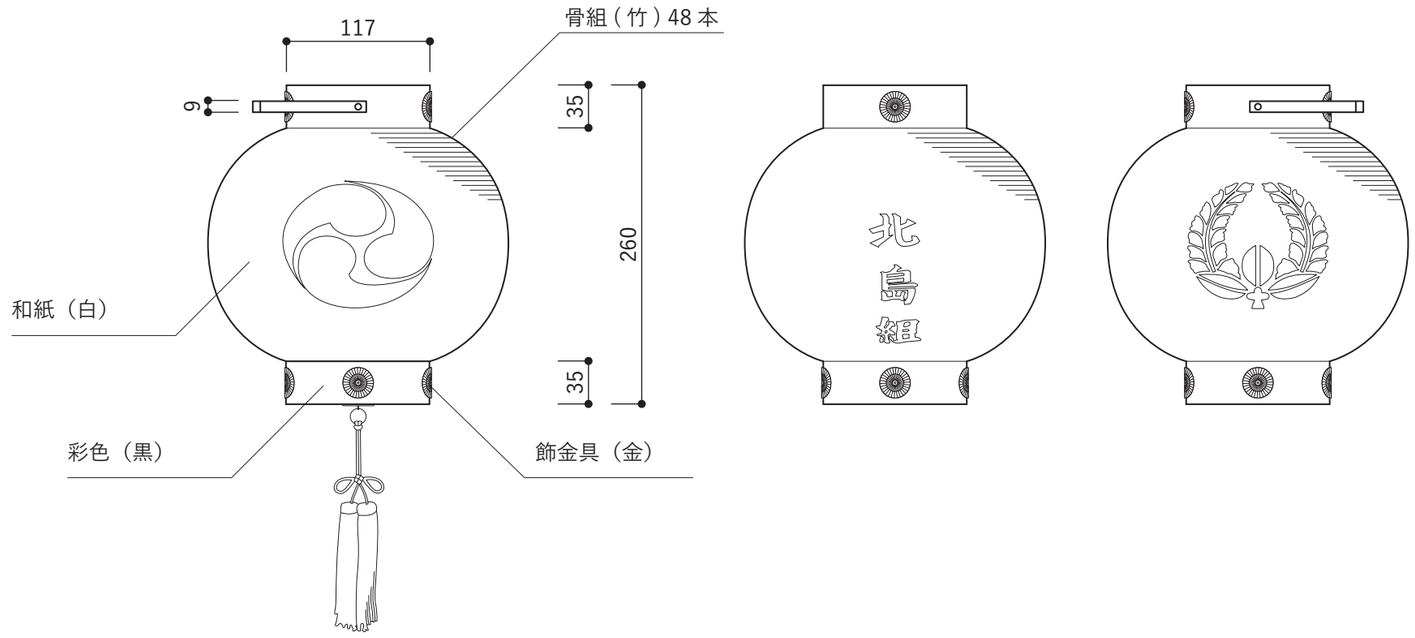

100

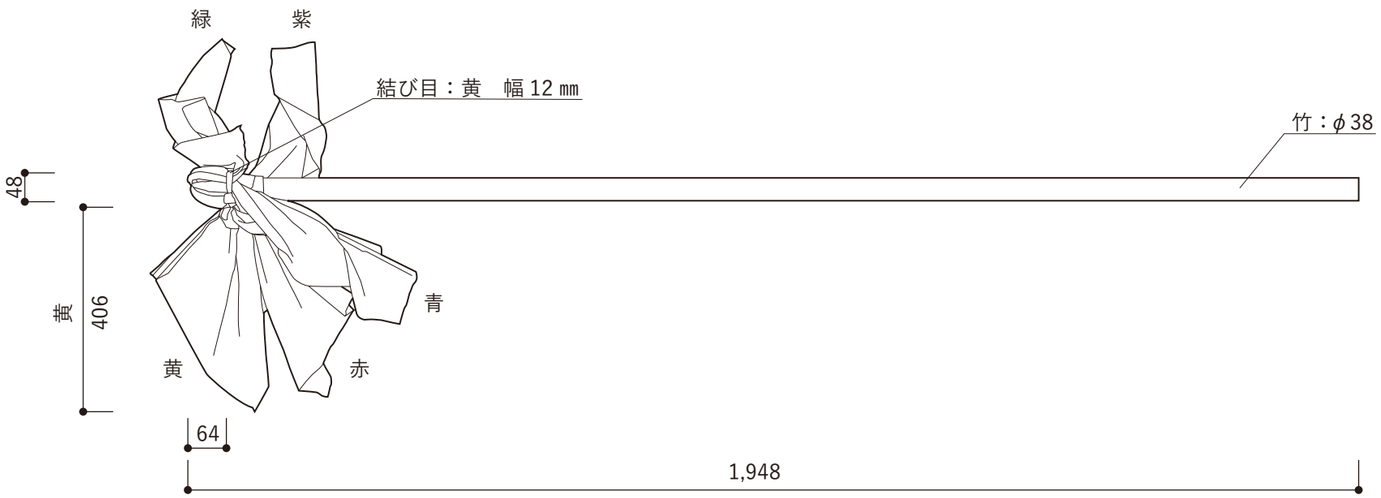
1-1：太鼓


家紋：上がり藤
文字：北島組
家紋：三つ巴
245 φ

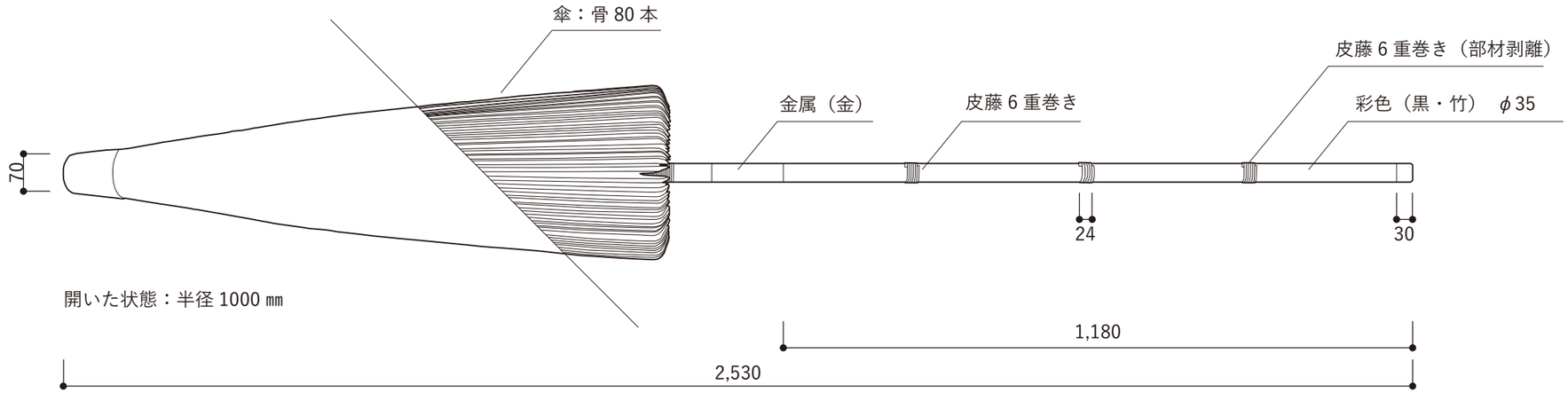
5-9：提灯


鋲：62 個
125
750
125
鉄プレート 50×750
銘文
「創業宝暦三年
太鼓製造元
阿部甚兵衛
桑名市高砂町」
585
695

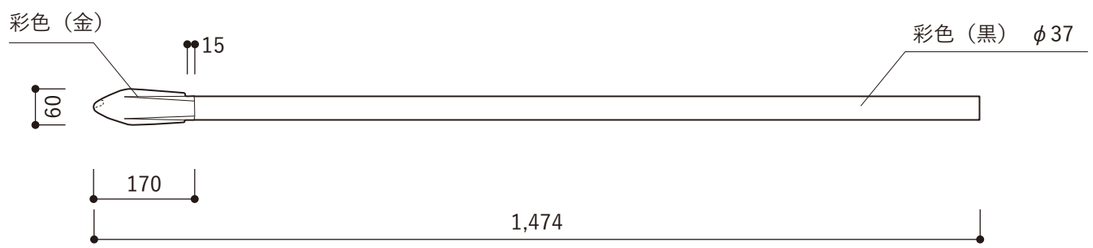

117
骨組（竹）48 本
9
35
260
35
和紙（白）
彩色（黒）
飾金具（金）
北
島
組



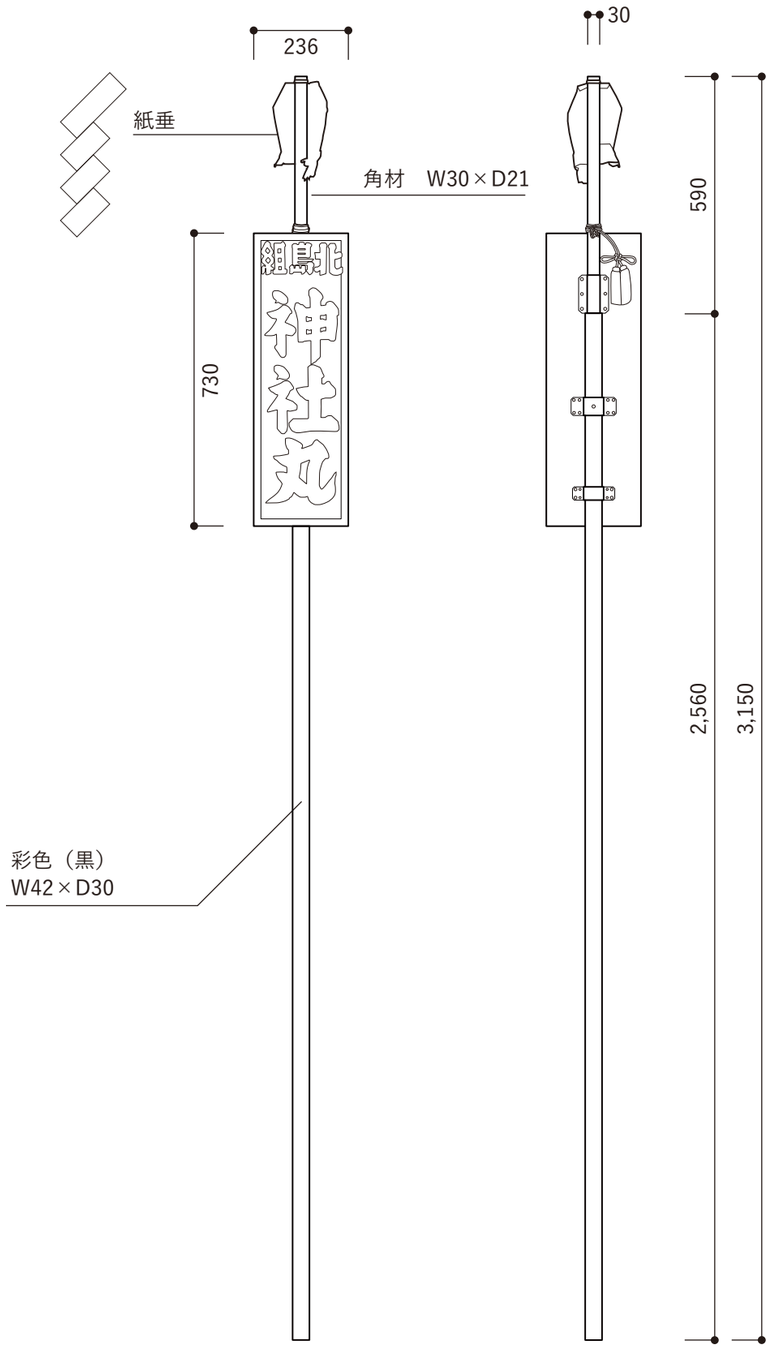
5-2：サンパライ（ハタキの意）



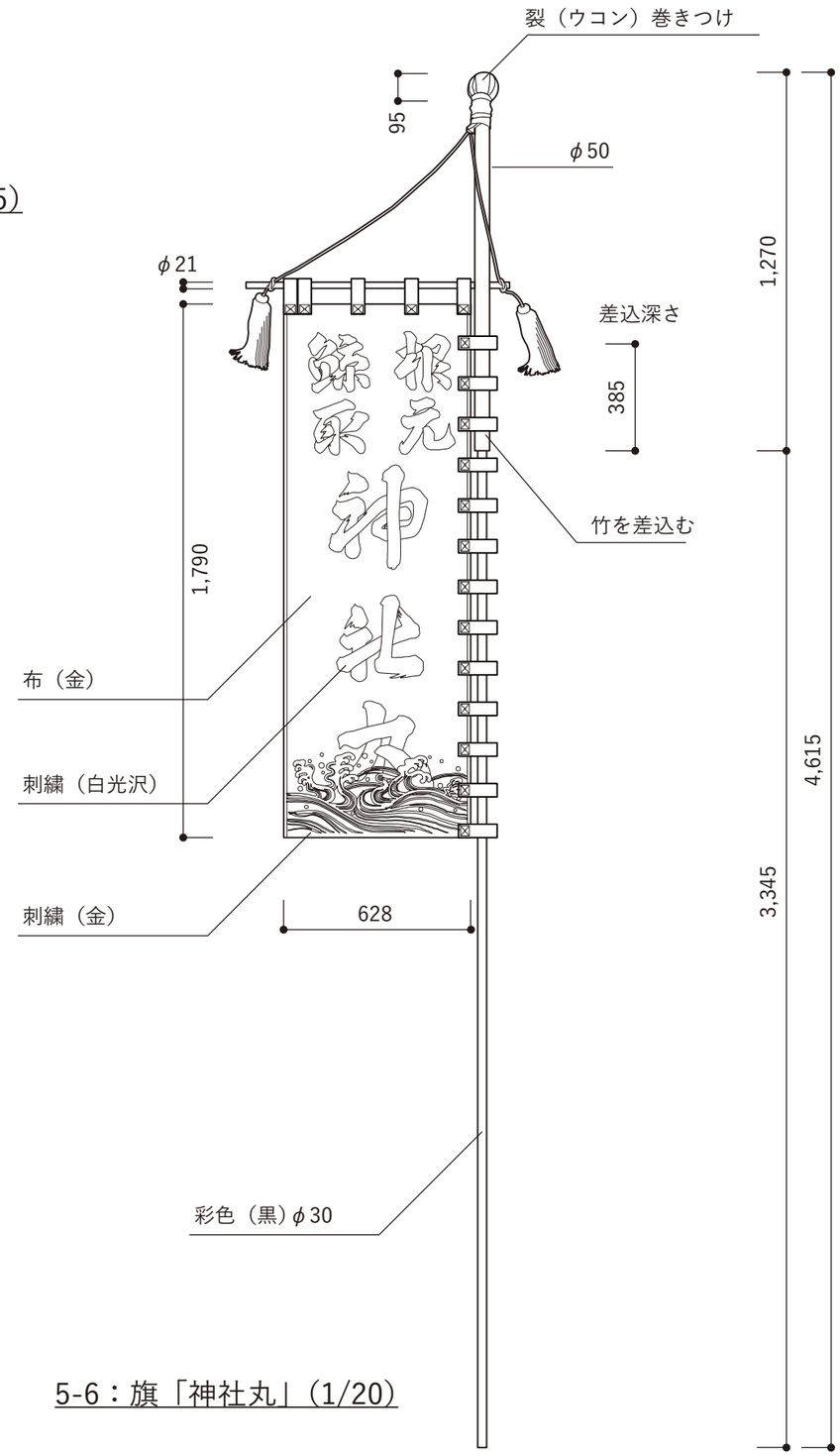
5-3：番傘



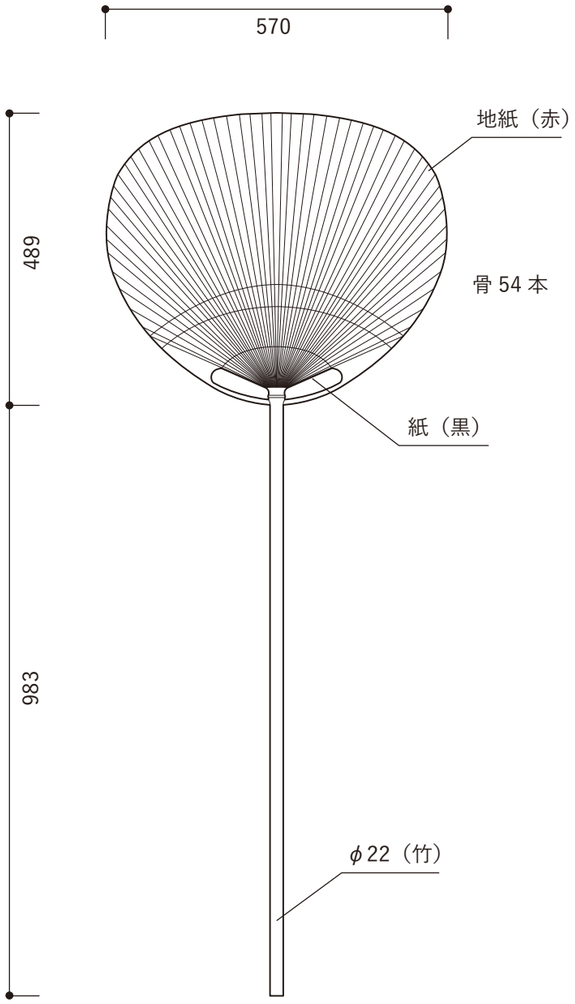
5-5：羽刺の使用する銛



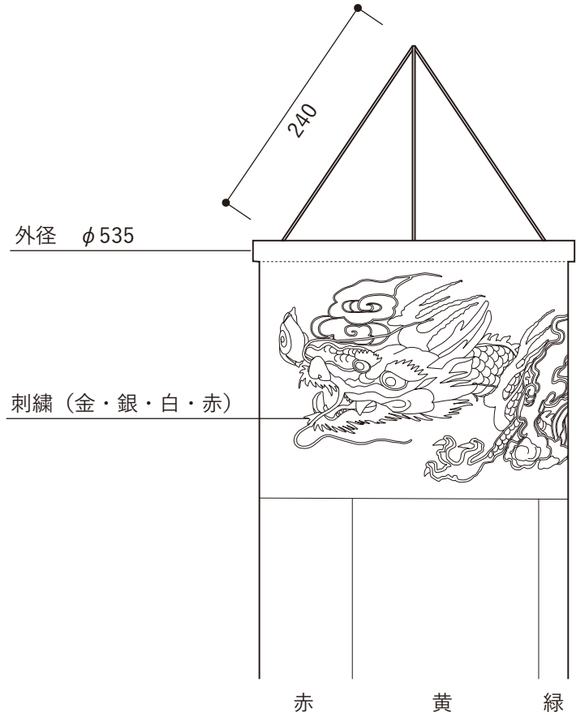
5-4：梵天（板）
「北島組 神社丸」（1/15）



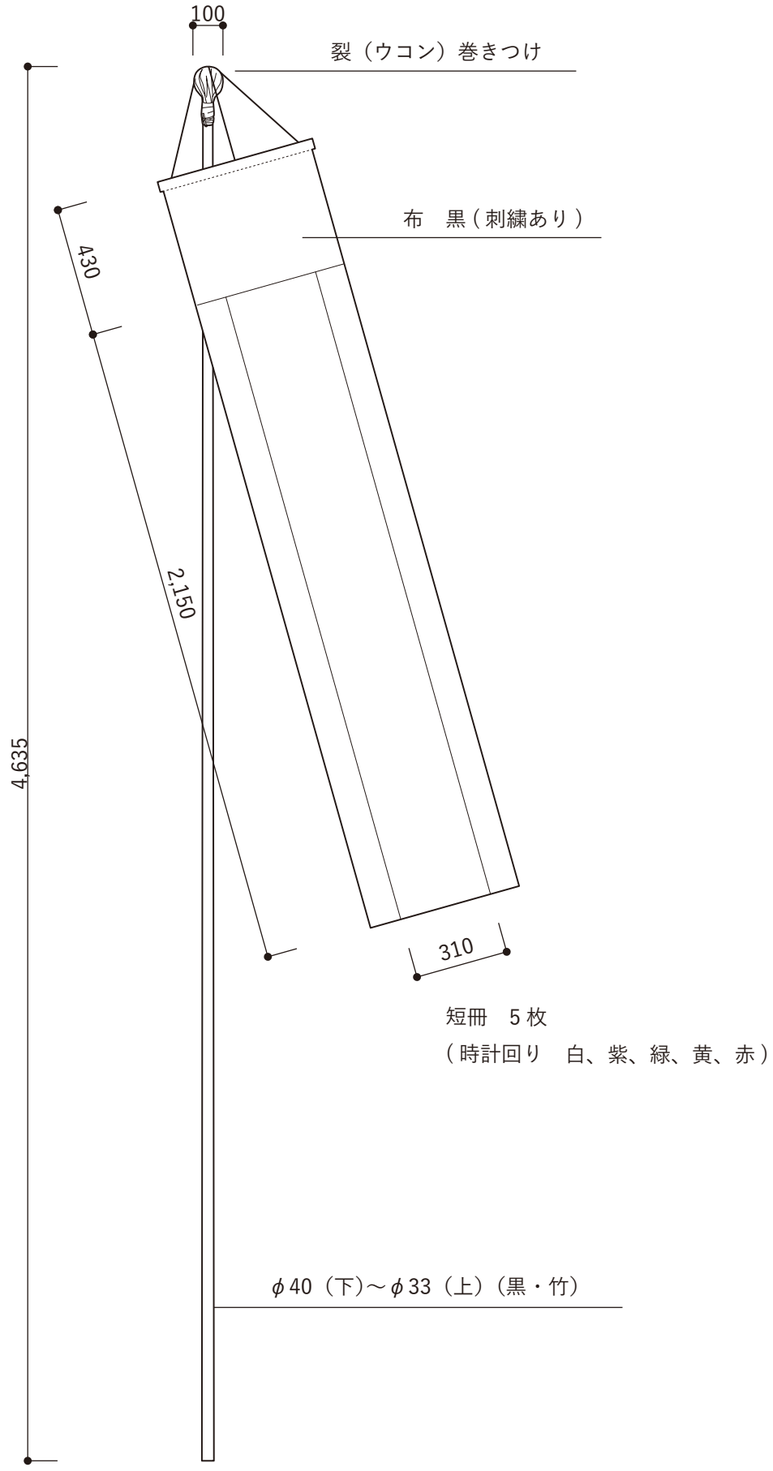
5-6：旗「神社丸」（1/20）



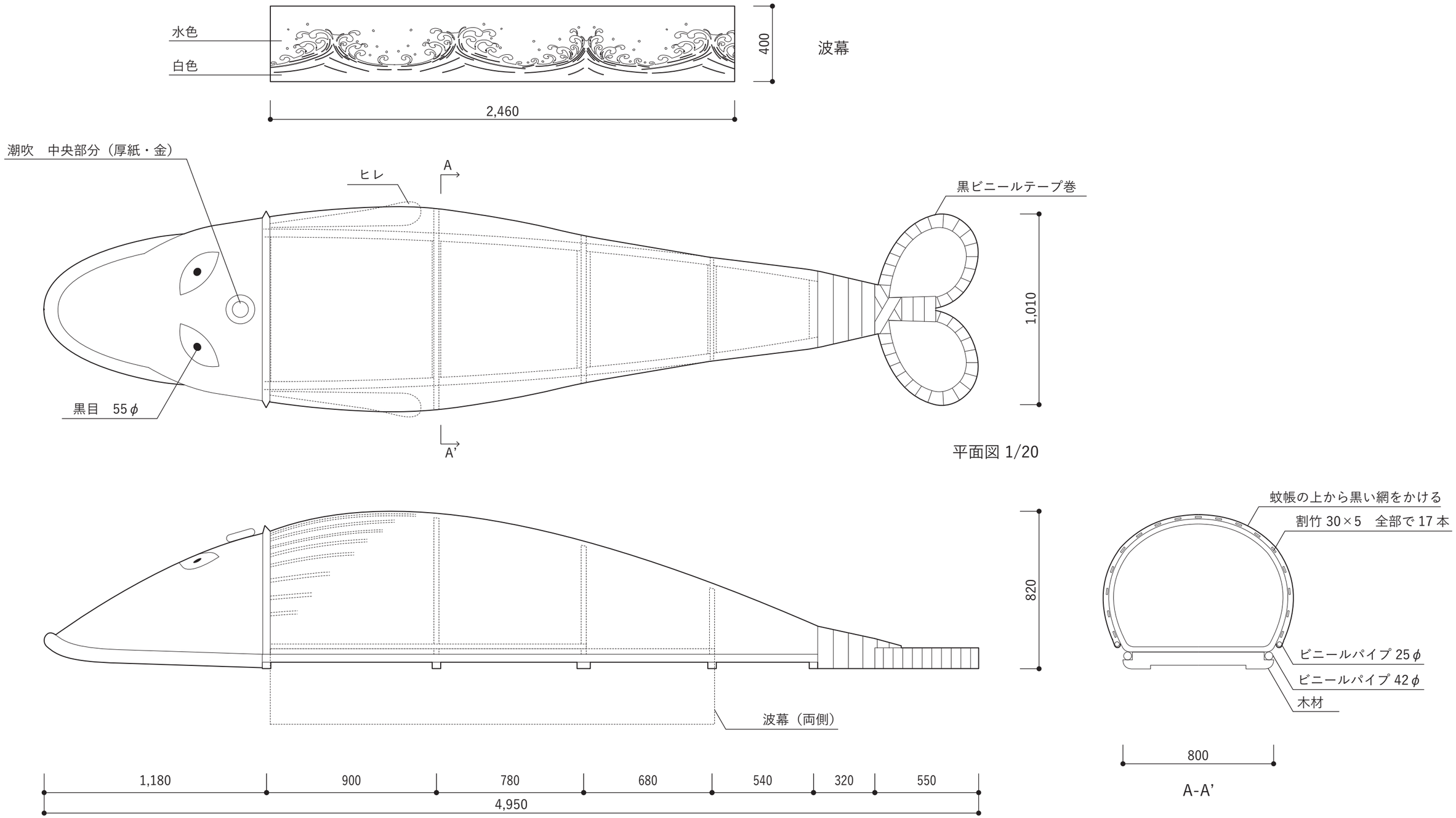
5-1：団扇（1/10）



吹流し拡大（1/10）



5-7：吹流し（1/20）


水色
白色
400
波幕
2,460
潮吹　中央部分（厚紙・金）
ヒレ
A
A’
黒ビニールテープ巻
1,010
黒目　55φ
平面図 1/20
820
波幕（両側）
1,180
900
780
680
540
320
550
4,950
蚊帳の上から黒い網をかける
割竹 30×5　全部で 17 本
ビニールパイプ 25φ
ビニールパイプ 42φ
木材
800
A-A’

46　鯨ハリボテ（1/20）